

北海学園大学

学生アルバイト白書

2020



川村雅則ゼミナール

2020年12月発行

はじめに

今年で10回目という節目を迎えた、学生アルバイトや学費負担等に関するアンケート調査（以下、アルバイト等調査）が、まさかこのような事態に遭遇するとは思っていませんでした。新型コロナウイルス（以下、コロナ）によるパンデミックです。

対面授業（という言葉が定着しましたが、かつては授業と単に呼ばれていたもの）が禁止され、遠隔（オンライン）授業に切り替わりました。我々教員も大変でしたが、学生とりわけ1年生は本当に大変だったと思います。

前期のゼミも6月中旬まではオンラインでした。このアルバイト等調査も果たしてどうなるのか心配でしたが、後でみるとおり、学生の現状を多面的に調べる必要性が例年以上であったこと、ゼミ生たちがそのことを自覚して意欲的に取り組んだことで、一定の成果が得られたと考えています。例年であれば大規模講義で調査票を配布・回収させていただくところですが、今年は、コロナ感染防止で逆に大規模講義ほど対面では実施されていないという事情から、Google フォームを使ったウェブアンケート調査を行いました。遠隔授業に投げられた思わぬ効果で、ウェブアンケートに踏み出すよい機会となりました。

分量が非常に多くなってしまったアンケート調査ですが、幸い、有効回答数で1部生436人、2部生173人に協力をいただきました。協力してくれた学生の皆さんや学生に声をかけてくれた同僚諸氏にこの場を借りて感謝申し上げます。

調査を通じてたくさんの課題が明らかになりました。これを執筆している時点で道内はコロナ感染者数が急増し第三波の到来かと言われています。そうした状況下ですが、ポストコロナを見据えて一つ一つ解決していきたいと思えます。

川村雅則（北海学園大学教授）

I. 問題意識と2020年度調査の概要

1. 私たちの問題意識

今年の調査内容は、『学生アルバイト白書』という名称に収まりきらぬほどの多岐にわたる内容となった。なぜそうなったのか。コロナ禍の学生たちの生活やゼミ内での議論を振り返りながら、その理由や私たちの問題意識をまずは紹介する。

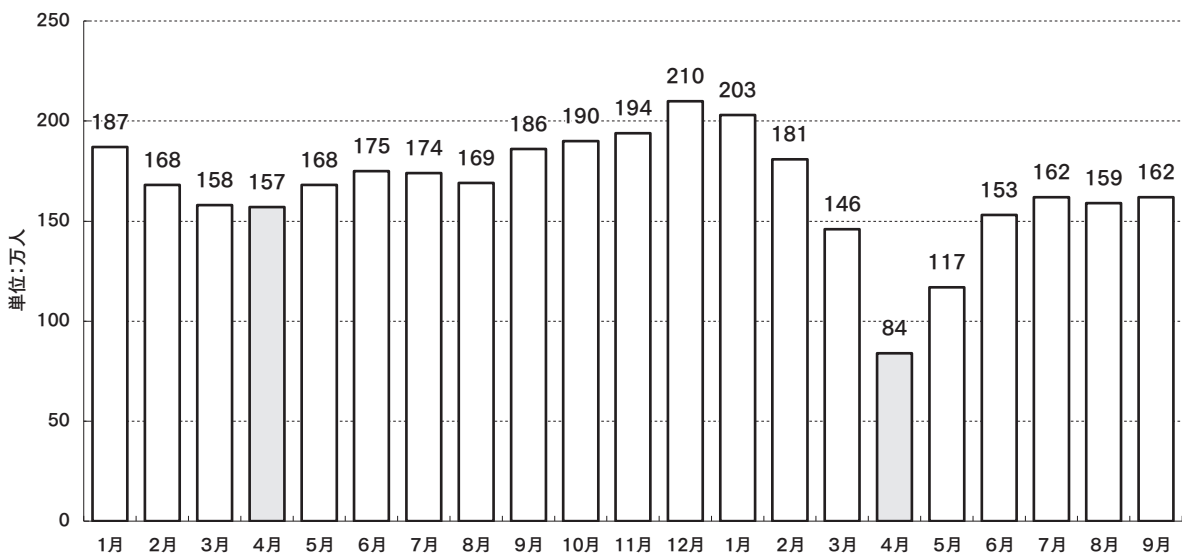
コロナ感染防止のため北海道ではいち早く「緊急事態宣言」が出された。

- 2月28日 北海道知事による「緊急事態宣言」の発令（2月28日から3月19日までの3週間のあいだ、特に週末の外出を控えるよう要請）。
- 3月24日 政府が東京オリンピックの開催延期を発表。
- 4月7日 東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県を対象に「緊急事態宣言」が出される。
- 4月16日 「緊急事態宣言」が全国に拡大。また、上記の7都府県に6道府県（北海道、茨城県、石川県、岐阜県、愛知県、京都府）を加えた、あわせて13都道府県については、重点的に感染拡大防止の取り組みを進めていく必要があるとして、「特定警戒都道府県」に指定される。

出所：NHK「特設サイト新型コロナウイルス」等より作成。

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/>

図1-1 「労働力調査」にみる学生アルバイトの規模の推移（2019年1月～）



注：対象は、15～24歳の「通学のかたわらに仕事」をしている男女。

出所：総務省「労働力調査（基本集計、第1-2表）」より作成。

「宣言」やコロナ感染の拡大により、学生を含む雇用に大きな影響が発生した。否、むしろ学生ら非正規雇用にいち早く影響が出たと言うべきで、学生アルバイトの就労機会は大きく減少した。図 I 1—1 は、総務省「労働力調査」から作成した、15～24歳の「通学のかたわらに仕事」をしている男女の推移である。2020年4月には実に、前年同月比の半分強にまで就業者数は激減した。

雇い止め・解雇までいかずとも、仕事（勤務時間）が減ったり休業を余儀なくされた者も多かった。しかも、にもかかわらず休業手当も支給されず（そもそも休業手当の存在も知らされず）に仕事の再開を待つ学生がゼミ内にもみられた。この間、労働法（や労働組合）を教える取り組みを行ってきたものの、休業にともなう対処法までは教え切れていなかったことを痛感した。

アルバイトができないという事態から、学費や生活費を支払うことができないという問題が玉突きで生じて、そのことが社会的にクローズアップされた。学生団体らによる学費負担軽減の取り組みも開始された¹。

遊興費を稼ぐことが学生アルバイトの目的と理解されがちだが、そうではないという事実をこの間調査・研究で明らかにしてきた（過去の『白書』を参照）。今回の事態は、そのことが広く証明されたと言えるだろう。ゼミ内でも、どうせアルバイトもできず授業は遠隔授業なのだから、と生活費を浮かすために実家に帰る一人暮らしの者もいた。自分たちのおかれたこうした状況を自覚しながら、ゼミでは、生存のためのコロナ対策ネットワーク（2020）や遠藤ら（2009）を読み、コロナ禍での人びとの生活や生存権をどう保障していけばよいかを考えた。

大学内・大学の授業に目を転じると、全国の大学同様、十分な準備なく開始された遠隔授業で学生が困り果てていた。我々教員（経済学部教員）も、たしか新年度最初の教授会（4月9日）で、遠隔授業への移行が伝達されたと記憶している。パソコンの保有状況や通信環境など遠隔授業を受けられる状況に全ての学生たちはあるのか、というデジタル教育格差問題から、遠隔授業でどう教育効果をあげていくか、課題はどのようなもの・量が適切か、さらには、遠隔授業で学生とどうコミュニケーションをとるかなど、検討すべき多くの課題を抱えたまま遠隔授業は始まった。

本学では、キャンパス閉鎖こそなかったものの、1年生をはじめとしてキャンパスを訪れる機会がなくなり／少なくなり、また、仮に訪れたとしてもキャンパス内は活気も人気もない状態になっていた。ずっと家に閉じこもっていてカラダがなまる、Youtubeでひたすら動画をみて過ごしている、昼夜逆転の生活になった、などの声がオンラインゼミで聞かれた。若者でも（というかエネルギーあふれる若者だからこそ）外出自粛下で心身が不調になっているようで気になった。

3年終了時で授業の単位を取り終えて大学に来る機会がもともと少ない4年生は、就職活動の困難に直面した。説明会や面接がキャンセルになった、オンラインでの面接が始まっても勝手が分からずに苦勞したなどの声がゼミ内で聞かれた。何よりも今年企業の採用動向が悪化するであろうことが気になった。

1 例えば、高等教育無償化プロジェクト FREE などの取り組みを参照。

<https://www.free20180913.com/>

経済的な事情もさることながら、目標を喪失したり心身のバランスを崩してか、休学や退学を考える学生が増えているという報道²を目にして、大学に身を置くものとしては心配が募った。せめてオンラインゼミを楽しい時間にしなければと妙な(?)サービス精神にかられた。

文字通り人生で初めての、こうした不思議な時間を経験した後、対面でのゼミが6月に開始された。そして、今年の調査をどうするか、時間をかけてゼミ内で話し合った。例年のアルバイト等調査という名称では収まりきらない調査の内容はこうして設計されていった。

2. 調査の概要

今年行った調査の概要は以下のとおりである。

第一に調査方法は、Google フォームを使ったウェブアンケートである。10月22日(木)正午に、学内のイントラネット (G-PLUS) を使い、在籍する本学の全ての学生およそ 8千人³ に対して調査に対する協力の依頼を行った。締め切りは11月1日(日) 23:59 とした。

加えて、(1) 上記 G-PLUS で配信されるメッセージはあまり確認されていないと思われたため、10月26日(月) に各教員に対して、学生に調査のアナウンスをお願いする文書を投函した。(2) 10月30日(金) に再度 G-PLUS で学生に対して配信を行った。

第二に、調査の内容は、下記のとおりである。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">I. あなたのこと (属性)II. 前期の授業の経験、遠隔 (オンライン) 授業の受講環境・通信環境のことIII. アルバイトのことIV. 学費負担や奨学金の利用状況のことV. 就職・進路や生活全般のこと |
|--|

繰り返しになるが、例年は、アルバイトのことや学費負担・奨学金利用に関することが中心であるが、今年はコロナ禍で学生たちが (学生たちだけでなく教員も) 苦労した遠隔授業の経験などの把握に力を入れた。

なお、調査票の作成にあたっては、学生が自分たちの経験などを出し合ったほか、過去のアルバイト等調査、北海学園大学を実施主体とする調査 (学生生活実態調査)⁴、そして、文末に掲げた先行研究 (コロナ禍で学生を対象に行われた各種のアンケート調査)などを参考にした。

(川村雅則)

2 例えば、「(時時刻刻) 学生困窮 バイト激減、実家も頼れず 「支援ないと退学か休学」 『朝日新聞』 朝刊2020年4月24日付。

3 北海学園大学のウェブサイトの「定員数・学生数」 ページによれば、2020年5月1日現在の収容定員は、7,180人で、現員は8,221人である。

4 北海学園大学「FD 活動」のページからダウンロード可。
<https://www.hgu.jp/about/faculty-development.html>

II. 調査の結果

回答は634人から提供された。

但し、同一人物による回答と判断されたもの（重複）⁵と、無回答が多かった1人を除き、有効回答は609人（1部436人、2部173人）である。

回答者の所属の部は、「1部」71.6%、「2部」28.4%である。

以下では、「全体」の結果を示しながら、「1部」と「2部」とで結果に大きな違いがあった場合にはその都度言及する。とくにことわりなく、鍵括弧内に数値を並べている場合は、「1部」の結果、「2部」の結果の順に記載したものである。

過去の調査や北海学園大学「学生生活実態調査」によれば、2部生は1部生に比べて経済的に厳しい条件におかれた学生が少なくないことが明らかになっている。本調査結果をみる際にも念頭におかれない。

第1章 あなたのこと（属性）

表II 1-1 回答者の学年、所属の部、性別、住まい

単位：人，%

		全体		所属の部別			
		人数	割合	1部		2部	
		609	100.0	436	100.0	173	100.0
a. 学年	1年生	194	31.9	141	32.3	53	30.6
	2年生	191	31.4	136	31.2	55	31.8
	3年生	152	25.0	110	25.2	42	24.3
	4年生	72	11.8	49	11.2	23	13.3
			609	100.0	436	100.0	173
b. 所属学部	経済学部	192	31.5	133	30.5	59	34.1
	経営学部	121	19.9	85	19.5	36	20.8
	法学部	136	22.3	89	20.4	47	27.2
	人文学部	95	15.6	65	14.9	30	17.3
	工学部	64	10.5	64	14.7	0	0.0
	〔無回答〕	1	0.2	0	0.0	1	0.6
		609	100.0	436	100.0	173	100.0
c. 性別	男性	313	51.4	217	49.8	96	55.5
	女性	293	48.1	217	49.8	76	43.9
	〔無回答〕	3	0.5	2	0.5	1	0.6
		609	100.0	436	100.0	173	100.0
d. 住まい	実家・親元	422	69.3	322	73.9	100	57.8
	〔実家・親元〕以外	186	30.5	113	25.9	73	42.2
	〔無回答〕	1	0.2	1	0.2	0	0.0

5 同一人物による複数回（2，3回）の回答ケースが24件見つかった。理由がいかなるものなのか（誤って複数回回答されたのか、いったん保存をして再び回答されたのか、それとも、システムの不具合なのか、など）はこれ以上判断できない。回答は1回だけしかできないようにする設定もできたが、その場合、回答者のメールアドレスが回収されることになるため、回答が敬遠されると判断し、とくにそのような処理を行わなかったのであるが、以後の検討課題である。

回答者の属性は表Ⅱ 1—1のとおりである。

第一に、学年は、「1年生」と「2年生」が3割超で、「3年生」が4分の1を占めた。例年の傾向であるが、就職活動が大学生活の中心となり大学・授業から距離が生じてしまう「4年生」は、今年も1割強にとどまった。

第二に、所属の学部は、「1部」も「2部」も「経済学部」が3割台で最も多い。なお2部には、1部には設置されている「工学部」がない。「経済学部」の他は、「1部」では、「経営学部」19.5%、「法学部」20.4%、「人文学部」14.9%、「工学部」14.7%と続くのに対して、「2部」では、「法学部」27.2%、「経営学部」20.8%、「人文学部」17.3%である。

第三に、性別は、「1部」では「男性」、「女性」とともに49.8%であるのに対して、「2部」では、男性のウェイトがやや高い（55.5%）。

第四に住まいは、「実家・親元」とそれ以外（「実家・親元」以外）とで分けたが、「1部」では前者が4分の3を占める（73.9%）のに対して、「2部」では前者が57.8%、後者が42.2%を占める。1部生と2部生の生活状況などをみていく際に留意が必要だと思われる。

（上原愛花、坂田十勝、佐藤純哉、山内溪斗、山口諒）

第2章 前期の授業の経験、遠隔(オンライン)授業の受講環境・通信環境のこと

コロナによって授業が対面から遠隔に切り替えられた。教える側にとっても教わる側にとっても予期せぬ事態であり、とりわけ導入の初期には混乱が生じた。こうした事態をうけて、本調査では、前期の授業の経験や、遠隔授業に関わって受講環境や通信環境などを尋ねた。第2章に結果をまとめる。

なお、2部では、1日2コマの授業を夜間に週6日連続して受講するという形態が標準であって、授業履修に比較的ゆとりがある1部とその点が異なることに留意されたい。

1) 今年の前期の履修コマ数と対面授業数(6月22日以降)

表II 2—1 前期の履修コマ数及びそのうち対面で開講されたコマ数 単位：人，%

	全体 527 100.0		所属の部別			
			1部 394 100.0		2部 133 100.0	
a. 今年の前期の履修コマ数	5コマ以下	51 9.7	36 9.1	15 11.3	15 11.3	
	6～8コマ	25 4.7	22 5.6	3 2.3	3 2.3	
	9,10コマ	37 7.0	28 7.1	9 6.8	9 6.8	
	11,12コマ	153 29.0	93 23.6	60 45.1	60 45.1	
	13,14コマ	114 21.6	94 23.9	20 15.0	20 15.0	
	15,16コマ	59 11.2	57 14.5	2 1.5	2 1.5	
	それ以上	88 16.7	64 16.2	24 18.0	24 18.0	
		609 100.0	436 100.0	173 100.0	173 100.0	
b. そのうち対面で開講された授業・ゼミ等のコマ数(6月22日以降)	1コマ	188 30.9	121 27.8	67 38.7	67 38.7	
	2コマ	109 17.9	78 17.9	31 17.9	31 17.9	
	3コマ	103 16.9	78 17.9	25 14.5	25 14.5	
	4コマ	40 6.6	30 6.9	10 5.8	10 5.8	
	5コマ	39 6.4	30 6.9	9 5.2	9 5.2	
	それ以上	56 9.2	41 9.4	15 8.7	15 8.7	
	[無回答]	74 12.2	58 13.3	16 9.2	16 9.2	

注：本文にも記載のとおり、bの設問に「0コマ」という選択肢が設けられなかったために、回答できなかった者も存在する。

前期の履修コマ数及びそのうち対面で開講されたコマ数を表II 2—1 にまとめた。

第一に、前期の履修コマ数は、「1部」では「11,12コマ」と「13,14コマ」がそれぞれ23%台で最も多く、「15,16コマ」「それ以上」も、あわせると3割を占める。それに対して「2部」では、先に書いたとおり、授業時間の制約から「11,12コマ」が45.1%を占めて最多である。なお「それ以上」も18.0%を占めるのは教職課程履修者などの存在によると思われる。

第二に、そのうち対面で開講されたコマ数は、「1コマ」が最多である。「1部」では27.8%、「2部」では38.7%である。また「1部」でも「2部」でも6,7割の回答者は、対面は3コマ以内に収まっている。

なお、この設問でミスがあった。「0コマ」の選択肢が設けられていない。そのことが無回答の多さにつながっていると思われる(「0コマ」という選択肢がなかったため「1コマ」に回答した、という内容の自由記述もみられた)。結果をみる際にはこのことに留意されたい。

2) 対面再開「以前」と「以後」に経験した遠隔授業の開講形態

遠隔授業の開講形態を尋ねた。対面授業が再開される6月22日より前と、6月22日以後に分けて尋ねた。「以前」と「以後」と記して、表II 2—2と表II 2—3に結果をまとめた。なお、結論から言うと、一部を除き、「以前」と「以後」を比較した際に大きな違いはみられなかった。また、「1部」と「2部」とでも目立った差はなかった。

表Ⅱ 2—2 対面再開以前及び以後で経験した授業の開講形態【複数回答可】 単位：人，%

	全体				所属の部別							
	以前		以後		1部		2部					
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合				
	609	100.0	609	100.0	436	100.0	436	100.0	173	100.0	173	100.0
①ライブ・リアルタイム配信型	405	66.5	267	43.8	282	64.7	182	41.7	123	71.1	85	49.1
②オンデマンド配信型（録画した授業動画の配信）	561	92.1	555	91.1	404	92.7	401	92.0	157	90.8	154	89.0
③動画はなく音声付きのテキスト教材配信型	432	70.9	426	70.0	310	71.1	302	69.3	122	70.5	124	71.7
④動画はなく音声もないテキスト教材配信型	511	83.9	487	80.0	369	84.6	350	80.3	142	82.1	137	79.2
⑤遠隔授業は受講していない	8	1.3	13	2.1	7	1.6	9	2.1	1	0.6	4	2.3
⑥その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

注1：「以前」とは対面再開以前（6月22日より前）で、「以後」とはそれ以後のこと。以下、同様。

注2：無回答が「以前」では1人（1部）、「以後」では2人（2人とも1部）存在する。

表Ⅱ 2—3 そのうち最多の開講形態

単位：人，%

	全体				所属の部別							
	以前		以後		1部		2部					
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合				
	609	100.0	609	100.0	436	100.0	436	100.0	173	100.0	173	100.0
ライブ・リアルタイム配信型	20	3.3	10	1.6	13	3.0	7	1.6	7	4.0	3	1.7
オンデマンド配信型（録画した授業動画の配信）	330	54.2	364	59.8	242	55.5	267	61.2	88	50.9	97	56.1
動画はなく音声付きのテキスト教材配信型	64	10.5	66	10.8	44	10.1	47	10.8	20	11.6	19	11.0
動画はなく音声もないテキスト教材配信型	183	30.0	148	24.3	128	29.4	98	22.5	55	31.8	50	28.9
遠隔授業は受講していない	9	1.5	13	2.1	7	1.6	9	2.1	2	1.2	4	2.3
その他	2	0.3			1	0.2			1	0.6		
〔無回答〕	1	0.2	8	1.3	1	0.2	8	1.8	0		0	

まず「以前」についてみると、第一に、経験した遠隔授業の開講形態の中で最も多いのは、「オンデマンド配信型（録画した授業動画の配信）」で、「1部」でも「2部」でも9割台となった。次いで多いのが「動画はなく音声もないテキスト教材配信型」が8割台である。「ライブ・リアルタイム配信型」を経験しているのは、「1部」では64.7%、「2部」では71.1%である。

第二に、そのうち最多を尋ねると、「オンデマンド配信型」（55.5%、50.9%）、「動画はなく音声もないテキスト教材配信型」（29.4%、31.8%）が多かった。

次に「以後」をみると、「以前」と大きな変化はない。第一に、経験した開講形態の中で最も多いのは、「オンデマンド配信型」、「動画はなく音声もないテキスト教材配信型」

の順で、前者は9割前後、後者は8割前後である。大きな変化があったのは、「ライブ・リアルタイム配信型」が大きく減少し5割を割り込んだ点である（「1部」では41.7%、「2部」では49.1%）。対面授業に移行していったことが示唆される。

第二に、そのうち最多を尋ねたところ、「オンデマンド配信型」が最多であり、続く順番も「以前」と同様であるが、「オンデマンド配信型」のウェイトがさらに増したことが特徴である。

3) 授業・課題に要した時間（6月22日以降）

授業・課題に要した時間を、最も長く要した日の時間数と、最もよくあるパターンの日々の時間数とに分けて尋ねた（表II 2—4）。

表II 2—4 授業・課題に要した時間（最も長く要した日の時間数及び最もよくあるパターン）
単位：人，%

	全体				所属の部別							
	最大		最多		1部		1部		2部		2部	
	609	100.0	609	100.0	436	100.0	436	100.0	173	100.0	173	100.0
全くしていない	15	2.5	23	3.8	10	2.3	14	3.2	5	2.9	9	5.2
1時間未満	22	3.6	113	18.6	12	2.8	72	16.5	10	5.8	41	23.7
1, 2時間	70	11.5	226	37.1	51	11.7	169	38.8	19	11.0	57	32.9
2, 3時間	106	17.4	131	21.5	77	17.7	94	21.6	29	16.8	37	21.4
3, 4時間	92	15.1	61	10.0	61	14.0	47	10.8	31	17.9	14	8.1
4, 5時間	91	14.9	27	4.4	65	14.9	20	4.6	26	15.0	7	4.0
5, 6時間	66	10.8	13	2.1	48	11.0	10	2.3	18	10.4	3	1.7
6, 7時間	40	6.6	7	1.1	29	6.7	5	1.1	11	6.4	2	1.2
7, 8時間	39	6.4	1	0.2	32	7.3	0	0.0	7	4.0	1	0.6
それ以上	65	10.7	2	0.3	49	11.2	2	0.5	16	9.2	0	0.0
〔無回答〕	3	0.5	5	0.8	2	0.5	3	0.7	1	0.6	2	1.2
(再掲)「5,6時間以上		34.5		3.8		36.2		3.9		30.1		3.5

注1：紙幅の都合で「8, 9時間」「9,10時間」「それ以上」を「それ以上」で一括した。一覧表には元のまま掲載している。以下同様。

注2：「最大」とは最も長く要した日の時間数、「最多」とは最もよくあるパターンの時間数。

最も長く要した日は「2, 3時間」、「3, 4時間」、「4, 5時間」になだらかな山がある。「5, 6時間」以上も「1部」、「2部」ともに3割台で（36.2%、30.1%）、また、極端に長いケースが一定数存在することにもふれておく。

最もよくあるパターンの時間は、「1, 2時間」が最多（38.8%、32.9%）で、その前後（「1時間未満」、「2, 3時間」）を足し合わせると「1部」でも「2部」でも全体の4分の3を占めた。

この結果をどうみたらよいだろうか。調査票では、授業の時間も含めて尋ねていること、後でみるとおり課題量が多かったという訴えが本調査では多かったことを踏まえても、ここで示された結果は、非常に短いという印象をもった。

調査票では、「授業や課題に要した時間の長さについてお聞きします。最も長く時間を要した日の時間数と、最もよくあるパターンの時間数のそれぞれをお答えください」と尋ねている。一日を想定して作成したのだが、一つ一つの授業・課題に要した時間と

解釈された可能性はないだろうか。本学の学生の「自学自習（予習、復習）」の時間はそもそも非常に短いことが学生生活実態調査には示されている⁶とはいえ、考察で検討してみる。

4) 前期の単位取得状況

表II 2—5 前期の単位取得状況 単位：人，%

	全体		所属の部別			
			1部		2部	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0
全て取得できた	351	57.6	268	61.5	83	48.0
9割程度	136	22.3	95	21.8	41	23.7
7, 8割程度	62	10.2	39	8.9	23	13.3
5, 6割程度	17	2.8	9	2.1	8	4.6
それ以下	36	5.9	19	4.4	17	9.8
〔無回答〕	7	1.1	6	1.4	1	0.6

前期の単位取得状況を尋ねた。結果は（表II 2—5）、「全て取得できた」が最多で、「1部」では61.5%である。「2部」では5割を切るが48.0%である。「9割程度」（21.8%、23.7%）も含めるとそれぞれ8割強、7割強である。

過去の学生生活実態調査と比較しても、単位の取得状況は高い。例えば、2017年度の調査結果では、「全て取得できた」が「1部」で41.0%、「2部」で33.8%であった。この結果をどう考えるべきか。考察で検討する。

5) 前期授業での課題

6月22日以降の対面授業再開後における、前期授業での課題について尋ねた。具体的には、課題が出された授業の数、課題が出された頻度、課題の締め切りを表II 2—6にまとめ、課題の量への評価を表II 2—7にまとめた。課題の量については、一つ一つの授業の課題の量に対する評価と、授業全体の課題の量を分けて尋ねた。

結論から言えば、従来は定期試験で成績評価が行われていたのが、遠隔授業でレポート課題などにシフトした授業が多く、また、課題の量も、学生たちにとっては大きな負担になったようである。

6 学生生活実態調査では、「普段の1週間の学習時間（予習・復習時間）」を尋ねているため、授業・課題に要した時間を尋ねた本調査との直接の比較はできないが、例えば2019年度の「全体」の結果で述べると、「ほとんどしない」40.1%、「30分程度」18.6%、「1時間」18.8%と、この3つで全体の4分3強を占める。

表II 2-6 前期授業での課題が出された授業の数、各授業での課題が出された頻度及び各授業の課題の締め切り・期日（最もよくあったパターン／6月22日以降）

単位：人，%

		全体		所属の部別			
		1部	2部	1部	2部	1部	2部
		609	100.0	436	100.0	173	100.0
a. 前期授業での課題が出された授業の数	全て・ほぼ全ての授業で出された	344	56.5	248	56.9	96	55.5
	多くの授業で出された	230	37.8	163	37.4	67	38.7
	多くの授業で出されなかった	20	3.3	12	2.8	8	4.6
	全て・ほぼ全ての授業で出されなかった	11	1.8	9	2.1	2	1.2
	〔無回答〕	4	0.7	4	0.9	0	0.0
		609	100.0	436	100.0	173	100.0
b. 同じく、各授業での課題が出された頻度（最もよくあったパターン）	毎回・ほぼ毎回出された	502	82.4	365	83.7	137	79.2
	2, 3回に一度	64	10.5	40	9.2	24	13.9
	4, 5回に一度	23	3.8	14	3.2	9	5.2
	5～10回に一度	6	1.0	5	1.1	1	0.6
	それ以上の頻度で一度課題は出されなかった	9	1.5	8	1.8	1	0.6
	〔無回答〕	3	0.5	3	0.7	0	0.0
			609	100.0	436	100.0	173
c. 同じく、各授業の課題の締め切り・期日（最もよくあったパターン）	当日締め切り	5	0.8	3	0.7	2	1.2
	3日以内	23	3.8	15	3.4	8	4.6
	一週間以内	548	90.0	388	89.0	160	92.5
	一か月以内	17	2.8	15	3.4	2	1.2
	学期内	5	0.8	5	1.1	0	0.0
	〔無回答〕	11	1.8	10	2.3	1	0.6

順にみていくと、第一に、課題は「全て・ほぼ全ての授業で出された」が「1部」「2部」ともに半数を超える（56.9%、55.5%）。「多くの授業で出された」（37.4%、38.7%）も含めると9割を超える。

第二に、課題が出された回数を尋ねた。最もよくあったパターンで回答してもらった（以下、同様）。結果は、「毎回・ほぼ毎回出された」が8割前後（83.7%、79.2%）である。

第三に、課題の締め切りは「一週間以内」が最も多く、全体で90.0%（89.0%、92.5%）である。

表 II 2-7 一つ一つの授業の課題の量及び授業全体の課題の量に対する評価

単位：人，%

		所属の部別					
		全体		1部		2部	
		609	100.0	436	100.0	173	100.0
a. 一つ一つの授業の課題の量に対する評価	非常に多かった	127	20.9	84	19.3	43	24.9
	少し多かった	299	49.1	215	49.3	84	48.6
	ちょうど良かった	158	25.9	117	26.8	41	23.7
	少し少なかった	12	2.0	10	2.3	2	1.2
	非常に少なかった	5	0.8	4	0.9	1	0.6
	〔無回答〕	8	1.3	6	1.4	2	1.2
		609	100.0	436	100.0	173	100.0
b. 授業全体の課題の量に対する評価	非常に多かった	249	40.9	173	39.7	76	43.9
	少し多かった	235	38.6	172	39.4	63	36.4
	ちょうど良かった	100	16.4	72	16.5	28	16.2
	少し少なかった	9	1.5	9	2.1	0	0.0
	非常に少なかった	6	1.0	4	0.9	2	1.2
	〔無回答〕	10	1.6	6	1.4	4	2.3

第四に、課題の量に対する評価である。調査票では、一つ一つの授業の課題の量と授業全体の課題の量に分けて尋ねた。

まず前者をみると、半数が「少し多かった」と回答している（49.3%、48.6%）。さらに、一つ一つの課題が「非常に多かった」も「1部」で19.3%、「2部」で24.9%を占めることも見逃せない。「ちょうど良かった」は全体の4分の1程度である。

その上で後者をみると、「非常に多かった」が4割前後にまで増加している（39.7%、43.9%）。「ちょうど良かった」は16%台（16.5%、16.2%）にとどまる。課題に悩む学生は多かったと推測される。

以下に、回答者から寄せられた、課題に関する自由記述を幾つか記載する。【】内の数値は回答者に付した番号である（以下、同様）。

【21】課題の提出期間を長くして頂きたい。複数の教科の課題提出期間が同じで内容も難しい為、徹夜で取り組んだ日が多々あった。

【25】私は掛け持ちでアルバイトをしながら時間を見つけて授業を受けたり課題をやっている状況です。私が履修しているある授業では、授業動画の閲覧も1週間という期限付きでアップロードされており、間に合わなくて見れなかったこともありました。せめて授業動画は閲覧期限をもう少し長くしてほしいと思っています。

【59】春に入学しレポートの書き方を何も知らなかったなので、例えば名前、所属学部など基礎的なことだけでも説明してからレポート課題を出して欲しかった。

【140】同じ講義内でも対面と遠隔どちらでも出席出来る様にして頂きたいです。又、1講義の課題量をもう少し少なくして頂きたいです（全ての講義の課題に手が回る位）。

【161】音声も動画も何もないただの文章をつらつらと並べてあるものから、重たい課題の答えを見つけないといけないのはおかしい。音声や動画での補足説明がないと難しいと思うものも多々あった。

【193】 ネット文献なしで参考文献必須の場合は締め切りを2, 3週間は取って欲しい。多くの学生が図書館に頼るので目当ての本が貸出中で借りられないから。また、何回かに1回は1000字以上の課題でいいが、毎回1000字以上の課題が出されると、他の授業の課題もあって提出が大変だった。

【268】 自分は今年入学したのですが、前期は大量の課題をこなすのに必死で、正直講義を受けているという感じではありませんでした。

【311】 オンデマンドやリアルタイムで動画を配信してくださる講義は大変わかりやすいのですが、動画はもちろん音声もない資料のみ掲示される講義があります。内容も難解で、毎回2000字程度のレポート課題が課せられるのは、正直に言って大変です。先生方もご多忙と存じますが、できれば解説の音声などがあればと思います。

【362】 全てにおいてではないが、十分な検証が行われておらず、説明が不足している場合、提示された資料そのものの不備がある (YouTube 動画が削除されている等) 場合があり、困る部分があった。評価方法等が不明瞭でやっていることが正しいのかわかりにくいことがあった。

【417】 私は目が疲れやすくパソコンやスマホの画面を長時間見続けて授業を見たり課題を処理するのが苦痛です。バイトがあると1週間以内にゆっくり休み休み課題をするということも難しいです。授業を短縮しろというわけでも対面授業にしろというわけでもありませんが、先生方は生徒の勉強環境について理解しているのか疑問に思います。一概にオンライン・オンデマンド授業が楽であるというわけでも、1週間あれば課題は簡単にこなせるというわけでもないことを理解して欲しいです。

【560】 LMS のサーバーダウンのみならず、各家庭における回線状況を考慮した対策 (例として、提出期限の延長など) を講じてほしい。

【614】 レポートをネットで提出という課題で、なぜかエラーで提出ができず、そういう場合は担当教員にメールして下さいとその授業ではルールになっていたのにメールで連絡したが、連絡が来ず、学生部にも学部関係にも問い合わせても担当教員にメールしてくださいとしか言ってもらえず、何も出来ずに課題が出せず単位を落とすしか無かった。最低限の返信もできないのか、有り得ないと思う。同じ授業料払っててそれは無いなと感じますし、オンラインで授業をやるにあたってそれも考慮してくれないのかと残念。

6) 遠隔授業、通信環境の整備状況について

以下では、遠隔授業についてみていく。遠隔授業を受講している媒体、そのうちスマホユーザーにおけるスマホの通信環境面での支障、パソコン・パソコン周辺機器の所有状況、通信環境の整備状況についてである。時期は、2020年10月現在のことを尋ねた。

(1) 遠隔授業を受講している媒体と、スマホの通信環境面での支障

表II 2-8 遠隔授業を受講している媒体【複数回答可】及びスマホの通信環境面での支障の有無

単位：人，%

		全体		所属の部別			
		人数	割合	1部		2部	
		609	100.0	436	100.0	173	100.0
a. 遠隔授業を受講している媒体【複数回答可】	①パソコン	534	87.7	392	89.9	142	82.1
	②タブレット端末	70	11.5	47	10.8	23	13.3
	③スマホ	330	54.2	241	55.3	89	51.4
	④遠隔授業を受講していない	34	5.6	23	5.3	11	6.4
	⑤その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		330	100.0	241	100.0	89	100.0
b. スマホの通信環境面での支障の有無 (スマホを使っていると回答した者限定)	全く問題ない	166	50.3	127	52.7	39	43.8
	ときどき問題が生じる	140	42.4	103	42.7	37	41.6
	よく問題が生じる	18	5.5	9	3.7	9	10.1
	常に問題が生じている	6	1.8	2	0.8	4	4.5

注1：aでは、無回答が2人存在する（いずれも1部）。

「パソコン」、「タブレット端末」、「スマホ」を取り上げて、遠隔授業を受講している媒体について複数回答可で尋ね、スマホを選択した者には、通信環境面での支障の有無を尋ねた（表II 2-8）。

前者の結果は、「パソコン」は8割台（89.9%、82.1%）と非常に多く、逆に、「タブレット端末」は1割台と少なかった。また、「スマホ」は全体の半数強（55.3%、51.4%）が使用していた。

後者の結果は、「全く問題ない」と回答した学生は全体の4、5割にとどまった（52.7%、43.8%）。残りが多いのは、「ときどき問題が生じる」（42.7%、41.6%）であるが、「よく問題が生じる」と「常に問題が生じている」の合計も、「2部」では一定数みられた（計14.6%）。

(2) パソコン及びパソコン周辺機器等の所有状況

パソコンやパソコン周辺機器（以下、パソコン等）の所有状況を尋ねた。突然開始された遠隔授業に学生たちはついていける状況下にあったのかどうかを、パソコン等の所有状況や通信環境面からみていきたい。

なお、紙幅の都合で表（表II 2-9①）では、「パソコン」、「タブレット端末」、「プリンター」の所有状況を取り上げるにとどめる。残りの「ウェブカメラ」、「ウェブマイク」、「イヤホン・ヘッドホン」、「メモリなどデータ保存機器」は、添付の調査結果一覧表を参照されたい（本文で省略された結果については、以下、同様）。

表II 2—9① パソコン及びパソコン周辺機器等の所有状況

単位：人，%

		全体		所属の部別			
		609	100.0	1部		2部	
				436	100.0	173	100.0
a. パソコン	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	456	74.9	327	75.0	129	74.6
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	130	21.3	99	22.7	31	17.9
	所有しておらず、これから用意をする	8	1.3	3	0.7	5	2.9
	所有しておらず、今後買う予定もない	11	1.8	5	1.1	6	3.5
	〔無回答〕	4	0.7	2	0.5	2	1.2
b. タブレット端末	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	177	29.1	123	28.2	54	31.2
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	23	3.8	15	3.4	8	4.6
	所有しておらず、これから用意をする	15	2.5	12	2.8	3	1.7
	所有しておらず、今後買う予定もない	325	53.4	238	54.6	87	50.3
	〔無回答〕	69	11.3	48	11.0	21	12.1
c. プリンター	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	410	67.3	316	72.5	94	54.3
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	64	10.5	39	8.9	25	14.5
	所有しておらず、これから用意をする	10	1.6	6	1.4	4	2.3
	所有しておらず、今後買う予定もない	86	14.1	49	11.2	37	21.4
	〔無回答〕	39	6.4	26	6.0	13	7.5

注：調査票では、「ウェブカメラ」、「ウェブマイク」、「イヤホン・ヘッドホン」、「メモリなどデータ保存機器」についても尋ねているが、紙幅の都合で省略した。

第一に、「パソコン」は「コロナ禍・遠隔授業開始以前」からの所有が全体の4分の3を占めた（75.0%、74.6%）。その上に、「コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）」もあわせるとそれぞれ9割を超えた。予想を超える高さであった（但し「2部」ではまだ所有していない者が6.4%みられる）。

第二に、「パソコン」の所有率の高さに対して、「タブレット端末」は「以前から所有していた」が3割程度で、逆に、「所有しておらず、今後買う予定もない」が半数強を占めた。

第三に「プリンター」は「1部」と「2部」で差がついた。「1部」では「以前から所有していた」が7割強で、今回「購入した」をあわせると8割に達するのに対して、「2部」では、それぞれ54.3%、14.5%で合計で7割弱である。「今後買う予定もない」が21.4%と多い（「1部」では11.2%）。

第四に、「ウェブカメラ」や「ウェブマイク」は、「所有しておらず、今後買う予定もない」が50%台で、「以前から所有していた」が20%台である。逆に、「イヤホン・ヘッドホン」は、「以前から所有していた」が8割前後（80.5%、75.7%）で多かった。

最後に、「メモリなどデータ保存機器」は、「以前から所有していた」が6割台で、今回「購入した」もあわせると、7割台に達した。

表II 2—9② 所属の部×学年別にみたパソコンの所有状況 単位：人，%

	1部×学年				2部×学年			
	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
	141 100.0	136 100.0	110 100.0	49 100.0	53 100.0	55 100.0	42 100.0	23 100.0
コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	70 49.6	114 83.8	98 89.1	45 91.8	31 58.5	45 81.8	34 81.0	19 82.6
コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	69 48.9	17 12.5	10 9.1	3 6.1	22 41.5	5 9.1	3 7.1	1 4.3
所有しておらず、これから用意をする	1 0.7	2 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 5.5	2 4.8	0 0.0
所有しておらず、今後買う予定もない	1 0.7	2 1.5	2 1.8	0 0.0	0 0.0	1 1.8	3 7.1	2 8.7
〔無回答〕	0 0.0	1 0.7	0 0.0	1 2.0	0 0.0	1 1.8	0 0.0	1 4.3

ところで、表は省略するが、学年別にみると、「1年生」では「コロナ禍・遠隔授業開始以前」からの所有は低い。例えば「パソコン」だけ表II 2—9②で取り上げておくと、「1部」では49.6%、「2部」では58.5%であった（その代わりに、「コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）」が多い結果となっている）。

（3）通信環境の整備状況について

遠隔授業が開始されたときと、現在とに分けて通信環境の整備状況を尋ねた。自宅にWi-Fiや有線があるかモバイルWi-Fiがあれば、受講環境はとりあえず整っているといえるのではないかと考えてこれらの整備状況のみを尋ねた（表II 2—10）。

表II 2—10 通信環境（自宅wifi・有線、モバイルwifi）の整備状況 単位：人，%

		全体		所属の部別	
		1部	2部	1部	2部
		609 100.0	436 100.0	173 100.0	
a. 遠隔授業が開始されたとき	自宅wifi・有線もモバイルwifiもあり	13 2.1	10 2.3	3 1.7	
	自宅wifi・有線のみあり	549 90.1	401 92.0	148 85.5	
	モバイルwifiのみあり	33 5.4	19 4.4	14 8.1	
	〔無回答〕	14 2.3	6 1.4	8 4.6	
		609 100.0	436 100.0	173 100.0	
b. 現在	自宅wifi・有線もモバイルwifiもあり	21 3.4	15 3.4	6 3.5	
	自宅wifi・有線のみあり	550 90.3	401 92.0	149 86.1	
	モバイルwifiのみあり	24 3.9	14 3.2	10 5.8	
	〔無回答〕	14 2.3	6 1.4	8 4.6	

まず、「遠隔授業が開始されたとき」と「現在」とで大きな変化はなかったことが特徴としてあげられる。

次に、整備状況を見ると、まず「遠隔授業が開始されたとき」は、「自宅 Wi-Fi や有線のみあり」が「1部」で92.0%、「2部」ではやや低下し85.5%だった。それが「現在」は、「1部」では変化なく92.0%で、「2部」では86.1%となっている。

なお、この設問では「整備されていない」という選択肢が設けられていないため、ここでの無回答が、「整備されていない」ことを意味するのか、回答なしなのかが不明である。

(4) 北海学園大学から支給された支援金5万円の使途

オンライン授業環境を整備するための支援金が大学から一律5万円、各学生に対して支給された。支援金はどのようなことに使われただろうか。

表II 2-11 北海学園大学から支給された支援金「5万円」の使途(最もお金を費やしたもの)

単位：人，%

	全体		所属の部別			
			1部		2部	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0
パソコンやパソコン周辺機器	123	20.2	86	19.7	37	21.4
通信環境整備	25	4.1	14	3.2	11	6.4
学費	167	27.4	121	27.8	46	26.6
生活費	104	17.1	68	15.6	36	20.8
部活・サークル費用	1	0.2	1	0.2	0	0.0
就活費用	13	2.1	9	2.1	4	2.3
貯金	112	18.4	85	19.5	27	15.6
趣味・遊興費	31	5.1	23	5.3	8	4.6
その他	29	4.8	26	6.0	3	1.7
〔無回答〕	4	0.7	3	0.7	1	0.6

結果は(表II 2-11)、「パソコンやパソコン周辺機器」が2割前後で(19.7%、21.4%)、「通信環境整備」(3.2%、6.4%)を足し合わせても3割に満たない。

但しそれは、「趣味・遊興費」など自由に使ったことを示すのではなく、「学費」(27.8%、26.6%)や「生活費」(15.6%、20.8%)に使われているほか、「貯金」(19.5%、15.6%)にまわされている。

7) 遠隔授業に対する不満や悩み、困っていること

現在、大学では、教室の収容定員に対する受講者数によって授業の開講形態が決められる。例年は対面で受けられていたはずの授業が、遠隔授業が主流となっている(学部によって差もある)。こうした遠隔授業に対しての不満や悩み、困っていることを、複数回答可で選択してもらった。とくにない場合は「①とくにない」にチェックをつけてもらった。

表II 2—12 遠隔授業に関する不満や悩み、困っていること【複数回答可】 単位：人，%

	全体		所属の部別			
			1部		2部	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0
①とくにない	58	9.5	44	10.1	14	8.1
②授業内容が十分に理解できない	224	36.8	157	36.0	67	38.7
③教員とのコミュニケーションがとりにくい	159	26.1	120	27.5	39	22.5
④評価方法や単位取得に対して不安がある	281	46.1	194	44.5	87	50.3
⑤遠隔授業のシステムやLMS・アプリの使い方がよく分からない	46	7.6	27	6.2	19	11.0
⑥課題が多い	375	61.6	263	60.3	112	64.7
⑦友達・受講者同士での交流ができない	271	44.5	193	44.3	78	45.1
⑧生活リズムが狂う	171	28.1	127	29.1	44	25.4
⑨身体的・精神的疲労がたまる	226	37.1	164	37.6	62	35.8
⑩遠隔授業を受けるのに適した媒体（パソコンなど）を持っていない	8	1.3	2	0.5	6	3.5
⑪パソコンや、プリンターなど周辺機器の購入費用の負担が大きい	66	10.8	46	10.6	20	11.6
⑫遠隔授業を受講する際の媒体(パソコンなど)の性能が低い	44	7.2	22	5.0	22	12.7
⑬印刷費用の負担が大きい	173	28.4	128	29.4	45	26.0
⑭通信環境が整っていない、通信環境がよくない	46	7.6	32	7.3	14	8.1
⑮通信費用の負担が大きい	39	6.4	27	6.2	12	6.9
⑯受講環境がよくない（集中ができない、周囲がうるさい、周囲に聞かれる、など）	75	12.3	45	10.3	30	17.3
⑰その他	29	4.8	20	4.6	9	5.2

注：無回答が全体で6人（1部で5人、2部で1人）存在する。

結果は（表II 2—12）、第一に「①とくにない」と回答した学生は「1部」「2部」ともに全体の1割前後にとどまり、残りの多くの学生は、何かしらの不満や悩み等を抱えていることになる。

第二に、唯一半数を超えたのが「⑥課題が多い」である。「1部」でも「2部」でも6割台である。課題量の多さは、報道でも繰り返し指摘されたが、本学でも同様であった。次いで割合が高かったのが「④評価方法や単位取得に対して不安がある」で、「1部」では44.5%、「2部」では50.3%に達する。「⑦友達・受講者同士での交流ができない」も4割を超えている（44.3%、45.1%）。

以上の他に多いのが（「全体」の数値でみると）順に、「⑨身体的・精神的疲労がたまる」（37.6%、35.8%）、「②授業内容が十分に理解できない」（36.0%、38.7%）、「⑬印刷費用の負担が大きい」（29.4%、26.0%）、「⑧生活リズムが狂う」（29.1%、25.4%）、「③教員とのコミュニケーションがとりにくい」（27.5%、22.5%）などで、全体の4分の1を超える。

なお第一に、予想外に低かったのが、「⑩遠隔授業を受けるのに適した媒体（パソコンなど）を持っていない」で、「1部」で0.5%、「2部」で3.5%にとどまった。関連して、「⑪パソコンや、プリンターなど周辺機器の購入費用の負担が大きい」はもう少し多いが、1割程度だった（10.6%、11.6%）。加えて、「⑯受講環境がよくない（集中ができない、周囲がうるさい、周囲に聞かれる、など）」という問題もあり、「1部」で10.3%、「2部」では17.3%だった。

第二に、表は省略するが、学年別の結果をみると、「⑦友達・受講者同士での交流ができない」は「1年生」で高く、「1部」で56.7%、「2部」で58.5%だった。同じく、規模は小さいが、「⑩パソコンや、プリンターなど周辺機器の購入費用の負担が大きい」は1年生でやや高く、「1部」で14.9%、「2部」で17.0%だった。

8) コロナ感染への不安や大学のコロナへの対応に対する考え

対面授業が待たれているという報道が多い。また政府も、対面授業の再開を促し、対面授業の実施割合が低い（半数未満の）大学名を公表すると発表している⁷。

本学でも、対面授業が再開されているが、学生たちは、コロナ感染への不安や大学のコロナへの対応をどう感じている／どう評価しているだろうか。また遠隔授業や対面授業をどう評価しているか。順にみていこう。

表II 2—13 コロナ感染への不安や大学のコロナ対応への考え【複数回答可】 単位：人，%

	全体		所属の部別			
	人数	割合	1部		2部	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0
①授業・教室内での感染不安がある	271	44.5	188	43.1	83	48.0
②大学構内での感染不安がある	338	55.5	239	54.8	99	57.2
③通学の際に感染する不安がある	290	47.6	210	48.2	80	46.2
④大学の感染対策は不十分だと思う	128	21.0	93	21.3	35	20.2
⑤大学から提供される情報に問題がある（情報内容が明確でない、関連情報が少ない、情報提供が少ない、など）	154	25.3	99	22.7	55	31.8
⑥コロナ感染の不安などを大学に訴える機会がない・少ない	112	18.4	79	18.1	33	19.1
⑦その他	42	6.9	25	5.7	17	9.8

注：無回答が45人（1部で32人、2部で13人）存在する。

第一に、感染不安は高い(表II 2—13)。すなわち、「②大学構内での感染不安がある」、「③通学の際に感染する不安がある」、「①授業・教室内での感染不安がある」がそれぞれ5割台から4割台に達している（「②」は54.8%、57.2%）。「③」は、本学の通学事情、すなわち、地下鉄での通学が多く、高校生や会社員との接触機会が多いという事情を反映していると思われる。

第二に、「⑤大学から提供される情報に問題がある」、「④大学の感染対策は不十分だと思う」は、上記の①～③に比べると低く、20%台にとどまる（但し「⑤」は「2部」では31.8%）。なお、「⑥コロナ感染の不安などを大学に訴える機会がない・少ない」は、2割弱である（18.1%、19.1%）。

なお調査票の設計にミスがあり、コロナ感染への不安が「とくにない」の選択肢が設けられていない。無回答45人の中には、不安が「とくにない」が含まれると思われる。

7 「対面授業が半数未満の大学名公表 文科省、11月上旬に」『共同通信』2020年10月16日配信。

9) 遠隔授業と対面授業に対する総合的な評価

(1) 総合的な評価

以上のとおり、遠隔授業における経験や評価のほか、コロナ感染に対する不安などをみてきたが、最後に、遠隔授業と対面授業のそれぞれに対する評価を比較してみる。まずは、両授業に対する総合的な評価を尋ねてみた(表II 2—14)。

表II 2—14 遠隔授業と対面授業に対する総合的な評価

単位：人，%

	全体		所属の部別			
			1部		2部	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0
遠隔授業が良かった	116	19.0	82	18.8	34	19.7
どちらかといえば遠隔授業が良かった	118	19.4	81	18.6	37	21.4
どちらかといえば対面授業が良かった	118	19.4	88	20.2	30	17.3
対面授業が良かった	74	12.2	50	11.5	24	13.9
どちらの授業にも良い面があった	178	29.2	130	29.8	48	27.7
〔無回答〕	5	0.8	5	1.1	0	0.0

結果は、「どちらの授業にも良い面があった」が最多で29.2% (29.8%、27.7%) である。残りを、遠隔授業か対面授業かに分類すると、遠隔授業(「遠隔授業が良かった」「どちらかといえば遠隔授業が良かった」)のウェイトが若干高くなる(「2部」では、遠隔授業が10ポイントほど高くなる)。

(2) 各項目(要素)ごとの利点の比較

遠隔授業はどんな点に利点があると考えられているのだろうか。幾つかの項目を設定して、「遠隔授業」と「対面授業」のどちらに利点があるかを尋ねてみた(表II 2—15)。

表Ⅱ 2—15 各項目（要素）ごとの、遠隔授業及び対面授業の利点の比較 単位：人，%

		全体		所属の部別			
		609	100.0	1部		2部	
				436	100.0	173	100.0
①授業内容の理解度	遠隔授業	82	13.5	63	14.4	19	11.0
	対面授業	332	54.5	237	54.4	95	54.9
	どちらにも利点がある	192	31.5	133	30.5	59	34.1
	〔無回答〕	3	0.5	3	0.7	0	0.0
②自分のペースで学べる	遠隔授業	513	84.2	372	85.3	141	81.5
	対面授業	33	5.4	20	4.6	13	7.5
	どちらにも利点がある	60	9.9	41	9.4	19	11.0
	〔無回答〕	3	0.5	3	0.7	0	0.0
③授業に集中できる	遠隔授業	150	24.6	110	25.2	40	23.1
	対面授業	328	53.9	225	51.6	103	59.5
	どちらにも利点がある	125	20.5	96	22.0	29	16.8
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6
④教員への質問、教員との交流	遠隔授業	45	7.4	31	7.1	14	8.1
	対面授業	446	73.2	323	74.1	123	71.1
	どちらにも利点がある	109	17.9	74	17.0	35	20.2
	〔無回答〕	9	1.5	8	1.8	1	0.6
⑤受講生や友人との交流	遠隔授業	17	2.8	9	2.1	8	4.6
	対面授業	547	89.8	395	90.6	152	87.9
	どちらにも利点がある	39	6.4	28	6.4	11	6.4
	〔無回答〕	6	1.0	4	0.9	2	1.2
⑥生活リズムを整えること	遠隔授業	71	11.7	43	9.9	28	16.2
	対面授業	422	69.3	314	72.0	108	62.4
	どちらにも利点がある	112	18.4	76	17.4	36	20.8
	〔無回答〕	4	0.7	3	0.7	1	0.6
⑦時間を有効に活用できること	遠隔授業	442	72.6	315	72.2	127	73.4
	対面授業	80	13.1	57	13.1	23	13.3
	どちらにも利点がある	83	13.6	60	13.8	23	13.3
	〔無回答〕	4	0.7	4	0.9	0	0.0

結果は、「②自分のペースで学べる」や「⑦時間を有効に活用できる」は、「遠隔授業」で高く評価されている（8割台、7割台）。それに対して、「⑤受講生や友人との交流」や「④教員への質問、教員との交流」は「対面授業」で多数である（9割前後、7割台）。

以上の項目に対して、「①授業内容の理解度」という重要項目は、「対面授業」が半数強（54.4%、54.9%）と多いものの、「どちらにも利点がある」も3割台（30.5%、34.1%）となっており、必ずしも「対面授業」に限定されるものではないようである。また「③授業に集中できる」も「対面授業」がやはり半数強（51.6%、59.5%）と多いものの、「遠隔授業」も4人に1人前後（25.2%、23.1%）という状況である（残りは「どちらにも利点がある」）。

（3）対面授業を大学が開始したことに対する評価と、開講条件に対する評価

第一に、対面授業を大学が開始したことをどう評価しているか。ニュアンスが少しずつ異なる選択肢を準備していずれかを選択してもらった（表Ⅱ 2—16）。

表II 2—16 対面授業を大学が開始したことへの評価【複数回答可】及び対面授業の開講条件（3分の1ルール）への評価

単位：人，%

	全体		所属の部別				
			1部		2部		
	609	100.0	436	100.0	173	100.0	
a. 対面授業を大学が開始したことに対する評価【複数回答可】	①適切だと思う	176	28.9	133	30.5	43	24.9
	②やむを得ないと思う	223	36.6	165	37.8	58	33.5
	③問題があると思う	104	17.1	67	15.4	37	21.4
	④判断が難しい・分からない	103	16.9	68	15.6	35	20.2
	〔無回答〕	3	0.5	3	0.7	0	0.0
	609	100.0	436	100.0	173	100.0	
b. 対面授業の開講条件である「受講者数が収容定員の3分の1以下」に対する評価	非常に緩い	22	3.6	16	3.7	6	3.5
	緩い	79	13.0	53	12.2	26	15.0
	適切である	339	55.7	249	57.1	90	52.0
	厳しい	54	8.9	38	8.7	16	9.2
	非常に厳しい	9	1.5	6	1.4	3	1.7
	分からない	104	17.1	72	16.5	32	18.5
	〔無回答〕	2	0.3	2	0.5	0	0.0

結果は、「適切だと思う」は「全体」で28.9%（30.5%、24.9%）で、「やむを得ないと思う」が最多である（37.8%、33.5%）。「問題があると思う」は「全体」で17.1%（15.4%、21.4%）にとどまる。「判断が難しい・分からない」（15.6%、20.2%）にも、文字通り、判断の難しさが示されていると思われる。

第二に、対面授業の開講条件は、前期と同じく「受講者数が収容定員の3分の1以下」である。この条件をどう評価しているかを尋ねたところ、「適切である」が半数を超えていた（57.1%、52.0%）。「非常に緩い」と「緩い」をあわせても1割台である。

（4）今後の授業の開講形態に対する希望

表II 2—17 今後の授業の開講形態に対する希望

単位：人，%

	全体		所属の部別			
			1部		2部	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0
可能な限り対面授業を望む	157	25.8	110	25.2	47	27.2
可能な限り遠隔授業を望む	194	31.9	135	31.0	59	34.1
対面と遠隔の併用を望む	188	30.9	143	32.8	45	26.0
とくに希望はない	48	7.9	33	7.6	15	8.7
分からない	18	3.0	11	2.5	7	4.0
〔無回答〕	4	0.7	4	0.9	0	0.0

最後に、今後の授業の開講形態に対する希望を尋ねたところ（表II 2—17）、まず「とくに希望はない」と「分からない」を合わせた値は1割程度で、残りは、「可能な限り遠隔授業を望む」、「可能な限り遠隔授業を望む」、「対面と遠隔の併用を望む」に分かれた（「1部」では「併用」32.8%、「遠隔」31.0%、「対面」25.2%の順で、「2部」では「遠隔」34.1%、「対面」27.2%、「併用」26.0%の順である）。

表は省略するが、学年別にみた際、「1年生」であっても、対面授業を望む割合はと

くに高くはなかった。「可能な限り対面授業を望む」1年生は、「1部」で27.0%、「2部」で26.4%にとどまった。

以下に本学の授業（対面授業、遠隔授業）のあり方やコロナ感染対策への不満や意見などを掲載する。なお、調査票には設けなかったが、対面と遠隔を「併用」する際には、例えば、同じ日の（連続した時間帯で）対面と遠隔を配置することは避けるなど、学部や大学の組織的な対応が必要になることを示唆する記述が散見された。

【31】学内でコロナウイルスの感染者が出たと何回か連絡は入ったが、消毒などの対策はされていたのか、学校にどれくらいの頻度で来ていたのか、個人情報に触れない程度でもう少し情報共有して欲しかった。

【42】大学側が感染症対策をしても学生が街などでコロナを持ち込む可能性があるのととても不安。全て対面授業で受けることが可能となるまでは遠隔授業で受けたい。

【67】教室の収容人数を減らしても生徒が均等に散らないのであまり意味が感じられませんでした（前列が少なく、後列に集まりやすいなど）。

【75】対面授業になってもグループワークが出来るわけでもなく、一方的に教授が話すだけならオンライン授業でも変わらない。むしろマスク越しにマイクを使ったりしてるので声が聞き取りにくかったりもする。課題の提出でプリントの字が汚くて読めないと言う教授がいたが、それならLMS上で提出を求めれば良いと思う。私の家族は祖母と持病を持った父がおり、2人ともコロナに感染したら命の危険があるので、対面授業になってからいつ感染するか気が気でない。何人も感染者・濃厚接触者がいるのに「学外の感染だから」という理由で対面授業を続けるのは違うと思う。

【102】通学の際に電車や地下鉄など人の利用が多い交通機関を使うので、コロナの感染が不安になります。

【129】文科省では、対面と遠隔授業を混ぜることを推奨しているようで、本校も対面授業を一定の条件を定めて再開しているが、私は反対派で、遠隔授業のみにして欲しいと考えている。

理由は四つある。一つ目は、今後はインフルエンザの流行が予想されたり、冬は寒いので窓を開けての換気が厳しいからである。二つ目は、対面と遠隔授業を混ぜると、対面授業の直後に入っている遠隔授業の講義を、図書館などで受けなければならないからである。以前図書館の自習スペースを使おうとしたら、ソーシャルディスタンスは保たれていたものの、かなり混んでいた。三つ目は、大学生は、学内のみならず、バイト等の学外での行動範囲が広く、いくら大学構内での感染対策が十分であっても、防ぎきれないものもあると思うからだ。四つ目は、遠隔授業の方が授業で聞き取れなかった部分や分からない部分を巻き戻して聞くことができ、より理解が深まるため良かったからである。

以上のことから、全ての講義で遠隔授業形式になることを望んでいる。

【134】感染者がこれほど多く出ている中、未だに対面授業を続けているのは非常に現状を舐めているとしか思えない。「受講者数が教室収容定員の3分の1以下」というのも、なぜそのような基準となったのか全く説明されず、透明性に欠けてい

ると感じざるを得ない。

【154】専門科目を頻度が少なくてもいいので、対面で受講したいです。受講者が多いから遠隔授業の形態を取っていることは納得していますが、遠隔授業だけでは内容理解に限界があると考えます。他学部の友人は専門科目も対面になっていて、その話を聞くたびに羨ましく思ってしまう。新規感染者数の増加が落ち着いてからでもいいので、ぜひ専門科目の対面講義の実施を検討して頂きたいです。

【159】遠隔と対面が混ざっている状況であり通学が厳しい人も多いはずだが、変更期間中に相談しても全く救済するような対応はなかった。現在の授業の方法では学生への負担が大きいように感じる。情報更新等の遅さも含めて、今回のコロナ禍での対応や方針は学校へのかなり疑問が多かった。

【178】私のように遠隔を望む人がいる一方で、対面で友好関係を作りたい人がいることも理解しており、両方満足させるような対策が難しいことはわかっています。だからこそ、遠隔と対面を選択できるようなことが必要なのかと思う。そうなれば、オンライン授業だけでも学校にいなければいけないような状況も解消されると思った人が増えると思う。

情報量が少ないため、非常に不安を感じています。学部、感染したと思われる場所くらいは最低限として公開してほしい。でなければ、対策が難しい。

【224】今回対面講義が再開された科目を見ても、「絶対に対面でなくてはならない」という感想は抱かず、むしろ遠隔授業の方がまとまって時間も無駄にならず学べるのではと思った。対面講義の良いところは双方向コミュニケーションがとりやすいことにあると思うし、そういった講義は対面にしていけばいいと思うけれども、一方的に知識を与えてくれるだけの講義に関しては全面遠隔授業でも何ら差支え無いと思うし、移行しないのは教職員の怠惰でしかないと思う。また、全体としてのクオリティの向上を強く求める次第です。

【295】オンラインだと甘えや気の緩みが出るので、学校に行って授業を受けないと集中できなかつたりやる気が出ない人が沢山いると思う。できれば対面の授業で今までの規則正しい生活に戻したい。

【319】現在感染者がいらないため対面授業を続行する、というスタンスに納得がいていません。対面である必要のない講義も数多くあったため、被害者が出る前にオンラインに移行することを検討してほしいです。感染拡大のリスクを冒してまで対面授業に価値はないと考えます。それでも対面授業が好ましい方もいらっしゃると思うので、学生が対面授業とオンライン授業を選べる環境が望ましいと思います。

【358】教室内の人数が3分の1との事ですが、人数が多い授業だとソーシャルディスタンスが取れていないし、周りの人と近すぎて、学校に行くのが怖いです。登校時の感染不安もありますし、教室移動の際も怖いです。

【377】LMSの仕様が非常に不親切でストレス。また、DLするファイルが多い場合が多少あるので圧縮ファイルで一括DLできるオプションが欲しい。独自システムにはありがちだが、いちいち閉まるLMSの項目など使い勝手の悪さを感じている。またファイルのDL期限を設定する合理性が全く理解できない。半期全て公開でもいいのではないか？せっきくのオンライン授業だというのに最大のメリットを活かすつもりがないのには困惑させられる。

【400】対面授業と遠隔授業の併用は両方のいいところ取りのように見えて実際はどちらかに絞った方が良いのではないかと感じた。対面授業を受けに学校に来て次の授業がオンライン授業だと負担がすごいと思います。

【471】私は前期からリアルタイムの授業はありませんでしたが、通信環境に対する不安がとても大きいため、また、自分のタイミングで講義を聞くことができるという点で、配信型の方が利点が多いのではないかと感じました。

【531】オンライン授業と対面授業が立て続けになったとき、移動時間を考えるとどうしても遅刻してしまうのが本当に不便。パソコン室を使うにもオンライン授業の中には発言をしなければならないものもあり、授業形態を統一するべきだと感じた。

【580】学内の制限ももちろんだが学外の制限も視野に入れねば感染拡大を防ぐのは非常に難しいと思う。

【599】遠隔授業でもよく理解できる科目が対面授業になり、逆に詳しく説明していただかないとよく理解ができない科目が遠隔授業で行われている。教室内の人数も大事ですが、授業内容の面からでも要対面かどうか判断していただきたいと思いました。

(上原愛花、大坂響、小川佳那子、奥山翔、河井色葉、酒井泰佑、白谷鷹基、杉永波暉、廣田翼佐、藤本将行、松原美紅、村田圭哉、山田琉偉)

第3章 アルバイトのこと

第3章では、アルバイトの調査結果を取り上げる。

例年の調査では、現在のアルバイトの経験や賃金・労働条件を中心に尋ねているが、今年は、コロナ禍でアルバイト先が休業したり、勤務シフトや労働時間が減るなどの経験が多く聞かれた。そこでまずは、2020年2月時点のアルバイト実施状況を尋ね、3月から現在までのアルバイトでの経験を尋ね、その上で、現在のアルバイトの賃金・労働条件について尋ねるという順番で調査票を構成した。

なお、過去の調査によれば、キャンパスライフに占めるアルバイトのウェイトは大きく、また、本学の場合、夜間に授業が開講される2部生は、1部生に比べてもそのウェイト（アルバイト実施率、時間数）が大きい。

1) 2020年2月のアルバイト実施状況と、3月から現在までのアルバイトの経験

表II 3—1① 今年2月時点でのアルバイト実施状況及び当該アルバイトの継続状況 単位：人，%

		全体		所属の部別			
		1部	2部	1部	2部	1部	2部
		609	100.0	436	100.0	173	100.0
a. 今年の2月時点でのアルバイト実施状況	していた	382	62.7	263	60.3	119	68.8
	していなかった	224	36.8	171	39.2	53	30.6
	〔無回答〕	3	0.5	2	0.5	1	0.6
		382	100.0	263	100.0	119	100.0
b. そのアルバイトの継続状況	継続している	281	73.6	197	74.9	84	70.6
	やめた	77	20.2	46	17.5	31	26.1
	継続しているものもあれば、やめたものもある	22	5.8	18	6.8	4	3.4
	〔無回答〕	2	0.5	2	0.8	0	0.0

表II 3—1② 所属の部×学年別にみた今年2月時点でのアルバイト実施状況 単位：人，%

	1部×学年				2部×学年											
	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年								
	141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
していた	24	17.0	106	77.9	95	86.4	38	77.6	17	32.1	48	87.3	36	85.7	18	78.3
していなかった	116	82.3	30	22.1	14	12.7	11	22.4	36	67.9	6	10.9	6	14.3	5	21.7
〔無回答〕	1	0.7	0	0.0	1	0.9	0	0.0	0	0.0	1	1.8	0	0.0	0	0.0

第一に、今年の2月時点でのアルバイト実施状況を尋ねたところ（表II 3—1①）、「1部」では60.3%、「2部」では68.8%だった。

なお、表II 3—1②にあるとおり、当時高校3年生が中心であった「1年生」が全体の値を引き下げており（「1部」の実施割合は17.0%、「2部」では32.1%）、「2年生」以降の値は7、8割台に達している。

では第二に、そのアルバイトを現在でも継続しているかを尋ねたところ、「継続している」が7割台（74.9%、70.6%）を占めた。但し「2部」では「やめた」も4人に1人の割合である（26.1%）。

なお、ここでの「継続している」とは、仕事量に変化なく継続ができていることを意味するものではない点に留意が必要である。

表II 3—2 2020年3月から現在までのアルバイトの「量」に関する経験【複数回答可】 単位：人，%

	全体		所属の部別			
			1部		2部	
	382	100.0	263	100.0	119	100.0
①とくにない	123	32.2	84	31.9	39	32.8
②勤務シフト・労働時間が減った	175	45.8	119	45.2	56	47.1
③勤務シフト・労働時間がゼロになった	70	18.3	47	17.9	23	19.3
④バイト先を解雇された	12	3.1	7	2.7	5	4.2
⑤バイト先が休業した	106	27.7	78	29.7	28	23.5
⑥バイト先が閉店した	19	5.0	15	5.7	4	3.4
⑦コロナ感染予防のためにバイトをやめた	15	3.9	10	3.8	5	4.2
⑧労働条件や人間関係を理由にバイトをやめた	17	4.5	9	3.4	8	6.7
⑨その他の自己都合でバイトをやめた	26	6.8	17	6.5	9	7.6
⑩バイトのかけもちを始めた	33	8.6	24	9.1	9	7.6
⑪その他	13	3.4	8	3.0	5	4.2

注：無回答が全体で4人（いずれも1部）存在する。

というのも第三に、2020年3月から現在までアルバイトの「量」に関するネガティブな経験を複数回答可で尋ねたところ（表II 3—2）、「①とくにない」は3割にとどまる（31.9%、32.8%）。

残りが多いのは、一つ目には、「②勤務シフト・労働時間が減った」と回答した者が4割台（45.2%、47.1%）で最多であった。「③勤務シフト・労働時間がゼロになった」も2割弱みられる（17.9%、19.3%）。二つ目には、「⑤バイト先が休業した」が「1部」で29.7%、「2部」で23.5%というのも多い。

なお、以上の「②」「③」「⑤」の経験者は、重複を除くと計212人（55.5%）に達する。

三つ目に、会社都合に分類されると思われる（あるいは、自己都合とは言えないことが明らかな）雇用契約終了のケースをみてもみる。

「全体」の数値で見ると、「④バイト先を解雇された」は3.1%だが、「⑥バイト先が閉店した」が5.0%、「⑦コロナ感染予防のためにバイトをやめた」が3.9%である。そして、以上の「④」「⑥」「⑦」の経験者は、重複を除くと、計40人（10.1%）になる。

2) 勤務シフト・労働時間の減り具合と、休業手当の支給状況、収入減の影響

(1) 勤務シフト・労働時間の減り具合

前の設問で「②勤務シフト・労働時間が減った」、「③勤務シフト・労働時間がゼロになった」と回答した者に限定して、コロナ禍で勤務シフト・労働時間が減る以前の1週間の労働時間数と、勤務シフト・労働時間数が最も減った状況とを尋ねた（表II 3—3）⁸。表中ではそれぞれを「以前」、「最少」と示した。

8 本来は、「⑤バイト先が休業した」者にも回答してもらうべきだった。「⑤」に回答していながら「②」にも「③」にも回答していない者が合計で9人存在する。

表II 3—3 勤務シフト・労働時間が減った者の一週間の勤務状況（コロナ禍で勤務シフト・労働時間が減る以前と、勤務シフト・労働時間数が最も減ったとき） 単位：人，%

	全体				所属の部別							
	以前		最少		1部			2部				
	203	100.0	203	100.0	140	100.0	140	100.0	63	100.0	63	100.0
ゼロになった			86	42.4			63	45.0			23	36.5
5時間未満	8	3.9	21	10.3	8	5.7	16	11.4	0	0.0	5	7.9
5～10時間未満	12	5.9	43	21.2	11	7.9	28	20.0	1	1.6	15	23.8
10～15時間未満	27	13.3	34	16.7	21	15.0	22	15.7	6	9.5	12	19.0
15～20時間未満	62	30.5	9	4.4	43	30.7	4	2.9	19	30.2	5	7.9
20～25時間未満	39	19.2	2	1.0	24	17.1	1	0.7	15	23.8	1	1.6
25～30時間未満	23	11.3	1	0.5	12	8.6	0	0.0	11	17.5	1	1.6
30～35時間未満	14	6.9	1	0.5	10	7.1	1	0.7	4	6.3	0	0.0
35時間以上	12	5.9	2	1.0	7	5.0	2	1.4	5	7.9	0	0.0
〔無回答〕	6	3.0	4	2.0	4	2.9	3	2.1	2	3.2	1	1.6
（再掲）15時間未満		23.2		90.6		28.6		92.1		11.1		87.3

注1：対象は、勤務シフト・労働時間が「減った」か「ゼロになった」者。

注2：以前とは、コロナ禍で勤務シフト・労働時間が減る以前で、最少とは、勤務シフト・労働時間数が最も減ったとき。

前者は、「15～20時間未満」と回答した者が3割（30.7%、30.2%）で最も多いのに対して、後者は、「ゼロになった」と回答した者が4割（45.0%、36.5%）を占めている⁹。

15時間を基準にして、両者の15時間未満の規模をみたところ、前者は2割強（28.6%、11.1%）に対して後者は9割（92.1%、87.3%）に達している。昼間にアルバイトをすることが標準となっている「2部」も含め、勤務シフト・労働時間数を大きく減らした経験が広く確認される。

（2）休業手当の支給状況

労働基準法第26条では、「使用者の責に帰すべき事由による休業の場合においては、使用者は、休業期間中当該労働者に、その平均賃金の百分の六十以上の手当を支払わなければならない。」と定められている。学生アルバイトも当然該当する。今回のコロナ禍では休業手当の不支給が社会的に問題になっていた。本学の学生はどうであったらうか。

9 「ゼロになった」と回答した者の全てが、前の設問で「③勤務シフト・労働時間がゼロになった」と回答しているわけではない（「②勤務シフト・労働時間が減った」への回答にとどまる者もいる）。

表II 3—4 勤務シフト・労働時間が減ったことに対する休業手当の支給状況及び休業手当の支給割合

単位：人，%

		所属の部別					
		全体		1部		2部	
		203	100.0	140	100.0	63	100.0
a. 勤務シフト・労働時間が減ったことに対する休業手当の支給状況	全ての月に支給された	58	28.6	43	30.7	15	23.8
	支給された月もあれば支給されなかった月もある	41	20.2	27	19.3	14	22.2
	全く支給されなかった	96	47.3	64	45.7	32	50.8
	分からない	5	2.5	3	2.1	2	3.2
	[無回答]	3	1.5	3	2.1	0	0.0
		99	100.0	70	100.0	29	100.0
b. 休業手当の支給割合	全額・ほぼ全額が支給された	22	22.2	13	18.6	9	31.0
	7, 8割が支給された	22	22.2	17	24.3	5	17.2
	5, 6割が支給された	32	32.3	20	28.6	12	41.4
	3, 4割が支給された	10	10.1	9	12.9	1	3.4
	1, 2割が支給された	13	13.1	11	15.7	2	6.9

注：対象は、勤務シフト・労働時間が「減った」か「ゼロになった」者。bはさらに、休業手当が支給された者。

結果は(表II 3—4)、第一に、休業手当が「全く支給されなかった」が半数弱(45.7%、50.8%)を占めた。「全ての月に支給された」は3割(30.7%、23.8%)にとどまり、残りは「支給された月もあれば支給されなかった月もある」が2割(19.3%、22.2%)などである。

第二に、休業手当が支給されたという者を対象にして、どの位それが支給されたのかを尋ねたところ、全体の数値でみると、「5, 6割が支給された」32.3%、「全額・ほぼ全額が支給された」、「7, 8割が支給された」が各22.2%となっている。「1部」と「2部」で数値に差があるが、人数の多い「1部」を取り上げると「全額・ほぼ全額が支給された」は18.6%にとどまる。

(3) 収入減による影響

勤務シフト・労働時間が減ったりゼロになったことで収入も減ったと思われる。収入減でどのような状況になった者が多かっただろうか。表II 3—5にまとめた。

表II 3—5 勤務シフト・労働時間が減ったりなくなったことで困った経験・状況の有無【複数回答可】

単位：人，%

		所属の部別					
		全体		1部		2部	
		203	100.0	140	100.0	63	100.0
①収入は減ったが、とくに困りはしなかった		54	26.6	46	32.9	8	12.7
②遊興費や趣味に使えるお金が減って困った		103	50.7	68	48.6	35	55.6
③生活に必要なお金が減って困った		77	37.9	38	27.1	39	61.9
④教科書代や通学に必要なお金が減って困った		47	23.2	26	18.6	21	33.3
⑤授業料の支払いが困難になり困った		23	11.3	13	9.3	10	15.9
⑥その他		3	1.5	2	1.4	1	1.6

注1：無回答が全体で7人(全員1部)存在する。

注2：対象は、勤務シフト・労働時間が「減った」か「ゼロになった」者。

第一に、「全体」の数値でみると「①収入は減ったがとくに困りはしなかった」は4分の1(26.6%)である。所属の部で差があり「1部」は32.9%であるのに対して「2部」は12.7%である(つまり、困った者が多い、ということになる)。

第二に、「②遊興費や趣味に使えるお金が減って困った」は半数(48.6%、55.6%)である。

第三に、より切実な選択肢の回答状況をみると、「③生活に必要なお金が減って困った」は、「2部」では61.9%で、「1部」でも27.1%である。「④教科書や通学に必要なお金が減って困った」は2割(18.6%、33.3%)、さらに、「⑤授業料の支払いが困難になり困った」が「1部」で9.3%、「2部」で15.9%となっている。

以下に、コロナ禍でのアルバイトの経験(現在を含む)に関する自由記述を掲載した。勤務シフト・労働時間の減少を問題意識として調査票を設計したが、実際には、勤務シフト・労働時間が増加しているケースも散見される。身近な聞き取り結果から推測しても、業種による相違(例えば、ホテル・旅行業界や飲食業では仕事が減少した一方で、小売業などでは忙しくなったなど)や、子どもの学校の休校措置で主婦パート層が出勤できなくなったなどの事情が反映していることが考えられる。

【102】人手不足のため、誰か一人でも休んだらすぐ私に出勤をお願いされること。他の学生のバイトの方も学校やテストがあるので休みが多く、平日が遠隔授業の私に、代わりに出勤されることが多い。

【147】保険に入らないと休業手当はもらえないのか。

【161】払う払うと言われていた休業手当が一向に支払われない。すすきのにある飲食店だから行くのが怖いけど、お金のために行くしかない。今バイトを辞めたとしても、他のところですぐ働けるかと言われてたら就活などで厳しいから、それならシフトの融通が効く今のところで働くしかなく安易に辞められない。

【192】飲食店に働いているのですが、人件費削減でバイト一人一人に対する負担が重すぎて辛いです。

【333】保険対象外の人たちにも休業手当のようなものがあればと思っています。

【362】労働量が減るところか増やす試みが見られて悩んでいます。断れなかったこちらにも非はありますが、いかがなものかと思いました。要求されることが多い割にこちらの要求は基本的に通らず窮屈な思いをしています。

【505】アルバイト先の営業が再開されず勤務自体が無くなっているので収入も得られないこと。

【507】アルバイトの人数が減ったうえに、開店時も人員を減らして営業しているため、一人当たりの負担が増えてしんどい。例年よりも来客数が減少しているのなら良いのだが、客も戻り始めて売り上げは去年や一昨年と変わらないため、ただただ辛いだけ。これで特別手当や補償ないことが不満。

【375】シフトが減った。

【537】お客様が減ってしまったので、1日の出勤時間が短くなり、安定した収入が入らないこと。

3) 現在のアルバイトの実施状況、勤務状況、賃金・労働条件

さて、ここからは、現在のアルバイトに焦点をあててみていく。冒頭に述べたとおり「1部」と「2部」の差にも注目されたい。

(1) 現在のアルバイトの実施状況

表II 3—6 現在のアルバイト実施状況【複数回答可】

単位：人，%

	全体		所属の部別			
			1部		2部	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0
①固定的なアルバイトを1つのみしている	371	60.9	253	58.0	118	68.2
②固定的なアルバイトをかけもちでしている	55	9.0	43	9.9	12	6.9
③単発的なアルバイトをしている	40	6.6	27	6.2	13	7.5
④アルバイトをしているが、追加・かけもちのバイト探している	37	6.1	24	5.5	13	7.5
⑤アルバイトをしていないが、探している	85	14.0	64	14.7	21	12.1
⑥アルバイトをしておらず、さがしてもいない	49	8.0	40	9.2	9	5.2

注：無回答が15人（1部で14人、2部で1人）存在する。

現在のアルバイトの実施状況を尋ねた（表II 3—6）。

第一に、「①固定的なアルバイトを1つのみしている」に回答した者が6割（58.0%、68.2%）である。但し「全体」で6.6%を占める「③単発的なアルバイトをしている」にも回答した者がそのうち8人いる。

第二に、「②固定的なアルバイトをかけもちでしている」者も1割ほどみられる（9.9%、6.9%）こと、「④アルバイトをしているが、追加・かけもちのバイト〔を〕探している」と回答した者も6.1%（5.5%、7.5%）みられる。かけもち実施者・希望者が少なくない。

第三に、「⑤アルバイトをしていないが、探している」という求職活動中の者は1割を超える（14.7%、12.1%）。「④アルバイトをしているが、追加・かけもちのバイト〔を〕探している」も足し合わせると約2割である。

第四に、「⑤アルバイトをしていないが、探している」と、「⑥アルバイトをしておらず、さがして¹⁰もいない」を足すと全体では2割を超える。

最後の点について過去の調査結果をみると、アルバイトをしていない者（現在はしていないが大学入学後にアルバイト経験がある者と、大学入学後にアルバイト経験が全くない者の合計）は2割以内におさまっている。例えば、サンプル数の多い2017年度学生生活実態調査でその値をみると、「1部」で17.9%、「2部」で14.5%であり、2019年度調査でもほぼ同様の18.3%、14.9%である。つまり本調査では、現在働いていない者/働いていない者の規模が過去調査に比べて大きいということになる（過去の調査では、求職活動中の規模は尋ねていないため、比較はできない）。

(2) 現在のアルバイトの継続期間、労働時間数と賃金収入

以下では、現在アルバイトをしているという460人（「1部」318人、「2部」142人）

10 調査票で平仮名で表記したためそのままとする。

についてみていく。まず、現在のアルバイトの継続期間や、先月（2020年9月）の労働時間数と賃金収入を尋ねた。アルバイトを掛けもちでしている人には、メインのアルバイトについて回答してもらった。

表II 3—7 現在のアルバイトの勤続期間

単位：人，%

	全体		所属の部別			
	460	100.0	1部		2部	
			318	100.0	142	100.0
働き始めたばかり	27	5.9	20	6.3	7	4.9
1, 2か月	48	10.4	27	8.5	21	14.8
3～6か月未満	57	12.4	40	12.6	17	12.0
6か月～1年未満	66	14.3	44	13.8	22	15.5
1～2年未満	136	29.6	100	31.4	36	25.4
2～3年未満	75	16.3	52	16.4	23	16.2
3年以上	33	7.2	23	7.2	10	7.0
〔無回答〕	18	3.9	12	3.8	6	4.2

第一に勤続期間は（表II 3—7）、「1～2年未満」が3割（31.4%、25.4%）で最も多く、その前後である「2～3年未満」や「3～6か月未満」が多い。

この結果から考えると、コロナ禍で仕事をやめて新たな仕事に就いたばかりというケースは本調査回答者では多くないと思われる。

表II 3—8① 2020年9月の1週間の労働時間数及び1か月の給料

単位：人，%

	全体		所属の部別			
			1部		2部	
	448	100.0	309	100.0	139	100.0
a. 先月(2020年9月)の1週間の労働時間数	5時間未満	37 8.3	32 10.4	5 3.6	5 3.6	5 3.6
	5～10時間未満	41 9.2	27 8.7	14 10.1	14 10.1	14 10.1
	10～15時間未満	108 24.1	83 26.9	25 18.0	25 18.0	25 18.0
	15～20時間未満	115 25.7	78 25.2	37 26.6	37 26.6	37 26.6
	20～25時間未満	64 14.3	38 12.3	26 18.7	26 18.7	26 18.7
	25～30時間未満	29 6.5	17 5.5	12 8.6	12 8.6	12 8.6
	30～35時間未満	18 4.0	9 2.9	9 6.5	9 6.5	9 6.5
	35時間以上	24 5.4	16 5.2	8 5.8	8 5.8	8 5.8
	[無回答]	12 2.7	9 2.9	3 2.2	3 2.2	3 2.2
	(再掲) 15時間以上	55.8	51.1	66.2	66.2	66.2
		448 100.0	309 100.0	139 100.0	139 100.0	139 100.0
b. 先月(2020年9月)の1か月の給料	1万円未満	28 6.3	18 5.8	10 7.2	10 7.2	10 7.2
	1万円台	10 2.2	7 2.3	3 2.2	3 2.2	3 2.2
	2万円台	26 5.8	20 6.5	6 4.3	6 4.3	6 4.3
	3万円台	26 5.8	17 5.5	9 6.5	9 6.5	9 6.5
	4万円台	45 10.0	38 12.3	7 5.0	7 5.0	7 5.0
	5万円台	64 14.3	42 13.6	22 15.8	22 15.8	22 15.8
	6万円台	57 12.7	41 13.3	16 11.5	16 11.5	16 11.5
	7万円台	62 13.8	41 13.3	21 15.1	21 15.1	21 15.1
	8万円台	38 8.5	25 8.1	13 9.4	13 9.4	13 9.4
	9万円台	20 4.5	12 3.9	8 5.8	8 5.8	8 5.8
	10万円以上	58 12.9	37 12.0	21 15.1	21 15.1	21 15.1
	[無回答]	14 3.1	11 3.6	3 2.2	3 2.2	3 2.2
	(再掲) 8万円以上	25.9	23.9	30.2	30.2	30.2

注：bは1万円刻みで回答してもらったが、紙幅の都合で10万円以上を一括して表示している。

第二に、先月の1週間の労働時間数は(表II 3—8上段)、「全体」で見ると「15～20時間未満」、「10～15時間未満」の順に多く、両者で半数を占める。但し「2部」では、より長い時間層に偏っており、「20～25時間未満」も18.7%を占めている。

第三に、先月の1か月の賃金収入をみる(表II 3—8下段)。8万円を基準にして8万円以上の規模をまとめてみた。「1部」では23.9%、「2部」では30.2%である。

表II 3—8② 過去の調査データと比較した1週間の労働時間数と1か月の賃金 単位：人，%

	1部				2部				
	本調査	2019	2018	2017	本調査	2019	2018	2017	
a. 1週間の労働時間数	15時間以上	51.1	54.6	52.9	61.8	66.2	73.4	75.9	77.1
	20時間以上	25.9	24.6	28.4	32.1	39.6	48.6	46.6	54.4
b. 1か月の賃金	6万円以上	50.5	46.6	48.6	56.8	81.7	71.5	72.4	
	8万円以上	23.9	18.4	21.9	30.2	50.1	36.4	46.6	

注1：2019、2018のデータは、ゼミの調査によるもので、2017データはサンプル数の多い学生生活実態調査によるものである。

注2：本調査では2020年9月と特定しているのに対して、過去の調査では普段・平時のそれを尋ねていること。過去の調査では、(人数は多くないが)アルバイトをやめた者の直近のデータも含めているので、厳密な比較はできない点に留意されたい。

以上の労働時間数と賃金収入を過去の調査（2019年・2018年学生アルバイト調査、2017年度学生生活実態調査）と比較してみた（表Ⅱ 3—8②）。但し、表の注釈に書いたとおり厳密な比較はできないことに注意されたい。

結果は、「1部」では、同程度の労働時間数／収入がみられるのに対して、そもそもアルバイトが大学生活に占めるウェイトの高い「2部」では、労働時間面でも収入面でも回復には至っていないようである。

なお、繰り返すとおり、希望してもそもそも働くことができていない者が存在することには留意されたい。

（3）アルバイト代の使い道、アルバイトをする理由

アルバイト代の使い道を尋ねた。まず使い道を複数回答可で詳細に尋ねた（表Ⅱ 3—9）後、アルバイトをする理由について、学費・生活費を稼ぐためか、それとも、遊び・趣味等に使うお金を稼ぐためか、のどちらかを選択してもらった（表Ⅱ 3—10）。

表Ⅱ 3—9 アルバイト代の使い道【複数回答可】

単位：人、%

	全体		所属の部別			
			1部		2部	
	460	100.0	318	100.0	142	100.0
①趣味娯楽・交際費・飲食代	398	86.5	281	88.4	117	82.4
②部活やサークル代	90	19.6	65	20.4	25	17.6
③授業料	110	23.9	62	19.5	48	33.8
④教材費・書籍代	153	33.3	98	30.8	55	38.7
⑤通学費	192	41.7	121	38.1	71	50.0
⑥生活費	196	42.6	112	35.2	84	59.2
⑦就職活動費用	82	17.8	59	18.6	23	16.2
⑧資格取得費用	84	18.3	60	18.9	24	16.9
⑨自動車学校	60	13.0	39	12.3	21	14.8
⑩貯金	311	67.6	214	67.3	97	68.3
⑪その他	4	0.9	3	0.9	1	0.7

注：無回答が全体で6人（1部で5人、2部で1人）存在する。

まず前者をみると、アルバイト代の使い道は、「①趣味娯楽・交際費・飲食代」が最多である（88.4%、82.4%）。次いで「⑩貯金」も両部ともに多く7割弱（67.3%、68.3%）である。

その後が異なる。3割以上の回答に限定すると、「2部」では、「⑥生活費」59.2%、「⑤通学費」50.0%、「④教材費・書籍代」38.7%、「③授業料」33.8%と続く。

「1部」でもこれらをあげるものが多いが、値は「2部」よりは低く、順に、「⑤通学費」38.1%、「⑥生活費」35.2%、「④教材費・書籍代」30.8%である。ただ、3割には達していないとはいえ、「③授業料」も19.5%である。

表II 3—10 アルバイトをする理由

単位：人，%

	全体		所属の部別			
			1部		2部	
	460	100.0	318	100.0	142	100.0
遊び・趣味等に使うお金を稼ぐため	99	21.5	81	25.5	18	12.7
どちらかといえば遊び・趣味等に使うお金を稼ぐため	125	27.2	100	31.4	25	17.6
どちらかといえば学費・生活費等を稼ぐため	75	16.3	41	12.9	34	23.9
学費・生活費等を稼ぐため	56	12.2	32	10.1	24	16.9
どちらも半々	97	21.1	57	17.9	40	28.2
〔無回答〕	8	1.7	7	2.2	1	0.7
(再掲) 学費・生活費等+半々		49.6		40.9		69.0

次に後者、すなわち、アルバイトをする理由は、学費・生活費を得るためか、遊びに使うお金を得るためかに分けて尋ねたところ、「遊び・趣味等に使うお金を稼ぐため」と「どちらかといえば遊び・趣味等に使うお金を稼ぐため」をあわせた数値が「1部」でも半数超にとどまるのに対して、「2部」ではさらに少なく、3割程度にとどまる。残りのうち「学費・生活費等を稼ぐため」と「どちらかといえば学費・生活費等を稼ぐため」の合計は「1部」で23.0%、「2部」で40.8%である（残りの「どちらも半々」を加えると、「1部」は40.9%、「2部」は69.0%である）。

使途の詳細の検証が必要であるが、アルバイトは自由に使えるお金を得るために行われているというとらえ方は適切ではないと言えるだろう。

【26】 コロナの影響かわからないが募集があまり多くなく、即戦力を求められていて、職業経歴がない自分はアルバイト先を見つけるのに苦労した。

【47】 バイトを辞めたいと思っているが、コロナを機にバイトの人数が減ってしまったので人数不足で辞めるに辞められず困っている。

【131】 コロナ禍により、求人が少ない。面接に行ったとしても採用されないことがほとんどです。

【167】 いつ職を失うのかという不安。

【194】 コロナで逆に忙しくなった。コロナが流行り出した2月から3月はマスクの問い合わせが殺到し、4月から5月はステイホームに合わせて来店する人が増えた。クレームも増えた。こっちが頭おかしくなりそうでした。

【245】 大学生は勉強することが本業であるのにもかかわらずアルバイトに時間を奪われていること。

【270】 新人教育や商品の発注など他の従業員がやっていないことも任されていて、仕事量も多いのに最低賃金。

【502】 メインのアルバイトは冬場の仕事が少ないため掛け持ちをしているのですが、サブのバイトの責任が重く時々重荷を感じる時があることが悩みです。

【541】 現在掛け持ち先を探しているのですが、コロナ禍ということもありなかなか受かりにくく困っています。3万程度じゃ学費分には足りないの…

【554】 就活の為にバイトをお休みしていたのですが、コロナにより店が潰れてし

まいました。コロナを避けようとする、なかなかいいバイトが見つからず困っています。

【580】 コロナの影響で雇用が減り、限定的な時間しか働けない学生がアルバイトなどで採用されにくくなっている。自分の場合は始発のない時間帯に働くことでなんとか雇ってもらえたが、この生活も長くは続かないと思っている。

【601】 バイトと学校の両立がうまくいかず、睡眠時間が足りない。

(大坂響、大志田里咲、河井色葉、佐野宏太、庄子健太、廣田翼佐、藤原勇哉、村田圭哉)

第4章 学費負担や奨学金の利用状況のこと

コロナ禍での学費負担の状況や、今や大学生の2人に1人が利用しているという奨学金の利用状況——しかも日本では、諸外国の奨学金制度とは異なり、給付型ではなく、貸与型＝教育ローンが多数派である——を今年の調査でも尋ねた¹¹。

1) 学費負担〔者〕・学費の原資

表II 4—1 学費負担〔者〕・学費の原資【複数回答可】及びそのうち主なもの 単位：人，%

	全体	所属の部別					
		1部		2部			
	609	100.0	436	100.0	173	100.0	
a. 学費負担・学費の原資【複数回答可】	①親の収入	474	77.8	372	85.3	102	59.0
	②祖父母の収入	29	4.8	21	4.8	8	4.6
	③自分自身のアルバイト収入	114	18.7	67	15.4	47	27.2
	④奨学金	293	48.1	198	45.4	95	54.9
	⑤その他	8	1.3	5	1.1	3	1.7
	609	100.0	436	100.0	173	100.0	
b. 主な学費負担・学費の原資	親の収入	392	64.4	308	70.6	84	48.6
	祖父母の収入	14	2.3	11	2.5	3	1.7
	自分自身のアルバイト収入	26	4.3	7	1.6	19	11.0
	奨学金	166	27.3	105	24.1	61	35.3
	その他	11	1.8	5	1.1	6	3.5

第一に、学費負担〔者〕・学費の原資を複数回答可で尋ねた(表II 4—1)。

結果は、予想されるとおり「①親の収入」が最も多い。但し「1部」と「2部」では状況が異なり、前者は85.3%であるのに対して、後者は59.0%である。そして「①親の収入」に次ぐのが「④奨学金」で、「1部」で45.4%、「2部」で54.9%である。「2部」

11 日本の奨学金制度をめぐる問題については、大内(2017)を参照。

では、「③自分自身のアルバイト収入」も27.2%と多い（「1部」でも15.4%）。

第二にそのうちの主なものをあげてもらったところ、順序は、「親の収入」、「奨学金」であるが、「1部」では両者の値は70.6%、24.1%となっているのに対して、「2部」では48.6%、35.3%と「奨学金」のウェイトが高い。また「2部」では「自分自身のアルバイト収入」も11.0%であった¹²。

2) 高等教育の修学支援新制度の利用状況

高等教育の修学支援新制度が2020年度から開始された¹³。住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯の学生を対象にして、授業料等減免と給付型奨学金の支給の拡充を行うことを制度内容とするものである。

表II 4—2 高等教育の修学支援新制度の利用状況

単位：人，%

	全体		所属の部別			
			1部		2部	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0
利用していない	481	79.0	353	81.0	128	74.0
利用している（区分は、第Ⅰ区分・住民税非課税世帯）	47	7.7	28	6.4	19	11.0
利用している（区分は、第Ⅱ区分）	29	4.8	20	4.6	9	5.2
利用している（区分は、第Ⅲ区分）	8	1.3	5	1.1	3	1.7
利用している（区分は、分からない）	40	6.6	27	6.2	13	7.5
〔無回答〕	4	0.7	3	0.7	1	0.6

本調査でもその利用状況を尋ねたところ（表II 4—2）、結果は、「利用している」のは全体の20.4%（18.3%、25.4%）であった。

3) 奨学金の利用状況

表II 4—3 給付型奨学金の利用状況【複数回答可】

単位：人，%

	全体		所属の部別			
			1部		2部	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0
①とくに給付は受けていない	451	74.1	333	76.4	118	68.2
②北海学園奨学金	45	7.4	33	7.6	12	6.9
③自治体の奨学金	6	1.0	5	1.1	1	0.6
④民間団体の奨学金	2	0.3	0		2	1.2
⑤日本学生支援機構の「旧来型」の給付型奨学金（修学支援新制度移行者は除く）	54	8.9	34	7.8	20	11.6
⑥修学支援新制度の給付型奨学金	55	9.0	35	8.0	20	11.6
⑦その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0

注：無回答は全体で8人（1部で4人、2部で4人）存在する。

12 過去の調査では、「親」、「自分自身」、「その他」という負担「者」を想定した調査を行っていたため、「奨学金」という選択肢を新たに設置した本調査との比較はできない。参考までに2017年度学生生活実態調査の結果をあげておくと、「親」、「自分自身」、「その他」の順に「1部」では、90.3%、8.1%、1.6%で、「2部」では71.4%、26.0%、2.5%である。「親」が（とくに「1部」では）圧倒的に多い。

13 制度内容については、文部科学省「高等教育の修学支援新制度」を参照。

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

ここからは奨学金（給付型、貸与型）の利用状況をみていく。

第一に、「給付型」奨学金の利用状況を尋ねたところ（表Ⅱ 4—3）、「①とくに給付は受けていない」が7割前後で最も多い（76.4%、68.2%）。

利用されているのは、「全体」の数値でみると、「⑥修学支援新制度の給付型奨学金」9.0%、「⑤日本学生支援機構の「旧来型」の給付型奨学金」8.9%、「②北海学園奨学金」7.4%である¹⁴。

表Ⅱ 4—4 日本学生支援機構による「貸与型」奨学金の利用状況及び利用金額（第一種、第二種の合計金額）

		単位：人，%					
		全体		所属の部別			
				1部		2部	
609	100.0	436	100.0	173	100.0		
a. 日本学生支援機構による貸与型奨学金の利用状況	利用していない	324	53.2	242	55.5	82	47.4
	利用している（第一種のみを利用）	101	16.6	62	14.2	39	22.5
	利用している（第二種のみを利用）	107	17.6	71	16.3	36	20.8
	利用している（第一種と第二種を併用）	43	7.1	35	8.0	8	4.6
	利用しているが、内容が分からない	31	5.1	24	5.5	7	4.0
	〔無回答〕	3	0.5	2	0.5	1	0.6
		228	100.0	149	100.0	79	100.0
b. 第一種奨学金と第二種奨学金の利用合計金額（月額）	2万円台	11	4.8	6	4.0	5	6.3
	3万円台	35	15.4	17	11.4	18	22.8
	4万円台	17	7.5	11	7.4	6	7.6
	5万円台	63	27.6	43	28.9	20	25.3
	6万円台	23	10.1	13	8.7	10	12.7
	7万円台	7	3.1	3	2.0	4	5.1
	8万円台	21	9.2	16	10.7	5	6.3
	9万円台	4	1.8	4	2.7	0	0.0
	10万円以上	47	20.6	36	24.2	11	13.9
	（再掲）8万円以上			31.6		37.6	

注：b では、「金額は分からない」者や無回答は除いて集計した。また、10万円以上を一括して表示した。

第二に、日本学生支援機構による「貸与型」奨学金の利用状況を尋ねたところ（表Ⅱ 4—4 上段）、「利用していない」は5割前後（55.5%、47.4%）で、残りは利用している。

内訳は、「第一種のみ利用している」（14.2%、22.5%）、「第二種のみ利用している」（16.3%、20.8%）、「第一種と第二種の併用」（8.0%、4.6%）である。他に「利用しているが、内容が分からない」（5.5%、4.0%）となっている。

第三に、その利用金額（月額）を第一種と第二種とに分けて尋ねた。ここでは両者を

14 「修学支援新制度の給付型奨学金」に移行せず、「日本学生支援機構の「旧来型」の給付型奨学金」にとどまっている者が多い点について検証が必要であるが（多くは、新制度の給付型奨学金に移行していると認識していたが）、ここではさしあたり、給付型奨学金の規模を確認するにとどめる。

足し合わせた金額を取り上げる（どちらか一つでも「金額は分からない」がある場合には不明となる）。第一種、第二種それぞれの結果は一覧表を参照されたい。

結果は（表Ⅱ 4—4 下段）、8万円（4年間・48か月で400万円弱となる金額）を基準に8万円以上の規模をみたところ、利用者全体の3割、とくに「1部」では37.6%と非常に高い値である（「2部」は20.3%）¹⁵。

（大坂響、榊原桃乃、坂田十勝、中野公平）

第5章 就職・進路や生活全般のこと

就職・進路や、経済事情を含む生活全般のことを本調査では尋ねた。

今年は、コロナ禍における混乱の中で、未経験の就職活動が開始された。また、私たちの大学生活や生活習慣も大きな変化を余儀なくされた。こうした状況に私たちはどう対応しているのか、あるいは、対応に苦労しているのか。またとりわけ経済的な条件で、今後の修学に支障は生じていないか。みていこう。

1) 就職・進路、就職活動について

まずは、就職・進路に対する不安の有無を尋ねたほか、4年生に限定して、就職活動で困ったことやハラスメント的な対応の経験の有無を尋ねた。オワハラ（就活終われハラスメント）やセクハラなどがこの間、社会問題になっているのをうけてのことである。では、順に結果をみていこう。

（1）就職・進路に対する不安の有無

表Ⅱ 5—1 就職・進路に対する不安の有無 単位：人，%

	全体		所属の部別			
	人数	割合	1部		2部	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0
非常にある	346	56.8	247	56.7	99	57.2
ある	202	33.2	147	33.7	55	31.8
あまりない	35	5.7	27	6.2	8	4.6
全くない	16	2.6	10	2.3	6	3.5
分からない	9	1.5	4	0.9	5	2.9
〔無回答〕	1	0.2	1	0.2	0	0.0

前者の結果は（表Ⅱ 5—1）、「非常にある」だけで半数を超えている（56.7%、57.2%）。「ある」（33.7%、31.8%）も加えると9割である。

もともと就職・進路に対する大学生の関心・不安は高いと思われるが、この間の人手不足・売り手市場が一転した状況に対して、より一層の不安を感じているのではないかと推測される。

15 この規模は過去ととくに変わらない。調査票を設計する際に大学の担当部署に照会したところ、奨学金の追加利用申請などはとくにみられないとのことである。

(2) 就職活動で困ったことやハラスメント的な対応の経験の有無

表II 5—2 就職活動で困ったこと・困った経験の有無【複数回答可】

単位：人，%

	全体		所属の部別			
			1部		2部	
	72	100.0	49	100.0	23	100.0
①とくにない	23	31.9	16	32.7	7	30.4
②説明会がキャンセルになった	38	52.8	29	59.2	9	39.1
③面接がキャンセルになった	13	18.1	10	20.4	3	13.0
④希望する就職先の採用が減った	19	26.4	12	24.5	7	30.4
⑤遠隔対応の勝手が分からずに苦労した	11	15.3	8	16.3	3	13.0
⑥内定が取り消された	0	0.0	0	0.0	0	0.0
⑦内定がまだとれていない	15	20.8	8	16.3	7	30.4
⑧性的な質問や嫌がらせをされた(セクハラ)	0	0.0	0	0.0	0	0.0
⑨内定と引き替えに就職活動をやめるよう言われた(オワハラ)	3	4.2	2	4.1	1	4.3
⑩無用に高圧的な発言をされたり態度をとられた(パワハラ)	2	2.8	1	2.0	1	4.3
⑪その他	4	5.6	4	8.2	0	0.0

注：無回答が全体で2人（1部で1人、2部で1人）存在する。

後者の結果は（表II 5—2）、まず、「①とくにない」は3割（32.7%、30.4%）である。

経験の中で多いのは、「②説明会がキャンセルになった」（59.2%、39.1%）である。関連して、「③面接がキャンセルになった」ケースも一定数みられる（20.4%、13.0%）。

また、「④希望する就職先の採用が減った」（24.5%、30.4%）という回答のほか、「⑦内定がまだとれていない」という回答もとくに「2部」で多い（30.4%。「1部」では16.3%）。後でみるとおり、今年度に卒業する大学生の就職内定率は大きく下がっており、懸念される事態である。

なお、ハラスメント関係の経験は、本調査の回答者に関しては、わずか（「⑨オワハラ」「⑩パワハラ」）かゼロであった（「⑧セクハラ」）。「⑥内定が取り消された」もゼロだった。

2) コロナ禍における生活費用の増減と、経済的な状況や心身の状況

次に、コロナ禍における生活費用の増減と、経済的な状況や心身の状況を複数回答可で尋ね、それぞれ、表II 5—3と表II 5—4①にまとめた。後者には1年生を意識した設問もあり、学年ごとの結果は表II 5—4②でみる。

表II 5—3 コロナ禍における生活費用の増減

単位：人，%

	全体		所属の部別			
			1部		2部	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0
大きく増えた	24	3.9	14	3.2	10	5.8
増えた	153	25.1	117	26.8	36	20.8
とくに変わらない	331	54.4	236	54.1	95	54.9
減った	83	13.6	55	12.6	28	16.2
大きく減った	13	2.1	9	2.1	4	2.3
〔無回答〕	5	0.8	5	1.1	0	0.0

さて、前者の結果は、「とくに変わらない」が半数を超えている（54.1%、54.9%）が、「大きく増えた」と「増えた」の合計も3割弱に及ぶ。減ったという合計（「大きく減った」、「減った」）を上回っている。

表Ⅱ5-4① 経済的な状況や心身の状況【複数回答可】

単位：人，%

	全体		所属の部別			
			1部		2部	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0
①とくにない	124	20.4	89	20.4	35	20.2
②学費の支払いが困難になっている	48	7.9	31	7.1	17	9.8
③生活費を稼ぐのに大変である	99	16.3	54	12.4	45	26.0
④大学で友人ができない	192	31.5	137	31.4	55	31.8
⑤サークル活動や部活動に入り損ねた	90	14.8	64	14.7	26	15.0
⑥サークル活動や部活動が制約を受けており不満	103	16.9	77	17.7	26	15.0
⑦目標を見失った	104	17.1	67	15.4	37	21.4
⑧気力がわからない	235	38.6	160	36.7	75	43.4
⑨体調がすぐれない	96	15.8	56	12.8	40	23.1
⑩生活リズムが乱れている	254	41.7	187	42.9	67	38.7
⑪大学生活がつまらない	198	32.5	131	30.0	67	38.7
⑫その他	6	1.0	4	0.9	2	1.2

注：無回答は全体で5人（1部で2人、2部で3人）存在する。

次に後者の結果をみると、主な結果の一つ目は、「①とくにない」は2割にとどまる（20.4%、20.2%）。

二つ目は、心身の面や生活リズムへの影響が大きい。例えば、「⑧気力がわからない」（36.7%、43.4%）、「⑩生活リズムが乱れている」（42.9%、38.7%）などがあげられる。「⑪大学生活がつまらない」という訴えが「1部」で30.0%、「2部」では38.7%に及ぶこと、「⑦目標を見失った」が「1部」で15.4%、「2部」で21.4%に及ぶことも気にかかる。

三つ目には、交友関係に関わることで、「④大学で友人ができない」が3割（31.4%、31.8%）に及ぶ。関連して「⑤サークルや部活動に入り損ねた」も7人に1人である（14.7%、15.0%）。

四つ目は、学費や生活費関連で、「②学費の支払いが困難になっている」が「1部」で7.1%、「2部」で9.8%である¹⁶。「③生活費を稼ぐのに大変である」はさらに多く、「1部」で12.4%、「2部」では26.0%に達する。

16 本調査の対象は、2020年度後期の学費をすでに支払い終えたものであることに留意されたい。

表II 5—4② 所属の部×学年別にみた経済的な状況や心身の状況【複数回答可】 単位：人，%

	1部×学年				2部×学年			
	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
	141 100.0	136 100.0	110 100.0	49 100.0	53 100.0	55 100.0	42 100.0	23 100.0
①とくにない	18 12.8	21 15.4	31 28.2	19 38.8	7 13.2	12 21.8	12 28.6	4 17.4
②学費の支払いが困難になっている	5 3.5	16 11.8	3 2.7	7 14.3	4 7.5	3 5.5	5 11.9	5 21.7
③生活費を稼ぐのに大変である	12 8.5	18 13.2	14 12.7	10 20.4	12 22.6	13 23.6	13 31.0	7 30.4
④大学で友人ができない	91 64.5	33 24.3	10 9.1	3 6.1	31 58.5	15 27.3	6 14.3	3 13.0
⑤サークル活動や部活動に入り損ねた	54 38.3	8 5.9	2 1.8	0 0.0	22 41.5	3 5.5	1 2.4	0 0.0
⑥サークル活動や部活動が制約を受けており不満	22 15.6	28 20.6	24 21.8	3 6.1	6 11.3	8 14.5	9 21.4	3 13.0
⑦目標を見失った	25 17.7	21 15.4	17 15.5	4 8.2	14 26.4	10 18.2	8 19.0	5 21.7
⑧気力がわかない	57 40.4	51 37.5	46 41.8	6 12.2	18 34.0	24 43.6	21 50.0	12 52.2
⑨体調がすぐれない	18 12.8	17 12.5	16 14.5	5 10.2	9 17.0	15 27.3	11 26.2	5 21.7
⑩生活リズムが乱れている	67 47.5	69 50.7	40 36.4	11 22.4	20 37.7	22 40.0	15 35.7	10 43.5
⑪大学生活がつまらない	51 36.2	48 35.3	27 24.5	5 10.2	22 41.5	23 41.8	16 38.1	6 26.1
⑫その他	2 1.4	0 0.0	1 0.9	1 2.0	1 1.9	0 0.0	0 0.0	1 4.3

注：無回答が「1部」では、1年生に1人、2年生に1人、「2部」では、2年生に3人存在する。

ここで、所属の部×学年別に調査結果をまとめたのが表II 5—4②である。1年生に関わる／1年生を意識した設問の結果を抜き出してみる。

すなわち、「④大学で友人ができない」(64.5%、58.5%)、「⑤サークル活動や部活動に入り損ねた」(38.3%、41.5%)が他の学年に比べて顕著に高い。「④大学で友人ができない」は、専門ゼミなどを通じて交友関係が一定程度できあがっている2年生以降の学年に比べても非常に高い数値である。また、「⑦目標を見失った」(17.7%、26.4%)、「⑧気力がわかない」(40.4%、34.0%)、「⑪大学生活がつまらない」(36.2%、41.5%)などは、1年生に特有ではないが、初年次からこうした状況を経験しているのは懸念される。

3) 休学や退学を考えたり検討することの有無

休学や退学（以下、休退学）を考える学生の存在が報道でも話題になっている¹⁷。本

17 このことに関連して、休退学を希望する者の割合が非常に高く示されているのではないかと、という批判がある。調査の結果は調査の方法に左右されるし、我々も、各種の調査で明らかになった割合通りに休退学者が実際に発生するとは考えていない。ただ、示された休退学の意向には、休退学のほかに、危機や困難の中にある学生からの何らかのメッセージが込められているととらえるべきではないかと考えている。

調査でもそのことを尋ねてみたが、検討の度合いを意識して「漠然とながらも考えることがある」と「真剣に検討している」を分けて設定した。

表Ⅱ 5—5① 休学や退学を考えたり検討することの有無 単位：人，%

	全体		所属の部別			
			1部		2部	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0
とくにない	496	81.4	367	84.2	129	74.6
漠然とながらも考えることがある	85	14.0	52	11.9	33	19.1
真剣に検討している	14	2.3	7	1.6	7	4.0
その他	8	1.3	6	1.4	2	1.2
〔無回答〕	6	1.0	4	0.9	2	1.2
(再掲) 漠然と+真剣に		16.3		13.5		23.1

表Ⅱ 5—5② 所属の部×学年別にみた休学や退学を考えたり検討することの有無 単位：人，%

	1部×学年				2部×学年											
	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年								
	141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
とくにない	111	78.7	113	83.1	97	88.2	46	93.9	41	77.4	41	74.5	31	73.8	16	69.6
漠然とながらも考えることがある	24	17.0	18	13.2	10	9.1	0	0.0	10	18.9	9	16.4	8	19.0	6	26.1
真剣に検討している	4	2.8	0	0.0	2	1.8	1	2.0	0	0.0	4	7.3	3	7.1	0	0.0
その他	1	0.7	2	1.5	1	0.9	2	4.1	1	1.9	1	1.8	0	0.0	0	0.0
〔無回答〕	1	0.7	3	2.2	0	0.0	0	0.0	1	1.9	0	0.0	0	0.0	1	4.3
(再掲) 漠然と+真剣に		19.9		13.2		10.9		2.0		18.9		23.6		26.2		26.1

結果は(表Ⅱ 5—5①)、「とくにない」は「1部」で84.2%、「2部」で74.6%である。残りが「ある」の回答だが、「漠然とながらも考えることがある」が「1部」で11.9%、「2部」で19.1%、「真剣に検討している」が「1部」で1.6%、「2部」で4.0%である。

以上のように、休退学を考えたり検討することは「2部」で多いが、これを学年別にみたものが表Ⅱ 5—5②である。「1部」の「1年生」で高いほか、(人数規模は小さいが)「2部」では「2年生」以降で2割を超えている。

なお、表Ⅱ 5—4でみた経済的な状況や心身の状況との関連を検討してみたところ、そのうち、「②学費の支払いが困難になっている」者(48人)では、「漠然と+真剣に」の合計が35.4%(「1部」では32.3%、「2部」では41.2%)と非常に高い値が示された。

4) 学費負担者の就労収入の変化、学生自身の経済的状況

親など学費負担者の就労収入の変化や学生自身の現在の経済的状況などを複数の設問で尋ねてみた。順に結果をみていこう。

表II 5—6 親など学費負担者の就労収入の変化、現在の経済的な暮らしの状況、奨学金やアルバイト収入がなかった場合の修学継続の可不可

単位：人，%

	全体		所属の部別				
			1部		2部		
	609	100.0	436	100.0	173	100.0	
a. 親など学費負担者の就労収入の変化	コロナの影響で仕事・収入が減った	132	21.7	93	21.3	39	22.5
	コロナの影響ではないが、仕事・収入が減った	36	5.9	29	6.7	7	4.0
	今はまだ影響はないが、これから仕事・収入が減るおそれがある	78	12.8	59	13.5	19	11.0
	コロナの影響はとくにない	337	55.3	244	56.0	93	53.8
	その他	17	2.8	8	1.8	9	5.2
[無回答]	9	1.5	3	0.7	6	3.5	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0	
b. あなたの現在の経済的な暮らしの状況	大変ゆとりがある	34	5.6	27	6.2	7	4.0
	ややゆとりがある	90	14.8	69	15.8	21	12.1
	普通	305	50.1	234	53.7	71	41.0
	やや苦しい	144	23.6	82	18.8	62	35.8
	大変苦しい	35	5.7	23	5.3	12	6.9
	[無回答]	1	0.2	1	0.2	0	0.0
(再掲) 苦しい計		29.4		24.1		42.8	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0	
c. 奨学金やアルバイト収入がなかった場合、学費負担者からの支出だけで修学は可能か	十分に可能である	270	44.3	217	49.8	53	30.6
	修学は不自由になる	144	23.6	96	22.0	48	27.7
	修学の継続は困難になる	189	31.0	118	27.1	71	41.0
	[無回答]	6	1.0	5	1.1	1	0.6

第一に、親など学費負担者の就労収入の変化であるが、結果は（表II 5—6 上段）、「コロナの影響はとくにない」が半数を超える（56.0%、53.8%）一方で、「コロナの影響で仕事・収入が減った」が2割（21.3%、22.5%）、「コロナの影響ではないが、仕事・収入が減った」（6.7%、4.0%）もあわせると、4人に1人強の割合で、仕事・収入が減ったと回答している。加えて、現時点ではまだだが、「今後仕事・収入が減るおそれがある」が「1部」で13.5%、「2部」で11.0%であることにも留意が必要である。

第二に、現在の経済的状況は（同表中段）、「普通」が最も多く、「1部」では53.7%である。「2部」ではやや値が低く41.0%である。「やや苦しい」と「大変苦しい」を足し合わせた数値も「2部」で多く、42.8%である（「1部」では24.1%）。

第三に、奨学金やアルバイトの収入がなかった場合、学費負担者からの支出だけで修学は可能かを尋ねた（同表下段）。

結果は、「1部」では「十分に可能である」が最も多く約半数を占める（49.8%）ものの、「修学の継続は困難になる」も27.1%を占める。「2部」では、そもそも「十分に可能である」が30.6%にとどまり、「修学は困難になる」が最多（41.0%）である。

5) 例年通りの授業料負担への評価、学費減免を求める学生の取り組みへの評価など

コロナ感染予防のため大学の授業は遠隔授業が中心となった。大学施設の利用も制限がされた。そのような状況でも授業料は例年通りだった。また全国では、学費の減免を求める学生たちの運動が起きている。これらのことについて質問をした。

表II 5-7 遠隔授業が中心であったのに対して授業料負担が例年通りであったことへの評価
【複数回答可】

	単位：人，%					
	全体		所属の部別			
			1部		2部	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0
①非常に納得ができない	249	40.9	197	45.2	52	30.1
②納得ができない	212	34.8	147	33.7	65	37.6
③仕方がない	155	25.5	97	22.2	58	33.5
④分からない	33	5.4	21	4.8	12	6.9
⑤その他	22	3.6	15	3.4	7	4.0

注：無回答が全体で3人（1部で2人、2部で1人）存在する。

第一に、授業料の負担が例年通りであったことをどう評価するか、複数回答可で尋ねた（表II 5-7）。

結果は、「①非常に納得ができない」と「②納得ができない」に回答が集中している¹⁸。とくに「1部」では前者が45.2%、後者が33.7%である（「2部」では、30.1%、37.6%）。「③仕方がない」は「1部」で22.2%、「2部」で33.5%にとどまる。

表II 5-8 学費の減免を国に求める学生たちの動きに対する評価及び学費のことなどを勉強する機会が学内で設けられた場合の参加の意向

	単位：人，%						
	全体		所属の部別				
			1部		2部		
	609	100.0	436	100.0	173	100.0	
a. 学費の減免を国に求める学生たちの動きに対する評価	強く賛同する	281	46.1	215	49.3	66	38.2
	賛同する	233	38.3	158	36.2	75	43.4
	あまり賛同しない	29	4.8	19	4.4	10	5.8
	まったく賛同しない	6	1.0	4	0.9	2	1.2
	分からない	58	9.5	38	8.7	20	11.6
	〔無回答〕	2	0.3	2	0.5	0	0.0
		84.4		85.6		81.5	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0	
b. 学費のことなどを勉強する機会が学内で設けられた場合の参加の意向	参加する	81	13.3	55	12.6	26	15.0
	おそらく参加する	223	36.6	156	35.8	67	38.7
	おそらく参加しない	160	26.3	123	28.2	37	21.4
	参加しない	54	8.9	35	8.0	19	11.0
	分からない	88	14.4	64	14.7	24	13.9
	〔無回答〕	3	0.5	3	0.7	0	0.0
		49.9		48.4		53.8	

18 「①非常に納得ができない」と「②納得ができない」の両方に回答している者が14人みられたが、後者は除外し、重複をなくした。

第二に、学費の減免を国に求める学生たちの動きに対しては（表Ⅱ 5—8 上段）、「強く賛同する」が多く（49.3%、38.2%）、「賛同する」（36.2%、43.4%）も含めると8割に達している。

第三に、では学費のことなどを勉強する機会が学内で設けられた場合の参加の意向はどうか。結果は（表Ⅱ 5—8 下段）、「参加する」「おそらく参加する」と回答した学生は、合計で半数前後を占めた（48.4%、53.8%）。

以下は、経済的な状況や学費負担に関する自由記述である。

【38】 高校生の時は大学や専門学校に進学するひとがほとんどだったのでなんとなく大学に進学したが、奨学金という借金をしてまで大学に行く価値があるのかと考えることがある。

【48】 自分もアルバイト収入が激減し生活が苦しいが、実家はもっと大きな打撃を受けたため度々お金を貸している状況にあり、困っている。

【64】 非対面授業がほとんどなのに学費が全く変わらないことで親に文句を言われる。真剣に一部から二部に行こうか悩んだ。施設の利用をほとんどしていないのに学費が変わらないことには憤りを感じる。紙代、インク代も嵩むし学費は返却してほしい。

【123】 友人の中には「色々落ち着いてからちゃんと勉強したいけど、金銭的に休学できない」と悩んでいる人もいるので、そういった人たちが早く以前のように生活できるようになればいいなと思います。

【166】 離婚はまだしていないが、父は別居していて、父からは生活費と学費の援助がなく、実質経済的には1人親世帯と変わらないと思われる。しかし、援助はないとはいえ父にはちゃんと収入があり、また離婚もしていないため1人親世帯の括りには含まれない。そのせいで、対象になる奨学金制度が実際の経済状況に即していないことに困っている。

【186】 登校しなければならない科目があると交通費がかかり、さらにアルバイト先の交通費が出なくなるため苦しい。

【300】 短期バイトで稼ぐ形態になってしまったので収入が安定しなくて困る。貯金の心配をして暮らすのが疲れる。

【358】 学費が高いので親からの仕送りなどを貰えない。かなり生活が厳しくて楽しめない。奨学金を増やすことに大きな不安があるため、増やせない。働くしかない…

【455】 一人暮らしをしているため、家事もすべて自分でやりつつバイトで生活費を稼ぐ必要があるため実家ぐらしの学生とくらべると時間もお金も余裕がないこと。

【527】 遠隔授業が行われていた時期の学費に、施設費が含まれているのは非常に納得がいかない。学生が通学できなかったために浮いた施設費で、最近整備された自動ドアや、使用者が非常に少ない体温検知器が設置されたのではないかと邪推してしまう。コロナ禍で収入が減る中、大学側から遠隔授業整備費を5万支給されるよりも、学費を減免して頂ける方が、学生としては納得がいくだろう。

【547】 理系の学費年130万はリモートでは少し高すぎるのではないか。結局のところ中途半端に対面講義も再開されたことで、通学費も月2万程度かかるように戻っ

てしまった。講義も、少なくとも自分が詳しいコンピュータ関係のみであれば、明らかにアルバイトしている会社や、国の情報技術者育成事業（選抜だが無料でNTTやLineなどの企業での研究者や、大学教師などから専門的な講義が受けられる）の方が高度なことをしていて、多額の学費を払って大学に在籍する意味が大学卒以外にあるのか悩んでいる。

【616】将来が心配。個人のパソコン使用で授業に参加していることを理解してほしい。コロナがなかったとしても、ここまでPCを使用することを受験前にお知らせされていないのではないですか。

(大久保圭、菅野織瑛、木下潤一、坂下来偉、島田禎旦、白畑達也、武田和聖、成田卓哉)



Ⅲ. 調査結果の考察

調査の結果を整理し、考察を加えたい。

1. 授業・遠隔授業の経験、受講環境・通信環境

・対面授業は絶対か

コロナ禍で遠隔授業が導入された。学生たちが受講していた型で最も多かったのは「オンデマンド配信型」であった（表Ⅱ 2—3）。受講者数が収容定員の3分の1以下の講義に限って対面授業が再開された後も、とくに変化はみられなかった。ただ、対面授業を複数受講している者も存在する（表Ⅱ 2—1）。全体の数値でみると例えば、3コマ以上が39.1%、4コマ以上が22.2%だった。

前期の単位取得状況は（表Ⅱ 2—5）、「全て取得できた」が「1部」では61.5%、「2部」では48.0%で、過去のアルバイト調査や学生生活実態調査と比べても高い水準だった。例えば2017年度の学生生活実態調査では、「1部」で41.0%、「2部」で33.8%だった。理由として考えられるのは、遠隔授業の緊急的な導入で採点・評価基準が緩くなったことや、従来は期末試験（のみ）で成績評価されていた（期末試験による「一発勝負」だった）のが授業ごとの提出物などに置き換わったことなどが影響していると考えられる（授業時間と成績の関連の検討作業などが課題である）。

報道では、対面授業を切望する大学生の声が描かれ、政府も対面授業の再開を大学に促している。たしかに本調査でも、課題の多さ、評価方法や単位取得への不安、授業内容の理解度、友達・受講者同士での交流ができないことへの不満や悩みが多くみられた（表Ⅱ 2—12）。とくに課題の量に関しては自由記述でも多くの不満がみられた。

しかし一方で、対面授業と遠隔授業を比べた際に、自分のペースで学べることや時間の有効活用という点では遠隔授業が高く評価されていたほか、授業内容の理解度、授業への集中度などの面でも、必ずしも対面授業が絶対視されていたわけではなく、対面にも遠隔にも利点があるという評価がみられた（表Ⅱ 2—15）。

また、教室内・大学構内・通学時などに感染不安を感じる者が多かった（表Ⅱ 2—13）。自分だけでなく家族への感染不安のおそれも自由記述で訴えられていた。

遠隔授業と対面授業への総合的な評価や希望（表Ⅱ 2—14、表Ⅱ 2—17）を鑑みても、少なくとも、対面授業を絶対視するのではなく、遠隔授業を評価することが必要であり、コロナ禍の現在だからではなく、アフターコロナにおける遠隔授業導入を前向きに考えても良いのではないかと感じられた¹⁹。

・遠隔授業に求められるもの

もちろんそのことは、現行の遠隔授業が手放して評価されることを意味するわけではない。

第一に、先の表Ⅱ 2—15でも、教員との交流や受講生・友人との交流という点では、

19 我々も十分な知見をもつものではないが、吉見俊哉氏（東京大学）が雑誌『世界』で「ポストコロナの大学論」を4回連載されている。そのうち第2回目では「キャンパスは本当に必要なのか？」と題してオンライン教育の趨勢などにふれられており示唆に富む。

対面授業に軍配を上げる者が多数であった。遠隔授業にこれらをどう盛り込んでいくか。

第二に、履修授業の単位を「全て取得できた」が多数だからといって、「教育の質の向上」を示しているわけでは必ずしもないと思われる。突如導入された遠隔授業における教育内容や成績評価の方法などを改良していく必要があるのではないか。とくに、上で述べたとおり、授業課題の量については、それぞれの講義ごとに検討される必要があると同時に、学部・大学全体として検討される必要があるのではないか。一つ一つの授業では「少し多かった」が最多で「ちょうど良かった」も4分の1前後でありながら、（4年生を除けば10数コマが標準となる）授業全体でみると、「非常に多かった」と「少し多かった」に回答が集中している。

ところで、ここで検討しておきたいのが、学生が授業や課題に要した時間の長さである（表Ⅱ 2—4）。最もよくあるパターンでは「1, 2時間」という結果が出た。また、最も長く要したパターンでも「2, 3時間」が最多であった（3人に1人は「5, 6時間」以上ではあったが）。

表Ⅲ 1—1 授業・課題に要した時間別にみた「課題が多い」という訴え（1部生） 単位：人，%

	全くしていない・1時間未満 22 100.0	1,2時間 51 100.0	2,3時間 77 100.0	3,4時間 61 100.0	4,5時間 65 100.0	5,6時間 48 100.0	「6,7時間」以上 110 100.0
○なし	16 72.7	25 49.0	34 44.2	23 37.7	26 40.0	15 31.3	29 26.4
○あり	6 27.3	25 49.0	42 54.5	38 62.3	39 60.0	33 68.8	80 72.7
〔無回答〕	0 0.0	1 2.0	1 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9
	86 100.0	169 100.0	94 100.0	47 100.0	20 100.0	10 100.0	7 100.0
○なし	48 55.8	71 42.0	31 33.0	11 23.4	5 25.0	2 20.0	0 0.0
○あり	38 44.2	95 56.2	63 67.0	36 76.6	15 75.0	8 80.0	7 100.0
〔無回答〕	0 0.0	3 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

表Ⅲ 1—1 は、授業・課題に要した時間数（上段は最も長く要した日の時間数、下段は最もよくあるパターンの時間数）別に、「課題が多い」という訴えの割合をみたものである。1部生に限定した。分析の都合上、時間数は合算している。

結果は、時間数が長くなるほど、「課題が多い」という訴えが多くなる傾向がみられるものの、一方で、授業・課題を「全くしていない」か「1時間未満」を合計した群でも、「課題が多い」という訴えが多いことである。あるいは、仮に一日の時間数が回答されたと考えた場合に、（最長でも最もよくあるパターンでも）「1, 2時間」と回答した者で「課題が多い」が半数前後に達するのは違和感を覚える²⁰。遠隔授業における学習時間数の把握はあらためての課題としたい。

・遠隔授業を受ける客観的な条件の整備

第三に、遠隔授業を受ける客観的な条件の整備が求められる。

本調査回答者では、パソコン所有の割合が高く、また通信環境面やデバイス面での支障を感じている者が想像していたよりは少なかった（表 2—9 ①、表Ⅱ 2—12など）。

20 もちろん、短時間で済ませている可能性がないわけではない。例えば、授業で配信された動画を倍速で視聴したり、視聴せずに課題に時間を費やすなどの技が学生からは示された。

この点については、そもそも本調査で捕捉できた者が本学の学生全体（およそ8千人）を代表しているのかどうか（G-PLUSでの配信に回答できた者／回答する条件が整備されていた者であること）を検討する必要があるのと、パソコンは個人所有なのか家族との共有なのか、動画視聴の環境はどうであるのかなど、より広く、詳細に実態を明らかにする必要が課題として残された²¹。

表Ⅲ 1—2 パソコン（タブレットを含む）の所有状況 単位：人，%

	1部			2部				
		所有している		所有していない	所有している		所有していない	
		個人所有	共有		個人所有	共有		
2017年度	n=3138	78.6	14.4	6.9	n=798	74.2	14.3	11.5
2018年度	n=2890	77.7	17.0	5.3	n=722	72.7	18.0	9.3
2019年度	n=2769	81.0	15.1	3.9	n=725	76.6	14.3	9.1

注：実際の選択肢は、「個人所有」は「個人用で所有している」、「共有」は「家族で共有している（2017年度は「共有で所有している）」。

出所：北海学園大学教育開発運営委員会『学生生活実態調査報告書（各年度版）』より作成。

表Ⅲ 1—2は、学生生活実態調査で把握されたパソコンの所有状況である。先に言うと、本調査との比較にはならない。

なぜなら、（1）パソコンにタブレットが含まれていること、（2）この調査は、紙の調査票を用いた調査であり、我々の調査に比べると回収率ははるかに高いとはいえ、それでも、少なからぬ学生が回答をしていないこと（実施時期が後期であるため4年生が捕捉できていないのは致し方ないが）、（3）この調査では所有を個人所有と共有とに分けて尋ねているのに対して、我々の調査では、単純に、所有しているかどうかを尋ねていること、などである。

タブレットを含むパソコンを個人所有していない学生（「共有」か「所有していない」学生）は、学生生活実態調査によれば、1部では5人に1人前後、2部では4人に1人前後の割合だった（もちろん、こうした学生も、コロナ禍でパソコンを購入し個人所有にシフトした可能性はあるが）。

さて、北海学園大学は遠隔授業のための環境整備支援金として「5万円」を給付した。その用途は様々であったが、今後も継続される遠隔授業に対して、そもそも「5万円」の給付が一度きりで十分なのだろうか。後でみる学生たちの経済状況などを鑑みても、継続した支援が必要ではないだろうか。

2. アルバイトでの経験、実施状況 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

・離職には至らずとも勤務シフト・労働時間の減少を経験

第一に、当時高校3年生が中心であった現大学1年生を除き、今年の2月時点でアルバイトをしていた者は7,8割台になる（「全体」で見ると62.7%。表Ⅱ 3—1）が、そのアルバイトを現在も「継続している」者は「全体」で73.6%にとどまった。「2部」

21 率直に言うと、学生との普段の交流で感じているのは異なる結果だ。本調査回答者は、G-PLUSでの配信（調査依頼）に気がついて対応が可能だった学生たちであった。遠隔授業に対応が困難な学生たちを本調査で取りこぼしてしまっていないか懸念が残る。

では4人に1人が「やめた」と回答していた。

第二に、「やめた」理由は様々であり、かつ、単独の理由だけでは必ずしもないと思われるが、「バイト先を解雇された」、「バイト先が閉店した」、「コロナ感染予防のためにバイトをやめた」など、会社都合（あるいは自己都合とは言えない回答）に分類されると思われる経験を計40人（10.1%）がしていた（表Ⅱ 3—2）。

あるいは第三に、アルバイトをやめずとも、「勤務シフト・労働時間が減った」、「勤務シフト・労働時間がゼロになった」、「バイト先が休業した」という回答は、重複を除くと212人（55.5%）だった。長期にわたり待機を余儀なくされた学生たちのケースが我々のゼミ内や友人の間でも聞かれた。「減った」か「ゼロになった」者を対象に時間数を回答してもらったところ（表Ⅱ 3—3）、最も減った際にゼロあるいは5時間未満になった者だけで合計5割（52.7%）になっていた。

・不支給経験が多かった休業手当

こうした状況でありながら第四に、休業手当の支給に問題がみられた。労働基準法第26条では、使用者の責に帰すべき事由による休業の場合、平均賃金の60%以上が支給されることになっているにも関わらず、休業手当が「全く支給されなかった」学生は半数弱に及んだ。

この点に関わって重要なのは第一に、正規雇用／非正規雇用を問わず休業手当が支払われなければならないという点である。報道によれば、ある飲食チェーン店で働くアルバイトには休業手当が支払われず、一方で正社員には全額支払われていたという事例もある²²。本調査では、職場全体の支給状況までは調べなかったが、この事例は雇用形態によって差別的な扱いがなされていることになる。

第二に、「使用者の責に帰すべき事由」の解釈である。同じく報道によれば、緊急事態宣言に伴う休業が「不可抗力」であるとして、休業手当の支払いを一時拒否していた事例がある²³。震災など自然災害が原因での休業は不可抗力にあたるが、今回の緊急事態宣言による売上げ減少や営業自粛要請にともなう休業まで不可抗力に含めることには問題がある²⁴。

学生たちがアルバイト先からどう説明されていたのかなど明らかにすることが課題として残された。また、今回の休業手当の不支給問題は、関連する条件の整備や、学校でのワークルール教育・学習の普及が課題であることをあらためて示した。

なお、収入減による影響を複数回答可で尋ねたところ（表Ⅱ 3—5）、「とくに困りはしなかった」が全体の4分の1を占め、「遊興費や趣味に使えるお金が減って困った」が最多（50.7%）であったものの、一方で、「生活に必要なお金が減って困った」が37.9%、とくに「2部」では高く61.9%（「1部」は27.1%）のほか、「教科書代や通学に必要なお金が減って困った」23.2%、「授業料の支払いが困難になり困った」11.3%と回答された。

22 横山耕太郎「大企業アルバイトの『休業補償なし』相次ぐ。飲食店でストライキも」『BUSINESSINSIDER』2020年9月3日17:45 配信。Yahoo!ニュースにも転載。

<https://www.businessinsider.jp/post-219611>

23 「休業手当、コロナは『不可抗力』？支払い要件巡り議論」『日本経済新聞』2020年6月4日付。

24 「休業手当、不払いの懸念 休業要請「不可抗力」と解釈／「認める要件広すぎ」の批判」『朝日新聞』朝刊2020年4月21日付。

緩和すべきではないだろうか。型奨学金の拡充と条件の緩和がされることで卒業後の返済負担が減り、大学進学者も増えるのではないだろうか。

なお、この問題を考えるにあたり、受益者負担論への反駁と、高等教育の国際動向に関する整理が課題である。

4. 進路・就職への不安、生活全般にみられる問題 ●●●●●●●●●●

・高まる、進路・就職への不安

売り手市場と呼ばれる状況がコロナ禍で一転した。本調査でも、就職・進路への不安は「非常にある」だけで半数を超え、「ある」も加えると9割を超えていた。日々の報道で伝えられる雇用情勢の急速な悪化が意識されていると思われる²⁷。

コロナ禍で対面での説明会や面接が減少し、オンラインでの実施が増えたことは、交通費や時間の節約につながったという評価が聞かれる一方で、本調査では、勝手に分らずに苦勞したという結果も全体で15.3%みられた。就活のオンライン化は今後も続くと思われるため、トレーニングが必要である。

内定が取り消されたという回答は本調査ではゼロだった。厚生労働省²⁸によると、2019年度卒の学生・生徒の内定取り消しは201人（うち大学生等は159人）・79事業所と発表されている。入職時期が繰下げとなった学生・生徒数は1,291人・91事業所である。また報道によれば、入社辞退に追い込んだり長期の自宅待機を命じて退職に追い込む「サイレント内定取り消し」が行われているとのことである²⁹。本学でも注視が必要であると思われる。

27 全国大学生協連が4月下旬にウェブを使って行い3万5千人を超える大学生からの回答を得た調査でも、「将来や進路に対して不安を感じていますか？」という問いに対して、「とても感じている」と「感じている」だけで、それぞれ41.9%が回答している。以上は、「緊急！大学生・院生向けアンケート」大学生集計結果速報」2020年5月1日発表より。

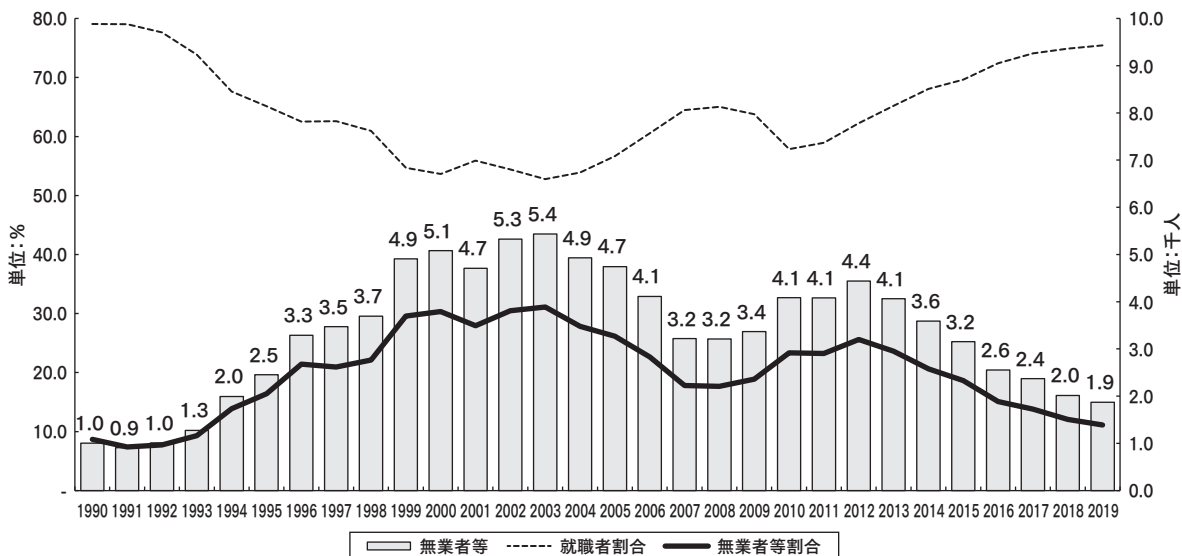
https://www.univcoop.or.jp/covid19/enquete/pdf/link_pdf02.pdf

28 厚生労働省「令和元年度新卒者内定取消し等の状況（令和2年9月末現在）」2020年10月20日発表。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000178038_00006.html

29 「コロナ禍 どう守る 仕事 暮らし 企業「辞退申し出を」「自宅研修1年」 水面下で横行 サイレント内定取り消し 統計に表れず 氷河期再来の恐れ」『東京新聞』朝刊2020年11月4日付。

図Ⅲ 4—1 北海道における大卒者の就職者割合及び無業者等・無業者等割合の推移



注1：就職者割合は、「就職者」を「卒業者計」で除して算出。但し、2011年までは就職者は雇用形態（「正規の職員等」と「正規の職員等でない者」）別に分類されていなかった。

注2：無業者等割合は、「正規の職員等でない者」、「一時的な仕事に就いた者」、「左記以外」の合計を「卒業者計」で除した値。

注3：上記の理由により、2011年と2012年のデータは連続したものでないことに注意されたい。

出所：文部科学省「学校基本調査」より作成。

厚生労働省と文部科学省による共同調査によれば、大学生の2020年度の就職内定率は大きく減少し、69.8%（前年同期比7.0ポイント低下）となっており、北海道・東北地方に限定するとさらに低く64.2%である³⁰。

図Ⅲ 4—1 は、北海道における大卒者の進路（就職者の割合と無業者等の割合及び実数）を、およそ30年分まとめたものである。就職氷河期時代のピークでは、毎年5千人超、割合にして30%超もの大学生が、無業や一時的な仕事で卒業を余儀なくされていた。今日、長引くコロナ禍で就職氷河期の再来が懸念されている。手厚い支援の準備が必要である。

・懸念される経済状況の悪化

第一に、コロナ禍における生活費用の増減をみた（表Ⅱ 5—3）。合計で3割弱が「大きく増えた」か「増えた」と回答している。その詳細を明らかにする必要がある。なお、回答者の居住形態やパソコン等の所有・購入状況との関係を検討してみたが、とくに明確な関係はみられなかった。

第二に、学生たちの経済状況については（表Ⅱ 5—6）、「普通」が半数を占めているが（但し「2部」では41.0%）、「やや苦しい」と「大変苦しい」の合計が「1部」で24.1%、「2部」で42.8%占めていることは看過できない。〔彼らだけを対象にした分析

30 厚生労働省「2020年度大学等卒業予定者の就職内定状況（10月1日現在）」

https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000184815_00008.html

結果を追加した]。また、修学の継続が奨学金やアルバイト収入に依存したことを示す結果も例年通り示唆された(同表)。すなわちこれらが途絶えたら「修学の継続は困難になる」という回答が「1部」で27.1%、「2部」で41.0%にも及ぶのである。

関連して、第三に、親など学費負担者の就労収入にも変化がみられ、「コロナの影響で仕事・収入が減った」と2割が回答している(「コロナの影響ではないが、仕事・収入が減った」まで含めると4人に1人の割合である)。

第四に、経済的な状況や心身の状況では(表Ⅱ 5—4①)「学費の支払いが困難になっている」と回答した学生が7.9%(「1部」7.1%、「2部」9.8%)みられたほか、「生活費を稼ぐのに大変である」が「1部」で12.4%、「2部」で26.0%に達した。

また、休退学を「漠然とながらも考えることがある」、「真剣に検討している」を合計すると、16.3%(「1部」13.5%、「2部」23.1%)に達すること(表Ⅱ 5—5①)、とりわけ、「学費の支払いが困難になっている」者ではその割合が高かった。経済的な支援が必要である。

・例年通りの学費の支払いに対する強い批判と、学費減免を求める声

遠隔授業が中心であったのに対して授業料負担が例年通りであったことへの評価は(表Ⅱ 5—7)、「非常に納得ができない」だけで40.9%(45.2%、30.1%)で、「納得ができない」34.8%もあわせると全体の4分の3を占めた。

表Ⅲ 4—1 北海学園大学の学費(今年度の初年次納入金)

単位：円

		経済学部1部 経営学部1部 法学部1部	人文学部1部	工学部	経済学部2部 経営学部2部 法学部2部	人文学部2部
前期	入学金	200,000	200,000	200,000	100,000	100,000
	授業料	436,000	448,000	570,000	218,000	224,000
後期	授業料	436,000	448,000	570,000	218,000	224,000
初年度合計		1,204,000	1,228,000	1,552,000	609,000	621,000
(参考) 2~4年生		987,000	1,011,000	1,333,000	493,000	505,000

注：入学金、授業料以外に、教育充実費、実験実習費、大学諸費、自治会費。同窓会費などが徴収されているが、割愛する。

出所：北海学園大学ウェブサイトより作成。

表Ⅲ 4—1は、北海学園大学の今年度の学費(初年次納入金)をまとめたものである。2~4年生は、入学金が除外されるなどした金額を表の下部に示した。これだけの納入金額に見合った、対面授業と同じ「質」が果たして得られているのだろうか。遠隔授業に対する評価を本調査でもみてきたが、多岐にわたる問題点が浮き彫りになった。

また本調査では、学費の減免を国に求める学生たちの運動に「強く賛同する」だけで46.1%(49.3%、38.2%)、「賛同する」38.3%(36.2%、43.4%)まで含めると8割を超えた。経済的に苦しいという状況に加えて、大学施設も十分に利用できず、急ごしらえの遠隔授業に学費を支払うことへの憤りなどが反映していると考えられる。

学費のことなどを学ぶ機会が学内で設けられた場合の参加の意向は、「参加する」と「おそらく参加する」をあわせると49.9%(48.4%、53.8%)だった。

IV. 必要な対策、学生たちが考えた取り組み

川村：調査を開始してから本当に短い期間で、調査結果を読み解き、そして、原稿を書いてきました。不十分な部分はまだまだありますが、よくやりました。まずはお疲れさまです。

それでは、あらためて、どんな対策が必要かを、皆さんの今後の取り組むべき課題などとあわせて、考えていきましょう。[この箇所は、ブレインストーミングで学生たちから出された意見を整理して、それを再び学生に戻し、グループ内で検討させて、彼らから再び出された意見を整理して取りまとめた。]。

※ ※ ※

2019年度の『白書』で皆さんは、何と書いたでしょうか。

まず学費や奨学金問題についてみると、学費・奨学金問題を学ぶこと、政治に関心をもつこと、足元から行動してみることの3点があげられています。

今回の調査結果をうけてこの点はどうでしょうか。

学生：まず、正直言うと、学生にできることは限られているなというのが感想です。経済・学費に関する大きな問題もそうですが、アルバイト先に求めることや大学に求めるべきことなど、テーマは多岐にわたりますし、具体的に何をすればよいのか、イメージがわからないというのが正直なところです。

川村：いきなりの率直な出だしですね。

学生：そういう中でも、あらためて感じたのが、学費負担の重さです。それをアルバイトや奨学金でまかなっている現状

がありました。就学支援新制度についても、利用できているのは2割ほどでした。奨学金の利用も、多くの人は貸与型の奨学金を利用しています。こういう問題を解決すること、つまり、学費の減免や奨学金は給付型にすることが課題だと思いました。

それから、学費負担者の雇用、賃金をちゃんとしないと、学生が影響をうけるなとも思いました。

川村：学費の減免や奨学金に関する課題はその通りですね。ただ、これらは解決に時間のかかる課題ですよ。今回の調査結果をみていると、学費や経済的な面で緊急的な対応が必要なケースが少なくありませんでした。休退学を考えている学生もいましたし、その背景には経済的な事情が示唆されていましたよね。

今年の春先の、我々のオンラインゼミで、困窮学生に最大20万円が支給されるという「学生支援緊急給付金」³¹が話題になっていましたが覚えていますか。こういう緊急的な対策と、先ほどふれられた中長期的な対策という時間軸を意識して、自分たちが今回学んだことをまじえながら、学費や経済的な対策というこの分野の課題をもう一度整理してもらえますか。

学生：高等教育の予算を増やして、学費の減免と奨学金制度の拡充を実現することが大きな課題です。

日本は世界的にみても、学費の私費負担が重く、奨学金の返済は将来の重荷となることを知りました。これらの改善を求めたいです。それから、今回のコロナで、親の収入が減少したり、学生のアル

31 文部科学省「「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』」。

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/mext_00686.html

バイト収入が減少していました。経済的な事情を背景に休学や退学を考えている学生もみられました。緊急的な対応という点では、学費の納入期限の延長や分納を広く認めることが必要ではないでしょうか。

学生：今年4月に高等教育の就学支援制度がスタートしました。

制度自体のことも私はよく知らなくて、制度の利用が調査回答者で少ないのは周知がされていないからなのかなといった程度の理解だったのですが、そもそもこの制度は、低所得者層を対象に、授業料の減免や給付型奨学金が付与されるものです。そして、参考文献をみると色々な課題があることを学びました。まずは、給付世帯と非給付世帯との不公平問題の解消を急ぐべきだと思いました。

学生：私は、奨学金制度の課題の中でも、給付型奨学金の対象範囲の拡大が急がれると考えます。というのも、本来は奨学金を利用すべき世帯でも、貸与型奨学金だと返済が怖いからと借りない学生もいるからです。

川村：有利子制度の見直しも課題ですよ。ところで、「学生支援緊急給付金」への感想はありますか。

学生：コロナによる今回のような事態はとてもイレギュラーです。最大20万円の給付は、一時的な打開策として一定の役割を果たせたかもしれません。でも一度の支給で足りるのでしょうか。しかも、この給付金は、様々な条件を満たした学生のみが受けられるものであって、対象となる枠は非常に少なく、困窮する学生の全てが救済されたわけではないと知りました。

その点でいうと、これは中長期の課題に分類されると思いますが、困窮者だけではなく、中間層の学生にも焦点をあてた対策が必要だと考えます。参考文献でも指摘されているとおり、中間層にとっ

ても学費負担が重荷になっているという現実から出発すべきです。

川村：大学から支給された5万円の件はどうですか。

学生：パソコンの購入や通信環境の整備を目的に支給されたものでしたが、実際には、生活費などにあてられていました。私たちの調査結果では、パソコンの所有状況が高かったのでもっとも言えませんが、遠隔授業は、パソコンの購入だけでなく、継続した経費がかかります。5万円の一度の支給で十分でしょうか。定期的に行われてもいいのではないのでしょうか。

川村：遠隔授業に対応できる状況が全ての学生に整っているかどうかの把握がまずは必要ですね。それから、個々の学生への給付というかたちで対応するだけでなく、遠隔授業に関する大学の設備全体のバージョンアップを図っていく必要があるでしょうね。

※ ※ ※

川村：では次にアルバイトについてはどうでしょうか。これも昨年度の『白書』を振り返っておくと、労働法や労働者の権利を学ぶこと、そして、行動することがあげられていますね。

行動することの具体的内容は、雇用契約書に限らず就業規則や36協定を確認すること、疑問や主張をまずは口にしてみる、そして、労働組合という手法をより具体的に学ぶことがあげられていますね。

労働組合に入って問題解決をする、といった勇ましい主張に比べると、疑問や主張をまずは口にしてみるということといった提起は、非常にささやかな行動ではありますが、リアル感が逆にあってよいと思います。それから、このテーマでも政治に関心をもつことが提起されていますね。

学生：今回の調査結果の特徴としては、

コロナ禍での勤務シフトのカットです。それから、休業手当が支給されていなかったことですね。社会的にも問題になっていたことですが、ましてや、多くの学生には制度のことが知られていなかったのが原因の一つだと思います。

川村：ワークルール教育という言葉が巷でも聞かれるようになりましたが、学生が学ぶ機会はまだまだ少ない。労働法や労働組合を学ぶ私たちのゼミは逆に言うと特殊かもしれませんよね。

学生：とくに、初めてアルバイトを経験することの多い1年生は無防備だと思います。先生がよく言う高校段階からの学習が必要ですし、今回の休業手当制度や勤務シフトのカットのような、コロナ時代にそくした内容まで学ぶ必要があると感じました。

川村：たしかに、休業手当制度を学生たちがしっかり学ぶ必要がここまで生じるとは私も想像もしていませんでした。

※ ※ ※

学生：学ぶということで思ったのは、自分一人で勉強するだけじゃなく、みんなで勉強するのが大事じゃないかということです。

川村：それはどうして？

学生：学生同士で勉強することで、他の人の経験が聞けるし、自分の知らない知識を教え合って知識を深めることが出来るじゃないですか。とくにコロナで交流の機会が減りました。みんなで学習することは、心のよりどころにもなると思います。そして、なんと言っても、勉強する場があることで、自分も勉強をしなければ！というモチベーションの向上にもつながると思います。

川村：学び合いの場における「居場所」機能にも着目されたわけですね。

学生：私も、一人の勉強では限界がある

と思っています。アルバイトのことで、他の人の実態例に基づいて話をすることで、理解が深まると思います。

学生：今の時代、インターネットや本から多くの知識を得ることができます。でも、すぐにインプットできるような簡単な話ばかりではありません。今年のゼミの勉強でもそうでしたが、制度のことなどは分かりづらいことが多いです。実際の体験談などを聞くことで、インプットがしやすくなると思います。

川村：たしかに、制度の理解には苦勞することが多くて、私の場合は、労働相談への回答を準備するときに、制度の理解が一番進む気がしますね。真剣さの度合いが違うし、ある意味、問題意識を同じくする人との学び合いということにもなるのかな。

※ ※ ※

川村：ところで休業手当制度に話を戻すと、うちのゼミでも、不支給の経験者が多かったですよ。ちょっと紹介してもらえないかな。

学生：私は、大学1年生からホテルでアルバイトをしていました。仕事は、宴会・婚礼での料理提供、会場の準備や片付けです。平均週に3, 4日出て、1日の労働時間は、平日だと5~7時間、土日は8~10時間。10時間以上働く日もありました。2年生の夏からは別のアルバイトを掛け持ちで始めたので、ホテルは月3, 4回の出勤になりましたが、ずっと継続していました。

ところが、コロナの影響で今年2月下旬から出勤はほぼなくなって、8か月後の10月ようやく声がかかり、1回出勤があっただけで、その後も出勤はしていません。そして、この間の休業手当は一切支給されていません。10月の出勤時に聞いた話ですと、アルバイトへの休業手

当の支給はなかったけれども、フルタイムパートの方には支給があったと聞きました。

川村：たしか、もう一つのバイトもずっと休業扱いで辞めたのでしたよね。親という学費負担者、経済的な条件が確保されていたから修学の継続は可能でしたが、そうじゃなければ本当に大変だったよね。

休業手当に関する一連の課題や新たな制度のことなどをこの『白書』の読者向けに整理、説明してもらえますか。

学生：まず、労働基準法で定められたとおり、「使用者の責に帰すべき事由による休業の場合」、平均賃金の6割以上が支給されなければなりません。

でも報道によれば、今回のコロナによる休業は、使用者の責に帰すべき事由ではない、とか、アルバイトなど非正規には支払う必要がない、といった説明で支給がされない現実が広くみられるようでした。

ただ、今回のコロナの場合、経営者も大変だろうから、求めたいという思いはありながらも、私自身、実際に休業手当の支払いを求めるのは、正直言うと、ちょっと心理的なハードルがありました。申し訳ないかな、という気持ちです。

でも、雇用調整金制度という休業手当の原資になるものが存在すること、また、学生アルバイトのような、雇用保険被保険者以外の者にも使える特例措置が今回できたことなどを知りました³²。

さらに、休業手当を受け取れない中小企業労働者を対象にした制度³³が新設されたことや、この新制度の場合、平均賃金の8割が補償されることなどもこのゼ

ミで学びました。

川村：会社も大変だからという皆さんの心情は否定されるものではありません。ただ、だからといって我慢をするのではなく、事業者も労働者も救われる道を経済学部生として考えて欲しいと思いますね。

学生：私は、そもそも休業手当自体、ちゃんと理解していませんでしたし、6割以上の支給と労基法上で定められているのに、実際には、計算上の問題で6割には満たない額になってしまうことなども驚きでした。

学生：労働者側も使用者側も制度を十分に理解できていない、もしくは知らないことが今回の不支給の背景にあると思います。働く側が必要な最低限のワークルールを主体的に学ぶことももちろんですが、先生がよく言うように、使用者側がルールをちゃんと熟知した上で人を雇う必要があるように思いました。新制度のことも学生には伝わっていないのではないのでしょうか。周知が大事だと思います。

川村：私の問題意識を付け加えると、周知はとても大事だけれども、周知だけでは利用は進まないと思う。例えば、申請などを支援する仕組みを大学内に作れないかなと思っています。いわゆるワークルール教育の機会にもなるし一石二鳥です。

※ ※ ※

川村：さて、もしかしたら皆さんの一番の関心事でもあったかもしれない、遠隔授業の経験についてはどうでしたか。

学生：調査結果にもあったように課題の

32 厚生労働省「雇用調整助成金（新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例）」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/pageL07.html

33 厚生労働省「新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/kyugyoshienkin.html>

量が多くて大変でした。先生方は、自分自身の授業のことしか考えておられないような印象があります。でも僕らにしてみれば、一つ一つの授業の課題が積み重なると結構大変でした。

川村：この点は指摘のとおりだと思います。学部のカリキュラムなど、それぞれの科目のつながりを意識する機会はあるとはいえ、個々の教員が、お互いの授業内容や課題まで把握しているかといえそうはなっていません。それでもこれまでは、成績評価の中心は期末試験であったから大きな問題にはなりませんでしたが、レポートなど各種の課題が課されることが日常になるなら学部内での調整が必要になるかもしれませんね。

学生：もちろん学生の側も、課題をためずにやるということも必要だとは思いますが、ただ調査結果にもあったように、学生によっていろいろな事情はあるので考慮してもらいたいです。それから、動画や音声がないテキスト教材だけというのは分かりづらかったです。

学生：教材のことで言うと、私自身は、動画や音声に必ずしもこだわりません。科目によっては、テキスト教材でもよく分かるものもありました。

それから、今回の調査結果で私の考えと同じだったのは、学生たちは対面授業に固執しているわけではない、ということです。コロナで始まった遠隔授業です

が、緊急避難的なものに終わらせる必要はないと思います。

川村：本文中でもそうまとめましたよね。そして、結局問われているのは、対面であっても遠隔であっても、授業方法や授業内容、教材なのでしょうね。

そういう意味では、言い訳に聞こえるかもしれませんが、年度初めに遠隔授業への切り替えという通知が大学から出されたのはまさに青天の霹靂でした。準備期間もないままに前期を開始し、毎週追われるように教材づくりなどをこなしてきました。教員同士顔を合わせるたびに、お互いの授業の経験や悩みを情報交換したり話し合う、そんな日々でした。

もちろんそれは、遠隔授業に対する皆さんたち学生の不満や意見を封じるものであってはならないと自覚しています。私学におけるマスプロ教育という、そもそもの限界を見据えながらも、教員と学生による授業づくり、大学づくりが進められたらという思いがあります。

その意味でも、今回の調査結果を踏まえた学生側の各種の要望を、教員や大学への申し入れ文書というかたちで整理できたらいいですね。実際に申し入れをするかどうかは別にして、各種団体のを参考にちょっと練習をしてみましょうか。

※ ※ ※

学生：みんなが考えた内容を整理してみました。

(1) 経済、学費負担

- ①期間限定でも、学費の減免を求めます。
- ②遠隔授業への経済支援を求めます。
- ③学費の使途を学生に対して分かりやすく示してください。

今回の調査では、学費の支払いが困難になっている学生がいること、一定数の学生に休退学が考えられていること、日々の生活費を稼ぐのも大変だという実態が明らかになりました。また、学費負担者である親の仕事・収入が減ったという訴えもありました。

学生の現状や「5万円」の給付が一度きりで足りているのかどうかを把握し対策を講じていただきたいです。

学費がどう使われているのか分かりやすく教えて欲しいです。大学に行くことも少なくなり、授業の開講形態も変わっているのに、学費が従来と同じなのは違和感があります。

(2) 授業、遠隔授業

①授業の開講形態に学生の声を反映してください。

②課題の負担への配慮と、課題とは別の方法での評価を求めます。

③コロナ後も、遠隔授業の導入を検討してください。

授業の開講形態について、3分の1ルールが採用されています。しかし、大学側の指示で遠隔授業に変更される先生も中にはおられるようです。コロナの急速な拡大で致し方ない面もあるかもしれませんが、学生がたらい回しにあって印象をもっています。全体を通して、しっかりと判断して授業を運営して欲しいです。

対面授業の必要性に疑問を感じる授業もあります。受講人数で判断されていますが、話を一方的に聞くだけの講義なら対面は不要ではないでしょうか。また、通学には交通費がかかります。例えば、対面授業が1日に1, 2コマで週2日ほどの開講でも、「定期」を購入しなければならないのでしょうか。本当に対面である必要があるのか、受講人数だけでなく、講義の内容などでも判断していただきたいです。

課題が非常に負担になっていました。とくにレポートの書き方をまだ十分に理解していない1年生やアルバイトを掛け持ちしている学生にとって負担は大きいと思います。関連して、とくに1年生には、レポートの書き方などアカデミックスキルを身につける機会の提供を求めたいです。

最後に、コロナが落ち着いてからも遠隔授業を取り入れて欲しいと思います。今回の調査でも、遠隔授業を評価する声は多かったです。

ただ、遠隔授業を取り入れていただく際には、受講者側にご配慮いただき、対面授業の日とオンライン授業の日を分けていただきたいです。また、評価方法・単位認定に関する情報の提供や、講義で分からないことをすぐに聞けるような質問のシステムを作って欲しいと思います。

(3) コロナ感染の対策

①検温機械の改善を求めます。

②情報提供の改善を求めます。

現在設置された検温機械は使い勝手が少し悪いと感じます。立ち止まらないと利用できないので学生の移動の流れがせき止められて不便です。また、機械が反応しなければマスクを外す必要があり、そのことに不安を感じます。

本学の学生の感染について、学外での感染だから大丈夫であるという考え方には違和感と不安を覚えます。また、情報提供について、より迅速に、詳細な情報を、確実に知らせてほしいです。感染報告を学生に伝えるならばウェブサイトだけではなくG-PLUSでの配信も必要ではないでしょうか。もし、G-PLUSで配信されているなら、より分かりやすく配信して欲しいです。

(4) 大学づくりへの学生の参加機会の保障

授業評価アンケートが定期的に行われています。これは、各授業を対象とした、期間限定の取り組みです。これとは別に、調査実施期間以外でも、また、授業評価以外のことで、学生側が意見を発する場を求めたいです。

もしかしたら大学内にそういった「場」が設けられているのかもしれませんが、G-PLUS や LMS 上にでも構いませんので、より分かりやすく気軽に伝えられる場が欲しいです。学生の意見が大学に伝わりやすくなることで、よりよい大学づくりができるのではと考えました。

川村：初めてにしては、なかなかさまになりましたね。大学づくりへの学生の参加ルートが限られている、あるいは、機能していない、という問題が今回のコロナで浮き彫りになりました。

こうした要求書を取りまとめたり、要求書と回答を学生と大学で往復させる作業を通じて、学生の声反映させられればと思います。危機を問題克服の契機にしたいですね。さて、この後の活動はどうしましょうかね。

学生：『白書』を多くの人に読んでもらうことが必要ではないでしょうか。あと、よその大学では、先ほどのような申し入れ文書を学生が作成して、大学の「上の人」たちに意見をぶつけていると聞きました。

学生：そういう意味では、自分たちに自信や説得力を身につけることが大事だと思いました。結局、何をしても、自分たちにそういう自信がないと、動くのは難しいのが実際です。

学生：もっと情報の収集などが必要ではないでしょうか。それから、学生同士で集まって話をするのが今はなかなか難しいですけども、オンラインを使ってであれば意見交換や交流も可能ですよね。

川村：学生の皆さんも、いずれは卒業していきますから、問題意識や取り組みを後の世代にバトンタッチできるような組織があればよいですね。学生自治会などは本来そういう機能を発揮できるので

はと思うのですが。

学生：自治会はあまり縁が無いというか、遠い印象です。むしろ、大学生協との連携を私は思いました。

大学生が4年間でいなくなるのに対して、大学生協はずっと存在し続けます。また、協同組合として、購買の利用だけでなく組合員の運営参加が求められます。今回の調査でも、授業や大学に対して学生から多くの意見が出されていました。大学運営に反映される活動であれば、学生・組合員の参加意欲につながるのではないかと考えました。

川村：ふむ。私は、学生自治会にその役割を期待していましたが、大学生協のほうが皆さんには身近なのかな。両者の組織の違いなども念頭におきながら実現してみたいですね。

学生：『白書』を読んでもらうためには、『白書』の内容をコンパクトにまとめたパンフレットのようなものを作成するのはどうでしょうか。

それから、他のゼミに「出張」して、『白書』の説明などさせてもらうのはどうでしょうか。そうすることで、アルバイトや学費負担、奨学金の問題について学生の理解が深まると思います。

川村：「出前講義」ですね。専門ゼミはそれぞれの専門の勉強で忙しくて難しいかもしれませんが、1年生の基礎ゼミなら一般教養を学ぶ機会として先生たちも快諾してくださるかもしれませんね。

学生：私たちのゼミでも参考にした、学生団体FREEの活動をみると、調査・研究は、レポートにまとめるだけではなく、何らかの行動に移していかれたらと思います。理想としては、学生が主体で動くことのできる学生団体の設立です。ただそのためには、多くの手続きやさまざまなステップを踏んでいかなければなりません。なので、すぐに実践できるのは、やはりゼミナールでの活動だと考えます。

川村：新団体の設立が提起されるのかとドキドキしてしまいました。

学生：先生と学生がいる限り、大学での調査・研究活動は続いていきます。ゼミを母体にすることが有効ではないでしょうか。今年の地域研修報告会で、私たちのゼミの調査テーマと関連した報告もありました。同じ問題意識を持つ複数のゼミで取り組むのはどうでしょうか。単独のゼミ以上に、より学びを深めることができるのではないのでしょうか。

川村：恒久的な組織をあえて立ち上げずとも、その都度の課題を明確にして、ゼミで短期集中のプロジェクト型で取り組んでみてもよいかもしれませんね。まあまずは実践でしょうかね。

※ ※ ※

川村：それでは最後に、自分たちの取り組みを振り返ってみての反省や、調査・研究上の今後の課題などを整理しておきましょうかね。

学生：作業に取り組んでの反省では、例年と違い、遠隔授業、アルバイト、学費負担や奨学金、生活全般という非常に広範囲の内容で調査を行いました。結果として、調査する側として、理解がまだまだ足りなかった面のあったことや、取りまとめ自体もとても大変でした。ゼミⅠとⅡの合同で人手は多かったのに、仕事の分担がうまくできなかつたことも反省

です。学年混合のためにお互いに遠慮があったかもしれません。

学生：私たちも、情報の共有が課題でした。各自で執筆をある程度進めてから全体でまとめるというかたちを採用したのですが、まとめ方やレイアウトなどを事前に全体で共有しておけば、よりスムーズに取り組めたのではないかと思います。また、知識や経験には個人差があります。その点でも、全体で情報を共有して進めることをより徹底すべきだったと考えます。

学生：調査方法に関して言うと、今回はウェブを使用しましたが、紙媒体で行ったら違った結果が出たかもしれない、という点までは考えていませんでした。たしかに、パソコンを持っていて、なおかつ、通信環境などが整備されている学生が回答者の多くを占めている可能性はありますよね。こういう調査方法にも十分配慮する必要があることを学びました。

学生：調査結果が膨大過ぎて、結果の読み込みが足りなかったことや、先生から提供された資料の読み込みもあまかったです。

川村：反省や課題をあげてもらいましたが、課題を自分たちで理解できていることは、今後の取り組みを発展させる上でも、とても大事なことです。それより何より、これだけの取り組みを私たちみんなで成し遂げたことにはもっと自信をもってください。そして、次のステージ、つまり調査で明らかになったことの改善に取り組んでいきましょう。

学生：『白書』を広く配信して、学費や奨学金に関する知識、アルバイト・労働法制度に関する知識などを、もっと知ってもらえるようにすることから始めたいと思います。

（追記） 経済的に苦しいという学生に焦点をあてた調査結果

長期化するコロナ禍で困窮する学生たちへの対応が急がれる。現在の経済的な暮らしの設問に「やや苦しい」あるいは「大変苦しい」と回答した179人（全体の29.4%。1部生105人、2部生74人。以下、困窮学生と呼ぶ）を対象に調査結果をまとめた。回答者全体と比較³⁴しながらその特徴を抽出していく。なお、本文で示したデータの詳細は、調査結果一覧表にあたられたい。

1. 属性

第一に所属の部は、「1部」58.7%、「2部」41.3%である。回答者全体と比べると、「2部」の割合が10ポイントほど高い。

第二に、学年の特徴は、回答者全体と同じような構成だが、「4年生」が若干多い（13.4%）。

第三に、性別は、「男性」が58.1%で、回答者全体のそれ（51.4%）と比べても多い。

第四に、住まいは、必ずしも「実家・親元以外」ばかりではない。6割は「実家・親元」である。

2. 授業・遠隔授業の経験、受講環境・通信環境など

第一に、前期に受講した授業のうちの単位取得割合では、「全て取得できた」の割合が回答者全体に比べると低い（1部53.3%、2部40.5%）。

第二に、遠隔授業を受講している媒体で、最多が「パソコン」であることやその割合が9割弱を占めることについては、回答者全体と同じ傾向である。ただ第三に、スマホの通信環境面での支障の有無において、「全く問題ない」が3割で、「ときどき問題が生じる」が5割になっているのは、特徴である。母数は少ないがとくに「2部」では、問題の発生頻度が高い。

第四に、パソコンやパソコンの周辺機器の所有状況では、「パソコン」の所有状況は大きく変わるものではないが、「プリンター」の保有状況がやや低い。「コロナ禍・遠隔授業以前から所有していた」が10ポイントほど低く、逆に、「所有しておらず、今後買う予定もない」が7.1ポイント高い。

第五に、通信環境の整備状況は、わずかではあるが、「モバイルwifiのみあり」や無回答の割合が高い。

第六に、遠隔授業に関してのあなたの不満や悩み、困っていること（複数回答可）での回答の特徴は、まず、「①とくにない」が少ないことである。その上で、各設問を訴える割合が、回答者全体と比べても高い箇所が多い。そのうち、遠隔授業の費用や環境面に注目し、1部生同士で結果を比較してみる。

すなわち、「⑪パソコンや、プリンターなど周辺機器の購入費用の負担が大きい」は、回答者全体では10.6%であるのに対して困窮学生では19.0%である。「⑫遠隔授業を受講する際の媒体（パソコンなど）の性能が低い」では、回答者全体が5.0%であるのに対して困窮学生では12.4%。「⑭通信環境が整っていない、通信環境がよくない」では、7.3%に対して16.2%。「⑮通信費用の負担が大きい」では6.2%に対して16.2%。「⑯受

34 本来は困窮学生とそれ以外とを比較すべきだが、時間がないため、回答者全体と比較する。

講環境がよくない（集中ができない、周囲がうるさい、周囲に聞かれる、など）」では10.3%に対して18.1%などである。

なお、「⑬印刷費用の負担が大きい」はほぼ同じである（回答者全体で29.4%であるのに対して困窮学生でも31.4%）。印刷そのものがあまり必須とされていないからだろうか。

3. アルバイトのこと

第一に、今年の2月時点でアルバイトを「していた」割合が回答者全体と比べて高い。ただこれは学年構成の差異（困窮学生では「1年生」が少ないこと）の影響が大きい。

第二に、そのアルバイトの継続状況では、「2部」で「継続している」が少ない。

第三に、2020年3月から現在までのアルバイトの量に関するネガティブな経験（複数回答可）では、回答者全体に比べて訴えが全体として高い。勤務シフト・労働時間が減ったりゼロになっている状況について、「1部」、「2部」の順に、回答者全体と比較する。

すなわち、「②勤務シフト・労働時間が減った」は、「1部」では50.7%（回答者全体では45.2%）、「2部」では56.4%（同47.1%）である。「③勤務シフト・労働時間がゼロになった」は、「1部」では19.2%（同17.9%）、「2部」では25.5%（同19.3%）である。「⑤バイト先が休業した」は、「1部」では37.0%（同29.7%）、「2部」では27.3%（同23.5%）となっている。

重複を除き以上の「②」「③」「⑤」のいずれかに回答があったのは、「1部」では47人（64.4%）、「2部」では37人（67.3%）である。回答者全体でみた56.7%、52.9%に比べても高い。

なお、もともとの労働時間数も、長い者が多かった（コロナ禍で勤務シフト・労働時間が減る以前の一週間の労働時間数を参照）。

第四に、休業手当の支給の有無をみても、「全く支給されなかった」が回答者全体と比べても多い。「1部」では60.5%である。

第五に、勤務シフト・労働時間が減ったりなくなったことで困った経験・状況の有無（複数回答可）には、大きな違いがある。もともと回答者全体でも、「2部」で訴えは高かった。「2部」の困窮学生では訴えがさらに高くなり、例えば、「③生活に必要なお金が減って困った」は回答者全体では61.9%であったのに対して困窮学生では73.0%にまで増加している。

加えて、大きな違いは「1部」で生じている。すなわち、困窮学生では、「③生活に必要なお金が減って困った」が60.5%（回答者全体では27.1%）、「④教科書代や通学に必要なお金が減って困った」が39.5%（同18.6%）、「⑤授業料の支払いが困難になり困った」が27.9%（同9.3%）となっている。

第六に、現在のアルバイト実施状況（複数回答可）の特徴をみると、「1部」では、「④アルバイトをしているが、追加・かけもちのバイト探している」が11.4%、「⑤アルバイトをしていないが、探している」が20.0%と、「1部」の回答者全体（5.5%、14.7%）に比べて高いことがあげられる。また「⑥アルバイトをしておらず、さがしてもいない」も、とくに「1部」でその値は低く1.9%である（同9.2%）。

第七に、アルバイト代の使い道（複数回答可）やアルバイトをする理由（二区分）も、回答者全体とでは大きな違いがある。先にみた収入減の影響とも共通するが、もともと、「2部」では、アルバイト代の使い道について、「③授業料」、「④教材費・書籍代」、「⑤

通学費]、「⑥生活費」などの割合が高かったが、困窮学生ではさらに割合は高い。

加えて「1部」での差が大きい。すなわち、困窮学生では、「③授業料」が40.0%（回答者全体では19.5%）、「④教材費・書籍代」が43.8%（同、30.8%）、「⑤通学費」が53.8%（同、38.1%）、「⑥生活費」が51.3%（同、35.2%）である。

またアルバイトをする理由（二区分）にも大きな違いがある。「学費・生活費等を稼ぐため（「どちらかといえば」を含む）」と「どちらも半々」を足し合わせた値が「1部」で65.0%（回答者全体では、40.9%）、「2部」で90.8%（同69.0%）である。

4. 学費負担、奨学金の利用状況

第一に、主な学費負担〔者〕・学費の原資では、「奨学金」のウェイトが回答者全体と比べて高い。「1部」で43.8%（回答者全体では24.1%）である。「2部」では37.8%（同35.3%）にとどまるが、その代わりに、「自分自身のアルバイト収入」が17.6%（同11.0%）と高い。以上の分だけ「親の収入」が少ないのも特徴である。

第二に、高等教育の修学支援新制度の利用も、「1部」では、回答者全体に比べると高く、28.6%（回答者全体では18.3%）である。またそのうち「第I区分・住民税非課税世帯」が12.4%（同6.4%）である。なお「2部」での利用は、25.7%で、回答者全体の25.4%に近い。

なお、第三に、新制度に組み込まれた分も反映されて、給付型奨学金の利用割合も、高い。第四に、貸与型奨学金の利用割合も、高い。「利用していない」のは「1部」で33.3%、「2部」で39.2%にとどまる。

5. 就職・進路、生活全般をめぐる問題

第一に、経済的な状況や心身の状況（複数回答可）では、予想されるとおり、経済的なことへの訴えが回答者全体に比べて高い。

すなわち、「②学費の支払いが困難になっている」が回答者全体の3倍ないし2倍近い高さで、「1部」では24.8%（回答者全体では7.1%）、「2部」では21.6%（同9.8%）に達している。また、「③生活費を稼ぐのに大変である」も高く、「1部」で36.2%（回答者全体では12.4%）、「2部」では45.9%（同26.0%）である。

これらの大きな違い以外にも、「⑧気力がわかない」や「⑨体調がすぐれない」などにも差がみられ、困窮学生でその割合は高い。

第二に、以上を背景とし、休学や退学を考えたり検討することも困窮学生で高い。「漠然とながらも考えることがある」と「真剣に検討している」を足し合わせた値は、「1部」では24.8%（回答者全体では13.5%）、「2部」では33.8%（同23.1%）である。

第三に、親など学費負担者の就労収入の変化についても、（コロナの影響かどうかはともかく）減ったという回答が多い。とくに「1部」で高く51.4%（回答者全体では28.0%）、「2部」では、36.5%（同26.6%）である。

最後に、奨学金やアルバイト収入がなくなった場合の修学の可能性は、予想されるとおり、「修学の継続は困難になる」が高く「1部」でも「2部」でも半数を超える（56.2%、55.4%）。

(参考文献)

- ・遠藤公嗣、河添誠、木下武男、後藤道夫ら（2009）『労働、社会保障政策の転換を——反貧困への提言』岩波書店
- ・大内裕和（2017）『奨学金が日本を滅ぼす』朝日新聞出版
- ・大内裕和（2019）「高等教育無償化」のウソ～真の「教育の機会均等」を実現するために必要なこと」『imidas』2019年8月16日
<https://imidas.jp/jijikaitai/f-40-187-19-08-g600>
- ・小熊英二（2019）『日本社会のしくみ——雇用・教育・福祉の歴史社会学』講談社
- ・小林雅之（2019）「大学無償化法の何が問題か：特異で曖昧な制度設計」『世界』第923号（2019年8月号）、岩波書店
- ・生存のためのコロナ対策ネットワーク（2020）「生存権保障を徹底せよ——危機に際して何が求められているか」『世界』第933号（2020年6月号）、岩波書店
- ・全国大学生協連「第3弾 大学生向けアンケート 7月実施版 結果報告」2020年8月7日
https://www.univcoop.or.jp/covid19/recruitment_thr/index.html
- ・北海道大学（教育学部・教育学院）「生活と家計に関する緊急アンケート結果」2020年6月1日
<https://www.edu.hokudai.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2020/05/bf3411eb8882f1c6b7d4d37d76542146.pdf>
- ・藤本淳也教授（大阪大学）「大学生への新型コロナウイルス感染症拡大の影響 報告書（完成版）」2020年4月13日
<https://www.univas.jp/uploads/2020/04/6c5875a1cbd3f60e193af2fbc62dc97d.pdf>
- ・立命館大学新聞社「【詳報】立命館大学生1115人が回答《コロナ禍における学生生活実態調査》」2020年7月1日
<https://ritsumeikanunivpress.com/07/01/4257/>
- ・吉見俊哉(2020)「ポストコロナの大学論【第2回】キャンパスは本当に必要なのか？」『世界』第936号（2020年9月号）、岩波書店

調査結果一覧表

- ・回答者全体
- ・所属の部（1部生、2部生）別
- ・所属の部×学年（1部生×学年、2部生×学年）別
- ・困窮学生（現在の経済的な暮らしに「やや苦しい」か「大変苦しい」と回答した者）全体
- ・同、所属の部（1部生、2部生）別



北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部別						
		全体		1部全体		2部全体		
所属の部		609	100.0	436	100.0	173	100.0	
	1部	436	71.6	436	100.0			
	2部	173	28.4			173	100.0	
学年		609	100.0	436	100.0	173	100.0	
	1年生	194	31.9	141	32.3	53	30.6	
	2年生	191	31.4	136	31.2	55	31.8	
	3年生	152	25.0	110	25.2	42	24.3	
	4年生	72	11.8	49	11.2	23	13.3	
所属学部		609	100.0	436	100.0	173	100.0	
	経済学部	192	31.5	133	30.5	59	34.1	
	経営学部	121	19.9	85	19.5	36	20.8	
	法学部	136	22.3	89	20.4	47	27.2	
	人文学部	95	15.6	65	14.9	30	17.3	
	工学部	64	10.5	64	14.7			
	〔無回答〕	1	0.2			1	0.6	
性別		609	100.0	436	100.0	173	100.0	
	男性	313	51.4	217	49.8	96	55.5	
	女性	293	48.1	217	49.8	76	43.9	
	〔無回答〕	3	0.5	2	0.5	1	0.6	
住まい		609	100.0	436	100.0	173	100.0	
	実家・親元	422	69.3	322	73.9	100	57.8	
	「実家・親元」以外	186	30.5	113	25.9	73	42.2	
	〔無回答〕	1	0.2	1	0.2			
今年の前期の履修コマ数		527	100.0	394	100.0	133	100.0	
	5コマ以下	51	9.7	36	9.1	15	11.3	
	6～8コマ	25	4.7	22	5.6	3	2.3	
	9,10コマ	37	7.0	28	7.1	9	6.8	
	11,12コマ	153	29.0	93	23.6	60	45.1	
	13,14コマ	114	21.6	94	23.9	20	15.0	
	15,16コマ	59	11.2	57	14.5	2	1.5	
	それ以上	88	16.7	64	16.2	24	18.0	
そのうち対面で開講された授業・ゼミ等のコマ数（6月22日以降）		609	100.0	436	100.0	173	100.0	
	1コマ	188	30.9	121	27.8	67	38.7	
	2コマ	109	17.9	78	17.9	31	17.9	
	3コマ	103	16.9	78	17.9	25	14.5	
	4コマ	40	6.6	30	6.9	10	5.8	
	5コマ	39	6.4	30	6.9	9	5.2	
	それ以上	56	9.2	41	9.4	15	8.7	
	〔無回答〕	74	12.2	58	13.3	16	9.2	
対面再開「以 前（6月22日 より前）」で 経験した授業 の開講形態 【複数回答 可】	①ライブ・リアルタイム配信型	○なし	203	33.3	153	35.1	50	28.9
		○あり	405	66.5	282	64.7	123	71.1
		〔無回答〕	1	0.2	1	0.2		
	②オンデマンド配信型（録画した授業動画の配信）	○なし	47	7.7	31	7.1	16	9.2
		○あり	561	92.1	404	92.7	157	90.8
		〔無回答〕	1	0.2	1	0.2		
	③動画はなく音声付きのテキスト教材配信型	○なし	176	28.9	125	28.7	51	29.5
		○あり	432	70.9	310	71.1	122	70.5
		〔無回答〕	1	0.2	1	0.2		
	④動画はなく音声もないテキスト教材配信型	○なし	97	15.9	66	15.1	31	17.9
		○あり	511	83.9	369	84.6	142	82.1
		〔無回答〕	1	0.2	1	0.2		
	⑤遠隔授業は受講していない	○なし	600	98.5	428	98.2	172	99.4
		○あり	8	1.3	7	1.6	1	0.6
		〔無回答〕	1	0.2	1	0.2		
	⑥その他	○なし	608	99.8	435	99.8	173	100.0
		○あり						
		〔無回答〕	1	0.2	1	0.2		
そのうち最多の開講形態		609	100.0	436	100.0	173	100.0	
	ライブ・リアルタイム配信型	20	3.3	13	3.0	7	4.0	
	オンデマンド配信型（録画した授業動画の配信）	330	54.2	242	55.5	88	50.9	
	動画はなく音声付きのテキスト教材配信型	64	10.5	44	10.1	20	11.6	
	動画はなく音声もないテキスト教材配信型	183	30.0	128	29.4	55	31.8	
	遠隔授業は受講していない	9	1.5	7	1.6	2	1.2	
	その他	2	0.3	1	0.2	1	0.6	
	〔無回答〕	1	0.2	1	0.2			

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

	所属の部別							
	全体		1部		2部			
	609	100.0	436	100.0	173	100.0		
対面再開「以 後（6月22日 以後）」で終 験した授業の 開講形態【複 数回答可】	①ライブ・リアルタイム配信型	○なし	340	55.8	252	57.8	88	50.9
		○あり	267	43.8	182	41.7	85	49.1
		〔無回答〕	2	0.3	2	0.5		
②オンデマンド配信型 （録画した授業動画の配 信）		○なし	52	8.5	33	7.6	19	11.0
		○あり	555	91.1	401	92.0	154	89.0
		〔無回答〕	2	0.3	2	0.5		
③動画はなく音声付きの テキスト教材配信型		○なし	181	29.7	132	30.3	49	28.3
		○あり	426	70.0	302	69.3	124	71.7
		〔無回答〕	2	0.3	2	0.5		
④動画はなく音声もない テキスト教材配信型		○なし	120	19.7	84	19.3	36	20.8
		○あり	487	80.0	350	80.3	137	79.2
		〔無回答〕	2	0.3	2	0.5		
⑤遠隔授業は受講してい ない		○なし	594	97.5	425	97.5	169	97.7
		○あり	13	2.1	9	2.1	4	2.3
		〔無回答〕	2	0.3	2	0.5		
⑥その他		○なし	607	99.7	434	99.5	173	100.0
		○あり						
		〔無回答〕	2	0.3	2	0.5		
	609	100.0	436	100.0	173	100.0		
そのうち最多の開講形態	ライブ・リアルタイム配信型	10	1.6	7	1.6	3	1.7	
	オンデマンド配信型（録画した授業動 画の配信）	364	59.8	267	61.2	97	56.1	
	動画はなく音声付きのテキスト教材配 信型	66	10.8	47	10.8	19	11.0	
	動画はなく音声もないテキスト教材配 信型	148	24.3	98	22.5	50	28.9	
	遠隔授業は受講していない	13	2.1	9	2.1	4	2.3	
	〔無回答〕	8	1.3	8	1.8			
	609	100.0	436	100.0	173	100.0		
授業や課題に要した時間の長さ（最も 長く時間を要した日の時間数）	全くしていない	15	2.5	10	2.3	5	2.9	
	1時間未満	22	3.6	12	2.8	10	5.8	
	1.2時間	70	11.5	51	11.7	19	11.0	
	2.3時間	106	17.4	77	17.7	29	16.8	
	3.4時間	92	15.1	61	14.0	31	17.9	
	4.5時間	91	14.9	65	14.9	26	15.0	
	5.6時間	66	10.8	48	11.0	18	10.4	
	6.7時間	40	6.6	29	6.7	11	6.4	
	7.8時間	39	6.4	32	7.3	7	4.0	
	8.9時間	13	2.1	10	2.3	3	1.7	
	9.10時間	14	2.3	8	1.8	6	3.5	
	それ以上	38	6.2	31	7.1	7	4.0	
	〔無回答〕	3	0.5	2	0.5	1	0.6	
			34.5		36.2		30.1	
		609	100.0	436	100.0	173	100.0	
	授業や課題に要した時間の長さ（最も よくあるパターンの時間数）	全くしていない	23	3.8	14	3.2	9	5.2
1時間未満		113	18.6	72	16.5	41	23.7	
1.2時間		226	37.1	169	38.8	57	32.9	
2.3時間		131	21.5	94	21.6	37	21.4	
3.4時間		61	10.0	47	10.8	14	8.1	
4.5時間		27	4.4	20	4.6	7	4.0	
5.6時間		13	2.1	10	2.3	3	1.7	
6.7時間		7	1.1	5	1.1	2	1.2	
7.8時間		1	0.2			1	0.6	
8.9時間								
9.10時間		2	0.3	2	0.5			
それ以上								
〔無回答〕		5	0.8	3	0.7	2	1.2	
			3.8		3.9		3.5	
		609	100.0	436	100.0	173	100.0	
前期に受講した授業のうちの単位取得 割合		全て取得できた	351	57.6	268	61.5	83	48.0
	9割程度	136	22.3	95	21.8	41	23.7	
	7.8割程度	62	10.2	39	8.9	23	13.3	
	5.6割程度	17	2.8	9	2.1	8	4.6	
	それ以下	36	5.9	19	4.4	17	9.8	
	〔無回答〕	7	1.1	6	1.4	1	0.6	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

	所属の部別							
	全体		1部		2部			
	609	100.0	436	100.0	173	100.0		
前期授業での課題が出された授業の量・数（6月22日以降）	全て・ほぼ全ての授業で出された	344	56.5	248	56.9	96	55.5	
	多くの授業で出された	230	37.8	163	37.4	67	38.7	
	多くの授業で出されなかった	20	3.3	12	2.8	8	4.6	
	全て・ほぼ全ての授業で出されなかった	11	1.8	9	2.1	2	1.2	
	〔無回答〕	4	0.7	4	0.9			
	609	100.0	436	100.0	173	100.0		
同じく、各授業での課題が出された頻度（最もよくあったパターン）	毎回・ほぼ毎回出された	502	82.4	365	83.7	137	79.2	
	2,3回に一度	64	10.5	40	9.2	24	13.9	
	4,5回に一度	23	3.8	14	3.2	9	5.2	
	5~10回に一度	6	1.0	5	1.1	1	0.6	
	それ以上の頻度で一度	2	0.3	1	0.2	1	0.6	
	課題は出されなかった	9	1.5	8	1.8	1	0.6	
	〔無回答〕	3	0.5	3	0.7			
	609	100.0	436	100.0	173	100.0		
同じく、各授業の課題の締め切り・期日（最もよくあったパターン）	当日締め切り	5	0.8	3	0.7	2	1.2	
	3日以内	23	3.8	15	3.4	8	4.6	
	一週間以内	548	90.0	388	89.0	160	92.5	
	一か月以内	17	2.8	15	3.4	2	1.2	
	学期内	5	0.8	5	1.1			
	〔無回答〕	11	1.8	10	2.3	1	0.6	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0		
一つ一つの授業の課題の量に対する評価	非常に多かった	127	20.9	84	19.3	43	24.9	
	少し多かった	299	49.1	215	49.3	84	48.6	
	ちょうど良かった	158	25.9	117	26.8	41	23.7	
	少し少なかった	12	2.0	10	2.3	2	1.2	
	非常に少なかった	5	0.8	4	0.9	1	0.6	
	〔無回答〕	8	1.3	6	1.4	2	1.2	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0		
授業全体の課題の量に対する評価	非常に多かった	249	40.9	173	39.7	76	43.9	
	少し多かった	235	38.6	172	39.4	63	36.4	
	ちょうど良かった	100	16.4	72	16.5	28	16.2	
	少し少なかった	9	1.5	9	2.1			
	非常に少なかった	6	1.0	4	0.9	2	1.2	
	〔無回答〕	10	1.6	6	1.4	4	2.3	
	609	100.0	436	100.0	173	100.0		
以下、2020年10月現在のこと								
遠隔授業を受講している媒体【複数回答可】	パソコン	○なし	73	12.0	42	9.6	31	17.9
		○あり	534	87.7	392	89.9	142	82.1
		〔無回答〕	2	0.3	2	0.5		
	タブレット端末	○なし	537	88.2	387	88.8	150	86.7
		○あり	70	11.5	47	10.8	23	13.3
		〔無回答〕	2	0.3	2	0.5		
	スマホ	○なし	277	45.5	193	44.3	84	48.6
		○あり	330	54.2	241	55.3	89	51.4
		〔無回答〕	2	0.3	2	0.5		
	遠隔授業は受講していない	○なし	573	94.1	411	94.3	162	93.6
	○あり	34	5.6	23	5.3	11	6.4	
	〔無回答〕	2	0.3	2	0.5			
その他	○なし	607	99.7	434	99.5	173	100.0	
	○あり							
	〔無回答〕	2	0.3	2	0.5			
	330	100.0	241	100.0	89	100.0		
スマホの通信環境面での支障の有無（スマホを使っていると回答した者限定）	全く問題ない	166	50.3	127	52.7	39	43.8	
	ときどき問題が生じる	140	42.4	103	42.7	37	41.6	
	よく問題が生じる	18	5.5	9	3.7	9	10.1	
	常に問題が生じている	6	1.8	2	0.8	4	4.5	
	（再掲）よく+常に		7.3		4.6		14.6	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部別					
		全体		1部		2部	
		609	100.0	436	100.0	173	100.0
パソコンやパソコン周辺機器の所有状況	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	456	74.9	327	75.0	129	74.6
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	130	21.3	99	22.7	31	17.9
	所有しておらず、これから用意をする	8	1.3	3	0.7	5	2.9
	所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	11	1.8	5	1.1	6	3.5
タブレット端末	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	177	29.1	123	28.2	54	31.2
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	23	3.8	15	3.4	8	4.6
	所有しておらず、これから用意をする	15	2.5	12	2.8	3	1.7
	所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	325	53.4	238	54.6	87	50.3
プリンター	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	69	11.3	48	11.0	21	12.1
	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	410	67.3	316	72.5	94	54.3
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	64	10.5	39	8.9	25	14.5
	所有しておらず、これから用意をする	10	1.6	6	1.4	4	2.3
ウェブカメラ	所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	86	14.1	49	11.2	37	21.4
	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	39	6.4	26	6.0	13	7.5
	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	156	25.6	119	27.3	37	21.4
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	48	7.9	38	8.7	10	5.8
ウェブマイク	所有しておらず、これから用意をする	11	1.8	8	1.8	3	1.7
	所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	320	52.5	219	50.2	101	58.4
	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	74	12.2	52	11.9	22	12.7
	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	157	25.8	118	27.1	39	22.5
イヤホン・ヘッドホン	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	47	7.7	37	8.5	10	5.8
	所有しておらず、これから用意をする	11	1.8	9	2.1	2	1.2
	所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	317	52.1	220	50.5	97	56.1
	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	77	12.6	52	11.9	25	14.5
メモリなどデータ保存機器	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	482	79.1	351	80.5	131	75.7
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	36	5.9	20	4.6	16	9.2
	所有しておらず、これから用意をする	10	1.6	7	1.6	3	1.7
	所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	39	6.4	29	6.7	10	5.8
通信環境の整備状況	〔無回答〕	42	6.9	29	6.7	13	7.5
	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	389	63.9	283	64.9	106	61.3
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	65	10.7	49	11.2	16	9.2
	所有しておらず、これから用意をする	30	4.9	24	5.5	6	3.5
現在	所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	76	12.5	48	11.0	28	16.2
	〔無回答〕	49	8.0	32	7.3	17	9.8
	自宅wifi・有線もモバイルwifiもあり	13	2.1	10	2.3	3	1.7
	自宅wifi・有線のみあり	549	90.1	401	92.0	148	85.5
現在	モバイルwifiのみあり	33	5.4	19	4.4	14	8.1
	〔無回答〕	14	2.3	6	1.4	8	4.6
	自宅wifi・有線もモバイルwifiもあり	21	3.4	15	3.4	6	3.5
	自宅wifi・有線のみあり	550	90.3	401	92.0	149	86.1
現在	モバイルwifiのみあり	24	3.9	14	3.2	10	5.8
	〔無回答〕	14	2.3	6	1.4	8	4.6

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部別					
		全体		1部		2部	
		609	100.0	436	100.0	173	100.0
北海学園大学から支給された支援金「5万円」の用途（最もお金を費やしたものの）	パソコンやパソコン周辺機器	123	20.2	86	19.7	37	21.4
	通信環境整備	25	4.1	14	3.2	11	6.4
	学費	167	27.4	121	27.8	46	26.6
	生活費	104	17.1	68	15.6	36	20.8
	部活・サークル費用	1	0.2	1	0.2		
	就活費用	13	2.1	9	2.1	4	2.3
	貯金	112	18.4	85	19.5	27	15.6
	趣味・遊興費	31	5.1	23	5.3	8	4.6
	その他	29	4.8	26	6.0	3	1.7
	〔無回答〕	4	0.7	3	0.7	1	0.6
		609	100.0	436	100.0	173	100.0
遠隔授業に関してのあなたの不満や悩み、困っていること【複数回答可】	①とくになし	545	89.5	387	88.8	158	91.3
	○あり	58	9.5	44	10.1	14	8.1
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6
	②授業内容が十分に理解できない	379	62.2	274	62.8	105	60.7
	○あり	224	36.8	157	36.0	67	38.7
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6
	③教員とのコミュニケーションがとりにくい	444	72.9	311	71.3	133	76.9
	○あり	159	26.1	120	27.5	39	22.5
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6
	④評価方法や単位取得に対して不安がある	322	52.9	237	54.4	85	49.1
	○あり	281	46.1	194	44.5	87	50.3
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6
	⑤遠隔授業のシステムやLMS・アプリの使い方がよく分からない	557	91.5	404	92.7	153	88.4
	○あり	46	7.6	27	6.2	19	11.0
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6
	⑥課題が多い	228	37.4	168	38.5	60	34.7
	○あり	375	61.6	263	60.3	112	64.7
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6
	⑦友達・受講者同士での交流ができない	332	54.5	238	54.6	94	54.3
	○あり	271	44.5	193	44.3	78	45.1
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6
	⑧生活リズムが狂う	432	70.9	304	69.7	128	74.0
	○あり	171	28.1	127	29.1	44	25.4
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6
	⑨身体的・精神的疲労がたまる	377	61.9	267	61.2	110	63.6
	○あり	226	37.1	164	37.6	62	35.8
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6
	⑩遠隔授業を受けるのに適した媒体（パソコンなど）を持っていない	595	97.7	429	98.4	166	96.0
	○あり	8	1.3	2	0.5	6	3.5
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6
	⑪パソコンや、プリンターなど周辺機器の購入費用の負担が大きい	537	88.2	385	88.3	152	87.9
	○あり	66	10.8	46	10.6	20	11.6
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6
	⑫遠隔授業を受講する際の媒体（パソコンなど）の性能が低い	559	91.8	409	93.8	150	86.7
	○あり	44	7.2	22	5.0	22	12.7
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6
	⑬印刷費用の負担が大きい	430	70.6	303	69.5	127	73.4
	○あり	173	28.4	128	29.4	45	26.0
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6
	⑭通信環境が整っていない、通信環境がよくない	557	91.5	399	91.5	158	91.3
	○あり	46	7.6	32	7.3	14	8.1
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6
	⑮通信費用の負担が大きい	564	92.6	404	92.7	160	92.5
	○あり	39	6.4	27	6.2	12	6.9
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6
	⑯受講環境がよくない（集中ができない、周囲がうるさい、周囲に聞か	528	86.7	386	88.5	142	82.1
	○あり	75	12.3	45	10.3	30	17.3
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6
	⑰その他	574	94.3	411	94.3	163	94.2
	○あり	29	4.8	20	4.6	9	5.2
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

	所属の部別										
	全体		1部		2部						
	609	100.0	436	100.0	173	100.0					
コロナ感染への不安や大学のコロナ対応へのあなたの考え【複数回答可】	①授業・教室内での感染不安がある	○なし	293	48.1	216	49.5	77	44.5			
		○あり	271	44.5	188	43.1	83	48.0			
		[無回答]	45	7.4	32	7.3	13	7.5			
	②大学構内での感染不安がある	○なし	226	37.1	165	37.8	61	35.3			
		○あり	338	55.5	239	54.8	99	57.2			
		[無回答]	45	7.4	32	7.3	13	7.5			
	③通学の際に感染する不安がある	○なし	274	45.0	194	44.5	80	46.2			
		○あり	290	47.6	210	48.2	80	46.2			
		[無回答]	45	7.4	32	7.3	13	7.5			
	④大学の感染対策は不十分だと思う	○なし	436	71.6	311	71.3	125	72.3			
		○あり	128	21.0	93	21.3	35	20.2			
		[無回答]	45	7.4	32	7.3	13	7.5			
	⑤大学から提供される情報に問題がある(情報内容が明確でない、関連情報がない)	○なし	410	67.3	305	70.0	105	60.7			
		○あり	154	25.3	99	22.7	55	31.8			
	[無回答]	45	7.4	32	7.3	13	7.5				
⑥コロナ感染の不安などを大学に訴える機会がない・少ない	○なし	452	74.2	325	74.5	127	73.4				
	○あり	112	18.4	79	18.1	33	19.1				
	[無回答]	45	7.4	32	7.3	13	7.5				
⑦その他	○なし	522	85.7	379	86.9	143	82.7				
	○あり	42	6.9	25	5.7	17	9.8				
	[無回答]	45	7.4	32	7.3	13	7.5				
遠隔授業と対面授業に対する総合的な評価						609	100.0	436	100.0	173	100.0
	遠隔授業が良かった	116	19.0	82	18.8	34	19.7				
	どちらかといえば遠隔授業が良かった	118	19.4	81	18.6	37	21.4				
	どちらかといえば対面授業が良かった	118	19.4	88	20.2	30	17.3				
	対面授業が良かった	74	12.2	50	11.5	24	13.9				
	どちらの授業にも良い面があった	178	29.2	130	29.8	48	27.7				
	[無回答]	5	0.8	5	1.1						
各項目における遠隔授業と対面授業の利点の比較						609	100.0	436	100.0	173	100.0
①授業内容の理解度	遠隔授業	82	13.5	63	14.4	19	11.0				
	対面授業	332	54.5	237	54.4	95	54.9				
	どちらにも利点がある	192	31.5	133	30.5	59	34.1				
	[無回答]	3	0.5	3	0.7						
②自分のペースで学べる	遠隔授業	513	84.2	372	85.3	141	81.5				
	対面授業	33	5.4	20	4.6	13	7.5				
	どちらにも利点がある	60	9.9	41	9.4	19	11.0				
	[無回答]	3	0.5	3	0.7						
③授業に集中できる	遠隔授業	150	24.6	110	25.2	40	23.1				
	対面授業	328	53.9	225	51.6	103	59.5				
	どちらにも利点がある	125	20.5	96	22.0	29	16.8				
	[無回答]	6	1.0	5	1.1	1	0.6				
④教員への質問、教員との交流	遠隔授業	45	7.4	31	7.1	14	8.1				
	対面授業	446	73.2	323	74.1	123	71.1				
	どちらにも利点がある	109	17.9	74	17.0	35	20.2				
	[無回答]	9	1.5	8	1.8	1	0.6				
⑤受講生や友人との交流	遠隔授業	17	2.8	9	2.1	8	4.6				
	対面授業	547	89.8	395	90.6	152	87.9				
	どちらにも利点がある	39	6.4	28	6.4	11	6.4				
	[無回答]	6	1.0	4	0.9	2	1.2				
⑥生活リズムを整えること	遠隔授業	71	11.7	43	9.9	28	16.2				
	対面授業	422	69.3	314	72.0	108	62.4				
	どちらにも利点がある	112	18.4	76	17.4	36	20.8				
	[無回答]	4	0.7	3	0.7	1	0.6				
⑦時間を有効に活用できること	遠隔授業	442	72.6	315	72.2	127	73.4				
	対面授業	80	13.1	57	13.1	23	13.3				
	どちらにも利点がある	83	13.6	60	13.8	23	13.3				
	[無回答]	4	0.7	4	0.9						
対面授業を大学が開始したことに対する評価【複数回答可】						609	100.0	436	100.0	173	100.0
	適切だと思う	176	28.9	133	30.5	43	24.9				
	やむを得ないと思う	223	36.6	165	37.8	58	33.5				
	問題があると思う	104	17.1	67	15.4	37	21.4				
	判断が難しい・分からない	103	16.9	68	15.6	35	20.2				
	[無回答]	3	0.5	3	0.7						
対面授業の開講条件である「受講者数が収容定員の3分の1以下」に対する評価						609	100.0	436	100.0	173	100.0
	非常に緩い	22	3.6	16	3.7	6	3.5				
	緩い	79	13.0	53	12.2	26	15.0				
	適切である	339	55.7	249	57.1	90	52.0				
	厳しい	54	8.9	38	8.7	16	9.2				
	非常に厳しい	9	1.5	6	1.4	3	1.7				
	分からない	104	17.1	72	16.5	32	18.5				
	[無回答]	2	0.3	2	0.5						

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

	所属の部別							
	全体		1部		2部			
	609	100.0	436	100.0	173	100.0		
今後の授業の開講形態に対する希望	可能な限り対面授業を望む	157	25.8	110	25.2	47	27.2	
	可能な限り遠隔授業を望む	194	31.9	135	31.0	59	34.1	
	対面と遠隔の併用を望む	188	30.9	143	32.8	45	26.0	
	とくに希望はない	48	7.9	33	7.6	15	8.7	
	分からない	18	3.0	11	2.5	7	4.0	
	[無回答]	4	0.7	4	0.9			
	609	100.0	436	100.0	173	100.0		
今年の2月時点でのアルバイト実施状況	していた	382	62.7	263	60.3	119	68.8	
	していなかった	224	36.8	171	39.2	53	30.6	
	[無回答]	3	0.5	2	0.5	1	0.6	
	382	100.0	263	100.0	119	100.0		
そのアルバイトの継続状況	継続している	281	73.6	197	74.9	84	70.6	
	やめた	77	20.2	46	17.5	31	26.1	
	継続しているものもあれば、やめたものもある	22	5.8	18	6.8	4	3.4	
	[無回答]	2	0.5	2	0.8			
	382	100.0	263	100.0	119	100.0		
2020年3月から現在までのアルバイトの「量」に関する経験【複数回答可】	①とくにない	○なし	255	66.8	175	66.5	80	67.2
	○あり	123	32.2	84	31.9	39	32.8	
		[無回答]	4	1.0	4	1.5		
	②勤務シフト・労働時間が減った	○なし	203	53.1	140	53.2	63	52.9
	○あり	175	45.8	119	45.2	56	47.1	
		[無回答]	4	1.0	4	1.5		
	③勤務シフト・労働時間がゼロになった	○なし	308	80.6	212	80.6	96	80.7
	○あり	70	18.3	47	17.9	23	19.3	
		[無回答]	4	1.0	4	1.5		
	④バイト先を解雇された	○なし	366	95.8	252	95.8	114	95.8
	○あり	12	3.1	7	2.7	5	4.2	
		[無回答]	4	1.0	4	1.5		
	⑤バイト先が休業した	○なし	272	71.2	181	68.8	91	76.5
	○あり	106	27.7	78	29.7	28	23.5	
		[無回答]	4	1.0	4	1.5		
	⑥バイト先が閉店した	○なし	359	94.0	244	92.8	115	96.6
	○あり	19	5.0	15	5.7	4	3.4	
		[無回答]	4	1.0	4	1.5		
	⑦コロナ感染予防のためにバイトをやめた	○なし	363	95.0	249	94.7	114	95.8
	○あり	15	3.9	10	3.8	5	4.2	
		[無回答]	4	1.0	4	1.5		
	⑧労働条件や人間関係を理由にバイトをやめた	○なし	361	94.5	250	95.1	111	93.3
○あり	17	4.5	9	3.4	8	6.7		
	[無回答]	4	1.0	4	1.5			
⑨その他の自己都合でバイトをやめた	○なし	352	92.1	242	92.0	110	92.4	
○あり	26	6.8	17	6.5	9	7.6		
	[無回答]	4	1.0	4	1.5			
⑩バイトのかけもちを始めた	○なし	345	90.3	235	89.4	110	92.4	
○あり	33	8.6	24	9.1	9	7.6		
	[無回答]	4	1.0	4	1.5			
⑪その他	○なし	365	95.5	251	95.4	114	95.8	
○あり	13	3.4	8	3.0	5	4.2		
	[無回答]	4	1.0	4	1.5			
	203	100.0	140	100.0	63	100.0		
コロナ禍で勤務シフト・労働時間が減る以前の一週間の労働時間数（勤務シフト・労働時間が「減った」「ゼロになった」者限定）	5時間未満	8	3.9	8	5.7			
	5～10時間未満	12	5.9	11	7.9	1	1.6	
	10～15時間未満	27	13.3	21	15.0	6	9.5	
	15～20時間未満	62	30.5	43	30.7	19	30.2	
	20～25時間未満	39	19.2	24	17.1	15	23.8	
	25～30時間未満	23	11.3	12	8.6	11	17.5	
	30～35時間未満	14	6.9	10	7.1	4	6.3	
	35時間以上	12	5.9	7	5.0	5	7.9	
		[無回答]	6	3.0	4	2.9	2	3.2
		(再掲) 15時間未満		23.2		28.6		11.1
	203	100.0	140	100.0	63	100.0		
勤務シフト・労働時間数が最も減った状況（同上）	ゼロになった	86	42.4	63	45.0	23	36.5	
	1～5時間未満	21	10.3	16	11.4	5	7.9	
	5～10時間未満	43	21.2	28	20.0	15	23.8	
	10～15時間未満	34	16.7	22	15.7	12	19.0	
	15～20時間未満	9	4.4	4	2.9	5	7.9	
	20～25時間未満	2	1.0	1	0.7	1	1.6	
	25～30時間未満	1	0.5			1	1.6	
	30～35時間未満	1	0.5	1	0.7			
	35時間以上	2	1.0	2	1.4			
		[無回答]	4	2.0	3	2.1	1	1.6
		(再掲) 15時間未満		90.6		92.1		87.3

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

	所属の部別						
	全体		1部		2部		
	203	100.0	140	100.0	63	100.0	
勤務シフト・労働時間が減ったことに対する休業手当の支給状況（同上）	全ての月に支給された	58	28.6	43	30.7	15	23.8
	支給された月もあれば支給されなかった月もある	41	20.2	27	19.3	14	22.2
	全く支給されなかった	96	47.3	64	45.7	32	50.8
	分からない	5	2.5	3	2.1	2	3.2
	〔無回答〕	3	1.5	3	2.1		
休業手当の支給割合（休業手当が支給された者限定）	全額・ほぼ全額が支給された	99	100.0	70	100.0	29	100.0
	7.8割が支給された	22	22.2	13	18.6	9	31.0
	5.6割が支給された	22	22.2	17	24.3	5	17.2
	3.4割が支給された	32	32.3	20	28.6	12	41.4
	1.2割が支給された	10	10.1	9	12.9	1	3.4
勤務シフト・労働時間が減ったりなくなったことで困った経験・状況の有無【複数回答可】	①収入は減ったが、とくに困りはしなかった	203	100.0	140	100.0	63	100.0
	○なし	142	70.0	87	62.1	55	87.3
	○あり	54	26.6	46	32.9	8	12.7
	〔無回答〕	7	3.4	7	5.0		
	②遊興費や趣味に使えるお金が減って困った	93	45.8	65	46.4	28	44.4
	○なし	103	50.7	68	48.6	35	55.6
	○あり	7	3.4	7	5.0		
	〔無回答〕						
	③生活に必要なお金が減って困った	119	58.6	95	67.9	24	38.1
	○なし	77	37.9	38	27.1	39	61.9
	○あり	7	3.4	7	5.0		
	〔無回答〕						
	④教科書代や通学に必要なお金が減って困った	149	73.4	107	76.4	42	66.7
○なし	47	23.2	26	18.6	21	33.3	
○あり	7	3.4	7	5.0			
〔無回答〕							
⑤授業料の支払いが困難になり困った	173	85.2	120	85.7	53	84.1	
○なし	23	11.3	13	9.3	10	15.9	
○あり	7	3.4	7	5.0			
〔無回答〕							
⑥その他	193	95.1	131	93.6	62	98.4	
○なし	3	1.5	2	1.4	1	1.6	
○あり	7	3.4	7	5.0			
〔無回答〕							
現在のアルバイト実施状況【複数回答可】	①固定的なアルバイトを1つのみしている	609	100.0	436	100.0	173	100.0
	○なし	223	36.6	169	38.8	54	31.2
	○あり	371	60.9	253	58.0	118	68.2
	〔無回答〕	15	2.5	14	3.2	1	0.6
	②固定的なアルバイトをかけもちでしている	539	88.5	379	86.9	160	92.5
	○なし	55	9.0	43	9.9	12	6.9
	○あり	15	2.5	14	3.2	1	0.6
	〔無回答〕						
	③単発的なアルバイトをしている	554	91.0	395	90.6	159	91.9
	○なし	40	6.6	27	6.2	13	7.5
	○あり	15	2.5	14	3.2	1	0.6
	〔無回答〕						
	④アルバイトをしているが、追加・かけもちのバイト探している	557	91.5	398	91.3	159	91.9
○なし	37	6.1	24	5.5	13	7.5	
○あり	15	2.5	14	3.2	1	0.6	
〔無回答〕							
⑤アルバイトをしていないが、探している	509	83.6	358	82.1	151	87.3	
○なし	85	14.0	64	14.7	21	12.1	
○あり	15	2.5	14	3.2	1	0.6	
〔無回答〕							
⑥アルバイトをしておらず、さがしてもいない	545	89.5	382	87.6	163	94.2	
○なし	49	8.0	40	9.2	9	5.2	
○あり	15	2.5	14	3.2	1	0.6	
〔無回答〕							
現在のアルバイトの勤続期間	働き始めたばかり	460	100.0	318	100.0	142	100.0
	1.2か月	27	5.9	20	6.3	7	4.9
	3～6か月未満	48	10.4	27	8.5	21	14.8
	6か月～1年未満	57	12.4	40	12.6	17	12.0
	1～2年未満	66	14.3	44	13.8	22	15.5
	2～3年未満	136	29.6	100	31.4	36	25.4
	3年以上	75	16.3	52	16.4	23	16.2
	〔無回答〕	33	7.2	23	7.2	10	7.0
	18	3.9	12	3.8	6	4.2	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

	所属の部別							
	全体		1部		2部			
	448	100.0	309	100.0	139	100.0		
先月（2020年9月）の1週間の労働時間数	5時間未満	37	8.3	32	10.4	5	3.6	
	5～10時間未満	41	9.2	27	8.7	14	10.1	
	10～15時間未満	108	24.1	83	26.9	25	18.0	
	15～20時間未満	115	25.7	78	25.2	37	26.6	
	20～25時間未満	64	14.3	38	12.3	26	18.7	
	25～30時間未満	29	6.5	17	5.5	12	8.6	
	30～35時間未満	18	4.0	9	2.9	9	6.5	
	35時間以上	24	5.4	16	5.2	8	5.8	
	〔無回答〕	12	2.7	9	2.9	3	2.2	
	（再掲）15時間以上		55.8		51.1		66.2	
		448	100.0	309	100.0	139	100.0	
先月（2020年9月）の1か月の給料	1万円未満	28	6.3	18	5.8	10	7.2	
	1万円台	10	2.2	7	2.3	3	2.2	
	2万円台	26	5.8	20	6.5	6	4.3	
	3万円台	26	5.8	17	5.5	9	6.5	
	4万円台	45	10.0	38	12.3	7	5.0	
	5万円台	64	14.3	42	13.6	22	15.8	
	6万円台	57	12.7	41	13.3	16	11.5	
	7万円台	62	13.8	41	13.3	21	15.1	
	8万円台	38	8.5	25	8.1	13	9.4	
	9万円台	20	4.5	12	3.9	8	5.8	
	10万円台	29	6.5	18	5.8	11	7.9	
	11,12万円台	14	3.1	10	3.2	4	2.9	
	13,14万円台	6	1.3	5	1.6	1	0.7	
	15万円以上	9	2.0	4	1.3	5	3.6	
	〔無回答〕	14	3.1	11	3.6	3	2.2	
	（再掲）8万円以上		25.9		23.9		30.2	
		460	100.0	318	100.0	142	100.0	
アルバイト代①の使い道【複数回答可】	①趣味娯楽・交際費・飲	○なし	56	12.2	32	10.1	24	16.9
		○あり	398	86.5	281	88.4	117	82.4
		〔無回答〕	6	1.3	5	1.6	1	0.7
	②部活やサークル代	○なし	364	79.1	248	78.0	116	81.7
		○あり	90	19.6	65	20.4	25	17.6
		〔無回答〕	6	1.3	5	1.6	1	0.7
	③授業料	○なし	344	74.8	251	78.9	93	65.5
		○あり	110	23.9	62	19.5	48	33.8
		〔無回答〕	6	1.3	5	1.6	1	0.7
	④教材費・書籍代	○なし	301	65.4	215	67.6	86	60.6
		○あり	153	33.3	98	30.8	55	38.7
		〔無回答〕	6	1.3	5	1.6	1	0.7
	⑤通学費	○なし	262	57.0	192	60.4	70	49.3
		○あり	192	41.7	121	38.1	71	50.0
		〔無回答〕	6	1.3	5	1.6	1	0.7
	⑥生活費	○なし	258	56.1	201	63.2	57	40.1
		○あり	196	42.6	112	35.2	84	59.2
		〔無回答〕	6	1.3	5	1.6	1	0.7
	⑦就職活動費用	○なし	372	80.9	254	79.9	118	83.1
		○あり	82	17.8	59	18.6	23	16.2
		〔無回答〕	6	1.3	5	1.6	1	0.7
	⑧資格取得費用	○なし	370	80.4	253	79.6	117	82.4
		○あり	84	18.3	60	18.9	24	16.9
		〔無回答〕	6	1.3	5	1.6	1	0.7
	⑨自動車学校	○なし	394	85.7	274	86.2	120	84.5
		○あり	60	13.0	39	12.3	21	14.8
		〔無回答〕	6	1.3	5	1.6	1	0.7
	⑩貯金	○なし	143	31.1	99	31.1	44	31.0
		○あり	311	67.6	214	67.3	97	68.3
		〔無回答〕	6	1.3	5	1.6	1	0.7
	⑪その他	○なし	450	97.8	310	97.5	140	98.6
		○あり	4	0.9	3	0.9	1	0.7
		〔無回答〕	6	1.3	5	1.6	1	0.7
		460	100.0	318	100.0	142	100.0	
アルバイトをする理由（二区分）	遊び・趣味等に使うお金を稼ぐため	99	21.5	81	25.5	18	12.7	
	どちらかといえば遊び・趣味等に使うお金を稼ぐため	125	27.2	100	31.4	25	17.6	
	どちらかといえば学費・生活費等を稼ぐため	75	16.3	41	12.9	34	23.9	
	学費・生活費等を稼ぐため	56	12.2	32	10.1	24	16.9	
	どちらも半々	97	21.1	57	17.9	40	28.2	
	〔無回答〕	8	1.7	7	2.2	1	0.7	
	（再掲）学費・生活費等+半々		49.6		40.9		69.0	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部別						
		全体		1部		2部		
		609	100.0	436	100.0	173	100.0	
学費負担・学費の原資【複数回答可】	①親の収入	○なし	135	22.2	64	14.7	71	41.0
		○あり	474	77.8	372	85.3	102	59.0
	②祖父母の収入	○なし	580	95.2	415	95.2	165	95.4
		○あり	29	4.8	21	4.8	8	4.6
	③自分自身のアルバイト収入	○なし	495	81.3	369	84.6	126	72.8
		○あり	114	18.7	67	15.4	47	27.2
	④奨学金	○なし	316	51.9	238	54.6	78	45.1
		○あり	293	48.1	198	45.4	95	54.9
	⑤その他	○なし	601	98.7	431	98.9	170	98.3
		○あり	8	1.3	5	1.1	3	1.7
主な学費負担者・学費の原資	親の収入		609	100.0	436	100.0	173	100.0
	祖父母の収入		392	64.4	308	70.6	84	48.6
	自分自身のアルバイト収入		14	2.3	11	2.5	3	1.7
	奨学金		26	4.3	7	1.6	19	11.0
	その他		166	27.3	105	24.1	61	35.3
			11	1.8	5	1.1	6	3.5
高等教育の修学支援新制度の利用状況	利用していない		609	100.0	436	100.0	173	100.0
	利用している（区分は、第Ⅰ区分・住民税非課税世帯）		481	79.0	353	81.0	128	74.0
	利用している（区分は、第Ⅱ区分）		47	7.7	28	6.4	19	11.0
	利用している（区分は、第Ⅲ区分）		29	4.8	20	4.6	9	5.2
	利用している（区分は、分らない）		8	1.3	5	1.1	3	1.7
	利用している（区分は、分らない）		40	6.6	27	6.2	13	7.5
	〔無回答〕		4	0.7	3	0.7	1	0.6
	（再掲）利用している計		20.4		18.3		25.4	
給付型奨学金の利用状況【複数回答可】	①とくに給付は受けていない	○なし	609	100.0	436	100.0	173	100.0
		○あり	150	24.6	99	22.7	51	29.5
		〔無回答〕	451	74.1	333	76.4	118	68.2
	②北海学園奨学金	○なし	8	1.3	4	0.9	4	2.3
		○あり	556	91.3	399	91.5	157	90.8
		〔無回答〕	45	7.4	33	7.6	12	6.9
	③自治体の奨学金	○なし	8	1.3	4	0.9	4	2.3
		○あり	595	97.7	427	97.9	168	97.1
		〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6
	④民間団体の奨学金	○なし	8	1.3	4	0.9	4	2.3
		○あり	599	98.4	432	99.1	167	96.5
		〔無回答〕	2	0.3	2	0.5	2	1.2
	⑤日本学生支援機構の「旧来型」の給付型奨学金（修学支援新制度移行）	○なし	8	1.3	4	0.9	4	2.3
		○あり	547	89.8	398	91.3	149	86.1
		〔無回答〕	54	8.9	34	7.8	20	11.6
	⑥修学支援新制度の給付型奨学金	○なし	8	1.3	4	0.9	4	2.3
		○あり	546	89.7	397	91.1	149	86.1
		〔無回答〕	55	9.0	35	8.0	20	11.6
	⑦その他	○なし	8	1.3	4	0.9	4	2.3
		○あり	601	98.7	432	99.1	169	97.7
	〔無回答〕	8	1.3	4	0.9	4	2.3	
日本学生支援機構による貸与型奨学金の利用状況	利用していない		609	100.0	436	100.0	173	100.0
	利用している（第一種のみを利用している）		324	53.2	242	55.5	82	47.4
	利用している（第二種のみを利用している）		101	16.6	62	14.2	39	22.5
	利用している（第一種と第二種を併用している）		107	17.6	71	16.3	36	20.8
	利用しているが、内容が分からない		43	7.1	35	8.0	8	4.6
	〔無回答〕		31	5.1	24	5.5	7	4.0
		3	0.5	2	0.5	1	0.6	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部別					
		全体		1部		2部	
		144	100.0	97	100.0	47	100.0
第一種奨学金の利用月額（第一種奨学金利用者に限定）	2万円	10	6.9	7	7.2	3	6.4
	3万円	20	13.9	9	9.3	11	23.4
	4万円	13	9.0	10	10.3	3	6.4
	5万円	34	23.6	23	23.7	11	23.4
	5.4万円	20	13.9	17	17.5	3	6.4
	6.4万円	24	16.7	12	12.4	12	25.5
	金額は分からない	19	13.2	16	16.5	3	6.4
	〔無回答〕	4	2.8	3	3.1	1	2.1
第二種奨学金の利用月額（第二種奨学金利用者に限定）	2万円	6	3.9	3	2.8	3	6.8
	3万円	22	14.4	15	13.8	7	15.9
	4万円	11	7.2	8	7.3	3	6.8
	5万円	27	17.6	19	17.4	8	18.2
	6万円	9	5.9	7	6.4	2	4.5
	7万円	7	4.6	4	3.7	3	6.8
	8万円	18	11.8	13	11.9	5	11.4
	9万円	4	2.6	4	3.7		
	10万円	20	13.1	15	13.8	5	11.4
	11万円	2	1.3	2	1.8		
	12万円	12	7.8	7	6.4	5	11.4
	金額は分からない	11	7.2	9	8.3	2	4.5
	〔無回答〕	4	2.6	3	2.8	1	2.3
第一種奨学金と第二種奨学金の合計	2万円台	11	4.8	6	4.0	5	6.3
	3万円台	35	15.4	17	11.4	18	22.8
	4万円台	17	7.5	11	7.4	6	7.6
	5万円台	63	27.6	43	28.9	20	25.3
	6万円台	23	10.1	13	8.7	10	12.7
	7万円台	7	3.1	3	2.0	4	5.1
	8万円台	21	9.2	16	10.7	5	6.3
	9万円台	4	1.8	4	2.7		
	10万円台	24	10.5	19	12.8	5	6.3
	11、12万円台	18	7.9	15	10.1	3	3.8
それ以上	5	2.2	2	1.3	3	3.8	
	(再掲) 8万円以上		31.6		37.6		20.3
就職・進路に対する不安の有無	非常にある	346	56.8	247	56.7	99	57.2
	ある	202	33.2	147	33.7	55	31.8
	あまりない	35	5.7	27	6.2	8	4.6
	全くない	16	2.6	10	2.3	6	3.5
	分からない	9	1.5	4	0.9	5	2.9
	〔無回答〕	1	0.2	1	0.2		
就職活動で困ったことやハラスメントの経験の有無（4年生に限定）【複数回答可】	①とくにない	72	100.0	49	100.0	23	100.0
	○なし	47	65.3	32	65.3	15	65.2
	○あり	23	31.9	16	32.7	7	30.4
	〔無回答〕	2	2.8	1	2.0	1	4.3
	②説明会がキャンセルになった	32	44.4	19	38.8	13	56.5
	○なし	38	52.8	29	59.2	9	39.1
	○あり	2	2.8	1	2.0	1	4.3
	〔無回答〕	2	2.8	1	2.0	1	4.3
	③面接がキャンセルになった	57	79.2	38	77.6	19	82.6
	○なし	13	18.1	10	20.4	3	13.0
	○あり	2	2.8	1	2.0	1	4.3
〔無回答〕	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
④希望する就職先の採用が減った	51	70.8	36	73.5	15	65.2	
○なし	19	26.4	12	24.5	7	30.4	
○あり	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
〔無回答〕	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
⑤遠隔対応の勝手が分からずに苦労した	59	81.9	40	81.6	19	82.6	
○なし	11	15.3	8	16.3	3	13.0	
○あり	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
〔無回答〕	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
⑥内定が取り消された	70	97.2	48	98.0	22	95.7	
○なし	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
○あり	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
〔無回答〕	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
⑦内定がまだとれていない	55	76.4	40	81.6	15	65.2	
○なし	15	20.8	8	16.3	7	30.4	
○あり	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
〔無回答〕	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
⑧性的な質問や嫌がらせをされた（セクハラ）	70	97.2	48	98.0	22	95.7	
○なし	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
○あり	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
〔無回答〕	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
⑨内定と引き替えに就職活動をやめるよう言われた（オウハラ）	67	93.1	46	93.9	21	91.3	
○なし	3	4.2	2	4.1	1	4.3	
○あり	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
〔無回答〕	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
⑩無用に高圧的な発言をされたり態度をとられた（パワハラ）	68	94.4	47	95.9	21	91.3	
○なし	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
○あり	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
〔無回答〕	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
⑪その他	66	91.7	44	89.8	22	95.7	
○なし	4	5.6	4	8.2			
○あり	2	2.8	1	2.0	1	4.3	
〔無回答〕	2	2.8	1	2.0	1	4.3	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部別						
		全体		1部		2部		
		609	100.0	436	100.0	173	100.0	
コロナ禍における生活費用の増減	大きく増えた	24	3.9	14	3.2	10	5.8	
	増えた	153	25.1	117	26.8	36	20.8	
	とくに変わらない	331	54.4	236	54.1	95	54.9	
	減った	83	13.6	55	12.6	28	16.2	
	大きく減った	13	2.1	9	2.1	4	2.3	
	〔無回答〕	5	0.8	5	1.1			
		609	100.0	436	100.0	173	100.0	
経済的な状況①とくにない や心身の状況 【複数回答 可】	○なし	480	78.8	345	79.1	135	78.0	
	○あり	124	20.4	89	20.4	35	20.2	
	〔無回答〕	5	0.8	2	0.5	3	1.7	
	②学費の支払いが困難に なっている	○なし	556	91.3	403	92.4	153	88.4
	○あり	48	7.9	31	7.1	17	9.8	
	〔無回答〕	5	0.8	2	0.5	3	1.7	
	③生活費を稼ぐのに大変 である	○なし	505	82.9	380	87.2	125	72.3
	○あり	99	16.3	54	12.4	45	26.0	
	〔無回答〕	5	0.8	2	0.5	3	1.7	
	④大学で友人ができない	○なし	412	67.7	297	68.1	115	66.5
	○あり	192	31.5	137	31.4	55	31.8	
	〔無回答〕	5	0.8	2	0.5	3	1.7	
⑤サークル活動や部活動 に入り損ねた	○なし	514	84.4	370	84.9	144	83.2	
○あり	90	14.8	64	14.7	26	15.0		
〔無回答〕	5	0.8	2	0.5	3	1.7		
⑥サークル活動や部活動 が制約を受けており不満	○なし	501	82.3	357	81.9	144	83.2	
○あり	103	16.9	77	17.7	26	15.0		
〔無回答〕	5	0.8	2	0.5	3	1.7		
⑦目標を見失った	○なし	500	82.1	367	84.2	133	76.9	
○あり	104	17.1	67	15.4	37	21.4		
〔無回答〕	5	0.8	2	0.5	3	1.7		
⑧気力がわかない	○なし	369	60.6	274	62.8	95	54.9	
○あり	235	38.6	160	36.7	75	43.4		
〔無回答〕	5	0.8	2	0.5	3	1.7		
⑨体調がすぐれない	○なし	508	83.4	378	86.7	130	75.1	
○あり	96	15.8	56	12.8	40	23.1		
〔無回答〕	5	0.8	2	0.5	3	1.7		
⑩生活リズムが乱れてい る	○なし	350	57.5	247	56.7	103	59.5	
○あり	254	41.7	187	42.9	67	38.7		
〔無回答〕	5	0.8	2	0.5	3	1.7		
⑪大学生活がつまらない	○なし	406	66.7	303	69.5	103	59.5	
○あり	198	32.5	131	30.0	67	38.7		
〔無回答〕	5	0.8	2	0.5	3	1.7		
⑫その他	○なし	598	98.2	430	98.6	168	97.1	
○あり	6	1.0	4	0.9	2	1.2		
〔無回答〕	5	0.8	2	0.5	3	1.7		
		609	100.0	436	100.0	173	100.0	
休学や退学を考えたり検討することの 有無	とくにない	496	81.4	367	84.2	129	74.6	
	漠然とながらも考えることがある	85	14.0	52	11.9	33	19.1	
	真剣に検討している	14	2.3	7	1.6	7	4.0	
	その他	8	1.3	6	1.4	2	1.2	
	〔無回答〕	6	1.0	4	0.9	2	1.2	
	(再掲) 漠然と+真剣に		16.3		13.5		23.1	
		609	100.0	436	100.0	173	100.0	
親など学費負担者の就労収入の変化	コロナの影響で仕事・収入が減った	132	21.7	93	21.3	39	22.5	
	コロナの影響ではないが、仕事・収入 が減った	36	5.9	29	6.7	7	4.0	
	今はまだ影響はないが、これから仕 事・収入が減るおそれがある	78	12.8	59	13.5	19	11.0	
	コロナの影響はとくにない	337	55.3	244	56.0	93	53.8	
	その他	17	2.8	8	1.8	9	5.2	
	〔無回答〕	9	1.5	3	0.7	6	3.5	
(再掲) 減った計		27.6		28.0		26.6		
		609	100.0	436	100.0	173	100.0	
あなたの現在の経済的な暮らしの状況	大変ゆとりがある	34	5.6	27	6.2	7	4.0	
	ややゆとりがある	90	14.8	69	15.8	21	12.1	
	普通	305	50.1	234	53.7	71	41.0	
	やや苦しい	144	23.6	82	18.8	62	35.8	
	大変苦しい	35	5.7	23	5.3	12	6.9	
	〔無回答〕	1	0.2	1	0.2			
(再掲) 苦しい計		29.4		24.1		42.8		

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部別						
		全体		1部		2部		
		609	100.0	436	100.0	173	100.0	
奨学金やアルバイト収入がなかった場合、学費負担者からの支出だけで修学は可能か	十分に可能である	270	44.3	217	49.8	53	30.6	
	修学は不自由になる	144	23.6	96	22.0	48	27.7	
	修学の継続は困難になる	189	31.0	118	27.1	71	41.0	
	〔無回答〕	6	1.0	5	1.1	1	0.6	
			609	100.0	436	100.0	173	100.0
遠隔授業が中心であったの に対して授業料負担が例年通りであったことへの評価 【複数回答可】	①非常に納得ができない	○なし	357	58.6	237	54.4	120	69.4
		○あり	249	40.9	197	45.2	52	30.1
		〔無回答〕	3	0.5	2	0.5	1	0.6
	②納得ができない	○なし	394	64.7	287	65.8	107	61.8
		○あり	212	34.8	147	33.7	65	37.6
		〔無回答〕	3	0.5	2	0.5	1	0.6
	③仕方がない	○なし	451	74.1	337	77.3	114	65.9
		○あり	155	25.5	97	22.2	58	33.5
		〔無回答〕	3	0.5	2	0.5	1	0.6
	④分からない	○なし	573	94.1	413	94.7	160	92.5
		○あり	33	5.4	21	4.8	12	6.9
		〔無回答〕	3	0.5	2	0.5	1	0.6
	⑤その他	○なし	584	95.9	419	96.1	165	95.4
		○あり	22	3.6	15	3.4	7	4.0
		〔無回答〕	3	0.5	2	0.5	1	0.6
		609	100.0	436	100.0	173	100.0	
学費の減免を国に求める学生たちの動きに対する評価	強く賛同する	281	46.1	215	49.3	66	38.2	
	賛同する	233	38.3	158	36.2	75	43.4	
	あまり賛同しない	29	4.8	19	4.4	10	5.8	
	まったく賛同しない	6	1.0	4	0.9	2	1.2	
	分からない	58	9.5	38	8.7	20	11.6	
	〔無回答〕	2	0.3	2	0.5			
	(再掲) 賛同する計		84.4		85.6		81.5	
		609	100.0	436	100.0	173	100.0	
学費のことなどを勉強する機会が学内で設けられた場合の参加の意向	参加する	81	13.3	55	12.6	26	15.0	
	おそらく参加する	223	36.6	156	35.8	67	38.7	
	おそらく参加しない	160	26.3	123	28.2	37	21.4	
	参加しない	54	8.9	35	8.0	19	11.0	
	分からない	88	14.4	64	14.7	24	13.9	
	〔無回答〕	3	0.5	3	0.7			
	(再掲) 参加する計		49.9		48.4		53.8	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部								
		1部×学年								
		1年		2年		3年		4年		
所属の部	1部	141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
	2部									
学年		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
	1年生	141	100.0							
	2年生			136	100.0					
	3年生					110	100.0			
所属学部	4年生							49	100.0	
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
	経済学部	44	31.2	46	33.8	28	25.5	15	30.6	
	経営学部	27	19.1	25	18.4	26	23.6	7	14.3	
	法学部	24	17.0	36	26.5	14	12.7	15	30.6	
	人文学部	17	12.1	16	11.8	24	21.8	8	16.3	
	工学部	29	20.6	13	9.6	18	16.4	4	8.2	
	〔無回答〕									
性別		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
	男性	74	52.5	67	49.3	52	47.3	24	49.0	
	女性	67	47.5	69	50.7	57	51.8	24	49.0	
	〔無回答〕					1	0.9	1	2.0	
住まい		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
	実家・親元	107	75.9	97	71.3	82	74.5	36	73.5	
	「実家・親元」以外	34	24.1	39	28.7	28	25.5	12	24.5	
	〔無回答〕							1	2.0	
今年の前期の履修コマ数		129	100.0	117	100.0	103	100.0	45	100.0	
	5コマ以下	2	1.6	3	2.6	5	4.9	26	57.8	
	6～8コマ	2	1.6	4	3.4	7	6.8	9	20.0	
	9,10コマ	2	1.6	8	6.8	15	14.6	3	6.7	
	11,12コマ	22	17.1	42	35.9	25	24.3	4	8.9	
	13,14コマ	37	28.7	32	27.4	23	22.3	2	4.4	
	15,16コマ	35	27.1	11	9.4	10	9.7	1	2.2	
	それ以上	29	22.5	17	14.5	18	17.5			
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
そのうち対面で開講された授業・ゼミ等のコマ数（6月22日以降）	1コマ	18	12.8	50	36.8	28	25.5	25	51.0	
	2コマ	24	17.0	31	22.8	20	18.2	3	6.1	
	3コマ	42	29.8	21	15.4	14	12.7	1	2.0	
	4コマ	15	10.6	4	2.9	10	9.1	1	2.0	
	5コマ	12	8.5	6	4.4	10	9.1	2	4.1	
	それ以上	23	16.3	5	3.7	13	11.8			
	〔無回答〕	7	5.0	19	14.0	15	13.6	17	34.7	
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
対面再開「以前（6月22日より前）」で経験した授業の開講形態【複数回答可】	①ライブ・リアルタイム配信型	○なし	21	14.9	47	34.6	50	45.5	35	71.4
		○あり	120	85.1	89	65.4	60	54.5	13	26.5
		〔無回答〕							1	2.0
	②オンデマンド配信型（録画した授業動画の配信）	○なし	3	2.1	4	2.9	5	4.5	19	38.8
		○あり	138	97.9	132	97.1	105	95.5	29	59.2
		〔無回答〕							1	2.0
	③動画はなく音声付きのテキスト教材配信型	○なし	34	24.1	21	15.4	41	37.3	29	59.2
		○あり	107	75.9	115	84.6	69	62.7	19	38.8
		〔無回答〕							1	2.0
	④動画はなく音声もないテキスト教材配信型	○なし	11	7.8	15	11.0	14	12.7	26	53.1
		○あり	130	92.2	121	89.0	96	87.3	22	44.9
		〔無回答〕							1	2.0
⑤遠隔授業は受講していない	○なし	141	100.0	136	100.0	110	100.0	41	83.7	
	○あり							7	14.3	
	〔無回答〕							1	2.0	
⑥その他	○なし	141	100.0	136	100.0	110	100.0	48	98.0	
	○あり									
	〔無回答〕							1	2.0	
そのうち最多の開講形態		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
	ライブ・リアルタイム配信型	9	6.4	2	1.5			2	4.1	
	オンデマンド配信型（録画した授業動画の配信）	89	63.1	77	56.6	59	53.6	17	34.7	
	動画はなく音声付きのテキスト教材配信型	10	7.1	18	13.2	9	8.2	7	14.3	
	動画はなく音声もないテキスト教材配信型	33	23.4	39	28.7	42	38.2	14	28.6	
	遠隔授業は受講していない							7	14.3	
	その他							1	2.0	
	〔無回答〕							1	2.0	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

	所属の部										
	1部×学年										
	141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0			
対面再開「以 後（6月22日 以後）」で終 験した授業の 開講形態【複 数回答可】	①ライブ・リアルタイム 配信型	○なし ○あり 〔無回答〕	76 65	53.9 46.1	79 57	58.1 41.9	61 49	55.5 44.5	36 11	73.5 22.4	
	②オンデマンド配信型 （録画した授業動画の配 信）	○なし ○あり 〔無回答〕	2 139	1.4 98.6	4 132	2.9 97.1	9 101	8.2 91.8	18 29	36.7 59.2	
	③動画はなく音声付きの テキスト教材配信型	○なし ○あり 〔無回答〕	30 111	21.3 78.7	28 108	20.6 79.4	45 65	40.9 59.1	29 18	59.2 36.7	
	④動画はなく音声もない テキスト教材配信型	○なし ○あり 〔無回答〕	17 124	12.1 87.9	18 118	13.2 86.8	23 87	20.9 79.1	26 21	53.1 42.9	
	⑤遠隔授業は受講してい ない	○なし ○あり 〔無回答〕	141	100.0	136	100.0	110	100.0	38 9	77.6 18.4	
	⑥その他	○なし ○あり 〔無回答〕	141	100.0	136	100.0	110	100.0	47 2	95.9 4.1	
	そのうち最多の開講形態		ライブ・リアルタイム配信型 オンデマンド配信型（録画した授業動 画の配信） 動画はなく音声付きのテキスト教材配 信型 動画はなく音声もないテキスト教材配 信型 遠隔授業は受講していない 〔無回答〕	1 98 12 27 3	0.7 69.5 8.5 19.1 2.1	1 90 19 26	0.7 66.2 14.0 19.1	3 63 11 31 2	2.7 57.3 10.0 28.2 1.8	2 16 5 14 3	4.1 32.7 10.2 28.6 6.1
	授業や課題に要した時間の長さ（最も 長く時間を要した日の時間数）		全くしていない 1時間未満 1.2時間 2.3時間 3.4時間 4.5時間 5.6時間 6.7時間 7.8時間 8.9時間 9.10時間 それ以上 〔無回答〕 (再掲)「5.6時間」以上	1 8 27 21 27 18 12 10 3 2 12	0.7 5.7 19.1 14.9 19.1 12.8 8.5 7.1 2.1 1.4 8.5	2 1 14 27 21 19 9 11 2 11 1	1.5 0.7 10.3 19.9 15.4 13.2 6.6 8.1 1.5 8.1 0.7	3 4 14 15 16 12 8 8 4 5 8	2.7 3.6 12.7 11.8 13.6 10.9 7.3 7.3 3.6 4.5 7.3	5 6 15 4 3 10 3 1 1 8	10.2 12.2 30.6 8.2 6.1 20.4 6.1 6.1 2.0 2.0 2.0
	授業や課題に要した時間の長さ（最も よくあるパターンの時間数）		全くしていない 1時間未満 1.2時間 2.3時間 3.4時間 4.5時間 5.6時間 6.7時間 7.8時間 8.9時間 9.10時間 それ以上 〔無回答〕 (再掲)「5.6時間」以上	1 14 61 33 16 9 3 3	0.7 9.9 43.3 23.4 11.3 6.4 2.1 2.1	4 18 56 31 16 5 4	2.9 13.2 41.2 22.8 11.8 3.7 2.9	3 24 35 22 15 5 3 2	2.7 21.8 31.8 20.0 13.6 4.5 2.7 1.8	6 16 17 8 1 1 2	12.2 32.7 34.7 16.3 2.0 2.0 1.8
	前期に受講した授業のうちの単位取得 割合		全て取得できた 9割程度 7.8割程度 5.6割程度 それ以下 〔無回答〕	88 30 13 5 4 1	62.4 21.3 9.2 3.5 2.8 0.7	80 32 16 2 5 1	58.8 23.5 11.8 1.5 3.7 0.7	69 25 9 2 5	62.7 22.7 8.2 1.8 4.5	31 8 1 5 5	63.3 16.3 2.0 10.2 8.2

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部								
		1部×学年								
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
前期授業での課題が出された授業の量・数（6月22日以降）	全て・ほぼ全ての授業で出された	83	58.9	69	50.7	77	70.0	19	38.8	
	多くの授業で出された	54	38.3	62	45.6	28	25.5	19	38.8	
	多くの授業で出されなかった	4	2.8	3	2.2	2	1.8	3	6.1	
	全て・ほぼ全ての授業で出されなかった			1	0.7	2	1.8	6	12.2	
	〔無回答〕			1	0.7	1	0.9	2	4.1	
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
同じく、各授業での課題が出された頻度（最もよくあったパターン）	毎回・ほぼ毎回出された	130	92.2	113	83.1	93	84.5	29	59.2	
	2,3回に一度	8	5.7	16	11.8	11	10.0	5	10.2	
	4,5回に一度	2	1.4	4	2.9	4	3.6	4	8.2	
	5~10回に一度	1	0.7	1	0.7	1	0.9	2	4.1	
	それ以上の頻度で一度							1	2.0	
	課題は出されなかった			1	0.7	1	0.9	6	12.2	
	〔無回答〕			1	0.7			2	4.1	
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
同じく、各授業の課題の締め切り・期日（最もよくあったパターン）	当日締め切り					2	1.8	1	2.0	
	3日以内	3	2.1	8	5.9	4	3.6			
	一週間以内	133	94.3	125	91.9	96	87.3	34	69.4	
	一か月以内	3	2.1			7	6.4	5	10.2	
	学期内	2	1.4	1	0.7	1	0.9	1	2.0	
	〔無回答〕			2	1.5			8	16.3	
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
一つ一つの授業の課題の量に対する評価	非常に多かった	27	19.1	27	19.9	22	20.0	8	16.3	
	少し多かった	70	49.6	72	52.9	60	54.5	13	26.5	
	ちょうど良かった	40	28.4	32	23.5	27	24.5	18	36.7	
	少し少なかった	4	2.8	3	2.2	1	0.9	2	4.1	
	非常に少なかった			1	0.7			3	6.1	
	〔無回答〕			1	0.7			5	10.2	
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
授業全体の課題の量に対する評価	非常に多かった	58	41.1	48	35.3	56	50.9	11	22.4	
	少し多かった	59	41.8	60	44.1	37	33.6	16	32.7	
	ちょうど良かった	22	15.6	22	16.2	16	14.5	12	24.5	
	少し少なかった	2	1.4	4	2.9	1	0.9	2	4.1	
	非常に少なかった			1	0.7			3	6.1	
	〔無回答〕			1	0.7			5	10.2	
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
以下、2020年10月現在のこと										
遠隔授業を受講している媒体【複数回答可】	パソコン	○なし	4	2.8	5	3.7	16	14.5	17	34.7
		○あり	137	97.2	130	95.6	94	85.5	31	63.3
		〔無回答〕			1	0.7			1	2.0
	タブレット端末	○なし	129	91.5	122	89.7	93	84.5	43	87.8
		○あり	12	8.5	13	9.6	17	15.5	5	10.2
		〔無回答〕			1	0.7			1	2.0
	スマホ	○なし	61	43.3	56	41.2	48	43.6	28	57.1
		○あり	80	56.7	79	58.1	62	56.4	20	40.8
		〔無回答〕			1	0.7			1	2.0
	遠隔授業は受講していない	○なし	140	99.3	134	98.5	104	94.5	33	67.3
	○あり	1	0.7	1	0.7	6	5.5	15	30.6	
	〔無回答〕			1	0.7			1	2.0	
その他	○なし	141	100.0	135	99.3	110	100.0	48	98.0	
	○あり									
	〔無回答〕			1	0.7			1	2.0	
		80	100.0	79	100.0	62	100.0	20	100.0	
スマホの通信環境面での支障の有無（スマホを使っていると回答した者限定）	全く問題ない	44	55.0	38	48.1	34	54.8	11	55.0	
	ときどき問題が生じる	33	41.3	37	46.8	25	40.3	8	40.0	
	よく問題が生じる	3	3.8	4	5.1	1	1.6	1	5.0	
	常に問題が生じている					2	3.2			
	（再掲）よく+常に		3.8		5.1		4.8		5.0	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部							
		1部×学年							
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0
パソコンやパソコン周辺機器の所有状況	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	70	49.6	114	83.8	98	89.1	45	91.8
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学年にあわせた購入も含む）	69	48.9	17	12.5	10	9.1	3	6.1
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	1	0.7	2	1.5	2	1.8	1	2.0
タブレット端末	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	39	27.7	31	22.8	40	36.4	13	26.5
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学年にあわせた購入も含む）	3	2.1	7	5.1	3	2.7	2	4.1
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	4	2.8	6	4.4	1	0.9	1	2.0
プリンター	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	75	53.2	73	53.7	59	53.6	31	63.3
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学年にあわせた購入も含む）	20	14.2	19	14.0	7	6.4	2	4.1
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	87	61.7	96	70.6	90	81.8	43	87.8
ウェブカメラ	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	27	19.1	10	7.4	2	1.8		
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学年にあわせた購入も含む）	4	2.8			1	0.9	1	2.0
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	13	9.2	20	14.7	13	11.8	3	6.1
ウェブマイク	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	10	7.1	10	7.4	4	3.6	2	4.1
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学年にあわせた購入も含む）	26	18.4	33	24.3	40	36.4	20	40.8
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	23	16.3	6	4.4	9	8.2		
イヤホン・ヘッドホン	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	1	0.7	3	2.2	3	2.7	1	2.0
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学年にあわせた購入も含む）	71	50.4	74	54.4	49	44.5	25	51.0
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	20	14.2	20	14.7	9	8.2	3	6.1
メモリなどデータ保存機器	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	26	18.4	32	23.5	44	40.0	16	32.7
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学年にあわせた購入も含む）	25	17.7	4	2.9	7	6.4	1	2.0
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	4	2.8	4	2.9	4	3.6	1	2.0
通信環境の整備状況	自宅wifi・有線もモバイルwifiもあり	71	50.4	77	56.6	46	41.8	26	53.1
	自宅wifi・有線のみあり	19	13.5	19	14.0	9	8.2	5	10.2
	モバイルwifiのみあり 〔無回答〕	105	74.5	107	78.7	95	86.4	44	89.8
現在	自宅wifi・有線もモバイルwifiもあり	11	7.8	5	3.7	3	2.7	1	2.0
	自宅wifi・有線のみあり	2	1.4	2	1.5	3	2.7		
	モバイルwifiのみあり 〔無回答〕	13	9.2	9	6.6	5	4.5	2	4.1
遠隔授業が開始されたとき	自宅wifi・有線もモバイルwifiもあり	10	7.1	13	9.6	4	3.6	2	4.1
	自宅wifi・有線のみあり	59	41.8	92	67.6	89	80.9	43	87.8
	モバイルwifiのみあり 〔無回答〕	38	27.0	9	6.6	1	0.9	1	2.0
現在	自宅wifi・有線もモバイルwifiもあり	12	8.5	6	4.4	6	5.5		
	自宅wifi・有線のみあり	21	14.9	14	10.3	9	8.2	4	8.2
	モバイルwifiのみあり 〔無回答〕	11	7.8	15	11.0	5	4.5	1	2.0
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0
遠隔授業が開始されたとき	自宅wifi・有線もモバイルwifiもあり	3	2.1	4	2.9	3	2.7		
	自宅wifi・有線のみあり	135	95.7	121	89.0	100	90.9	45	91.8
	モバイルwifiのみあり 〔無回答〕	3	2.1	8	5.9	5	4.5	3	6.1
現在	自宅wifi・有線もモバイルwifiもあり	3	2.1	3	2.2	2	1.8	1	2.0
	自宅wifi・有線のみあり	5	3.5	4	2.9	4	3.6	2	4.1
	モバイルwifiのみあり 〔無回答〕	136	96.5	121	89.0	100	90.9	44	89.8
				7	5.1	5	4.5	2	4.1
				4	2.9	1	0.9	1	2.0

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部							
		1部×学年							
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0
北海学園大学から支給された支援金「5万円」の用途（最もお金を費やしたものの）	パソコンやパソコン周辺機器	38	27.0	20	14.7	25	22.7	3	6.1
	通信環境整備	7	5.0	5	3.7	1	0.9	1	2.0
	学費	30	21.3	42	30.9	32	29.1	17	34.7
	生活費	20	14.2	25	18.4	14	12.7	9	18.4
	部活・サークル費用	1	0.7						
	就活費用					7	6.4	2	4.1
	貯金	31	22.0	23	16.9	19	17.3	12	24.5
	趣味・遊興費	7	5.0	8	5.9	5	4.5	3	6.1
	その他	7	5.0	12	8.8	6	5.5	1	2.0
	【無回答】			1	0.7	1	0.9	1	2.0
遠隔授業に関する①とくにないあなたの不満や悩み、困っていること【複数回答可】	①とくにない	141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0
	○なし	132	93.6	124	91.2	99	90.0	32	65.3
	○あり	9	6.4	10	7.4	9	8.2	16	32.7
	【無回答】			2	1.5	2	1.8	1	2.0
	②授業内容が十分に理解できない	81	57.4	78	57.4	75	68.2	40	81.6
	○なし	60	42.6	56	41.2	33	30.0	8	16.3
	○あり			2	1.5	2	1.8	1	2.0
	【無回答】								
	③教員とのコミュニケーションがとりにくい	93	66.0	107	78.7	77	70.0	34	69.4
	○なし	48	34.0	27	19.9	31	28.2	14	28.6
	○あり			2	1.5	2	1.8	1	2.0
	【無回答】								
	④評価方法や単位取得に対して不安がある	77	54.6	59	43.4	68	61.8	33	67.3
	○なし	64	45.4	75	55.1	40	36.4	15	30.6
	○あり			2	1.5	2	1.8	1	2.0
	【無回答】								
	⑤遠隔授業のシステムやLMS・アプリの使い方がよく分からない	132	93.6	126	92.6	99	90.0	47	95.9
	○なし	9	6.4	8	5.9	9	8.2	1	2.0
	○あり			2	1.5	2	1.8	1	2.0
	【無回答】								
⑥課題が多い	46	32.6	47	34.6	40	36.4	35	71.4	
○なし	95	67.4	87	64.0	68	61.8	13	26.5	
○あり			2	1.5	2	1.8	1	2.0	
【無回答】									
⑦友達・受講者同士での交流ができない	61	43.3	80	58.8	62	56.4	35	71.4	
○なし	80	56.7	54	39.7	46	41.8	13	26.5	
○あり			2	1.5	2	1.8	1	2.0	
【無回答】									
⑧生活リズムが狂う	95	67.4	87	64.0	80	72.7	42	85.7	
○なし	46	32.6	47	34.6	28	25.5	6	12.2	
○あり			2	1.5	2	1.8	1	2.0	
【無回答】									
⑨身体的・精神的疲労がたまる	81	57.4	77	56.6	69	62.7	40	81.6	
○なし	60	42.6	57	41.9	39	35.5	8	16.3	
○あり			2	1.5	2	1.8	1	2.0	
【無回答】									
⑩遠隔授業を受けるのに適した媒体（パソコンなど）を持っていない	141	100.0	134	98.5	106	96.4	48	98.0	
○なし					2	1.8			
○あり			2	1.5	2	1.8	1	2.0	
【無回答】									
⑪パソコンや、プリンターなど周辺機器の購入費用の負担が大きい	120	85.1	122	89.7	98	89.1	45	91.8	
○なし	21	14.9	12	8.8	10	9.1	3	6.1	
○あり			2	1.5	2	1.8	1	2.0	
【無回答】									
⑫遠隔授業を受講する際の媒体（パソコンなど）の性能が低い	137	97.2	127	93.4	99	90.0	46	93.9	
○なし	4	2.8	7	5.1	9	8.2	2	4.1	
○あり			2	1.5	2	1.8	1	2.0	
【無回答】									
⑬印刷費用の負担が大きい	104	73.8	96	70.6	64	58.2	39	79.6	
○なし	37	26.2	38	27.9	44	40.0	9	18.4	
○あり			2	1.5	2	1.8	1	2.0	
【無回答】									
⑭通信環境が整っていない、通信環境がよくない	132	93.6	122	89.7	98	89.1	47	95.9	
○なし	9	6.4	12	8.8	10	9.1	1	2.0	
○あり			2	1.5	2	1.8	1	2.0	
【無回答】									
⑮通信費用の負担が大きい	137	97.2	120	88.2	103	93.6	44	89.8	
○なし	4	2.8	14	10.3	5	4.5	4	8.2	
○あり			2	1.5	2	1.8	1	2.0	
【無回答】									
⑯受講環境がよくない（集中ができない、周囲がうるさい、周囲に聞か	128	90.8	120	88.2	94	85.5	44	89.8	
○なし	13	9.2	14	10.3	14	12.7	4	8.2	
○あり			2	1.5	2	1.8	1	2.0	
【無回答】									
⑰その他	137	97.2	126	92.6	102	92.7	46	93.9	
○なし	4	2.8	8	5.9	6	5.5	2	4.1	
○あり			2	1.5	2	1.8	1	2.0	
【無回答】									

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部								
		1部×学年								
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
コロナ感染への不安や大学のコロナ対応へのあなたの考え【複数回答可】	①授業・教室内での感染不安がある	○なし	78	55.3	63	46.3	51	46.4	24	49.0
	○あり	50	35.5	65	47.8	49	44.5	24	49.0	
	〔無回答〕	13	9.2	8	5.9	10	9.1	1	2.0	
	②大学構内での感染不安がある	○なし	60	42.6	51	37.5	40	36.4	14	28.6
	○あり	68	48.2	77	56.6	60	54.5	34	69.4	
	〔無回答〕	13	9.2	8	5.9	10	9.1	1	2.0	
	③通学の際に感染する不安がある	○なし	62	44.0	58	42.6	50	45.5	24	49.0
	○あり	66	46.8	70	51.5	50	45.5	24	49.0	
	〔無回答〕	13	9.2	8	5.9	10	9.1	1	2.0	
	④大学の感染対策は不十分だと思う	○なし	88	62.4	104	76.5	79	71.8	40	81.6
	○あり	40	28.4	24	17.6	21	19.1	8	16.3	
	〔無回答〕	13	9.2	8	5.9	10	9.1	1	2.0	
	⑤大学から提供される情報に問題がある（情報内容が明確でない、関連情報がない）	○なし	91	64.5	99	72.8	74	67.3	41	83.7
	○あり	37	26.2	29	21.3	26	23.6	7	14.3	
	〔無回答〕	13	9.2	8	5.9	10	9.1	1	2.0	
	⑥コロナ感染の不安などを大学に訴える機会がない・少ない	○なし	105	74.5	106	77.9	75	68.2	39	79.6
	○あり	23	16.3	22	16.2	25	22.7	9	18.4	
	〔無回答〕	13	9.2	8	5.9	10	9.1	1	2.0	
	⑦その他	○なし	120	85.1	121	89.0	94	85.5	44	89.8
	○あり	8	5.7	7	5.1	6	5.5	4	8.2	
	〔無回答〕	13	9.2	8	5.9	10	9.1	1	2.0	
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
遠隔授業と対面授業に対する総合的な評価	遠隔授業が良かった	17	12.1	28	20.6	23	20.9	14	28.6	
	どちらかといえば遠隔授業が良かった	27	19.1	24	17.6	22	20.0	8	16.3	
	どちらかといえば対面授業が良かった	23	16.3	28	20.6	27	24.5	10	20.4	
	対面授業が良かった	18	12.8	15	11.0	13	11.8	4	8.2	
	どちらの授業にも良い面があった	55	39.0	40	29.4	25	22.7	10	20.4	
	〔無回答〕	1	0.7	1	0.7			3	6.1	
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
各項目における遠隔授業と対面授業の利点の比較	①授業内容の理解度	遠隔授業	20	14.2	22	16.2	14	12.7	7	14.3
	対面授業	81	57.4	73	53.7	59	53.6	24	49.0	
	どちらにも利点がある	40	28.4	40	29.4	36	32.7	17	34.7	
	〔無回答〕			1	0.7	1	0.9	1	2.0	
	②自分のペースで学べる	遠隔授業	125	88.7	117	86.0	94	85.5	36	73.5
	対面授業	6	4.3	9	6.6	3	2.7	2	4.1	
	どちらにも利点がある	10	7.1	8	5.9	13	11.8	10	20.4	
	〔無回答〕			2	1.5			1	2.0	
	③授業に集中できる	遠隔授業	29	20.6	44	32.4	20	18.2	8	16.3
	対面授業	77	54.6	72	52.9	51	46.4	25	51.0	
	どちらにも利点がある	34	24.1	17	12.5	30	27.3	15	30.6	
	〔無回答〕	1	0.7	3	2.2			1	2.0	
	④教員への質問、教員との交流	遠隔授業	6	4.3	11	8.1	8	7.3	6	12.2
	対面授業	108	76.6	107	78.7	74	67.3	34	69.4	
	どちらにも利点がある	23	16.3	16	11.8	27	24.5	8	16.3	
	〔無回答〕	4	2.8	2	1.5	1	0.9	1	2.0	
	⑤受講生や友人との交流	遠隔授業	2	1.4	4	2.9	2	1.8	1	2.0
	対面授業	131	92.9	124	91.2	97	88.2	43	87.8	
	どちらにも利点がある	7	5.0	6	4.4	11	10.0	4	8.2	
	〔無回答〕	1	0.7	2	1.5			1	2.0	
	⑥生活リズムを整えること	遠隔授業	12	8.5	14	10.3	14	12.7	3	6.1
対面授業	105	74.5	105	77.2	73	66.4	31	63.3		
どちらにも利点がある	24	17.0	15	11.0	23	20.9	14	28.6		
〔無回答〕			2	1.5			1	2.0		
⑦時間を有効に活用できること	遠隔授業	95	67.4	97	71.3	86	78.2	37	75.5	
対面授業	28	19.9	20	14.7	6	5.5	3	6.1		
どちらにも利点がある	18	12.8	17	12.5	17	15.5	8	16.3		
〔無回答〕			2	1.5	1	0.9	1	2.0		
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
対面授業を大学が開始したことに対する評価【複数回答可】	適切だと思う	46	32.6	35	25.7	39	35.5	13	26.5	
	やむを得ないと思う	49	34.8	53	39.0	36	32.7	27	55.1	
	問題があると思う	18	12.8	21	15.4	22	20.0	6	12.2	
	判断が難しい・分からない	28	19.9	25	18.4	13	11.8	2	4.1	
	〔無回答〕			2	1.5			1	2.0	
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
対面授業の開講条件である「受講者数が収容定員の3分の1以下」に対する評価	非常に緩い	9	6.4	3	2.2	3	2.7	1	2.0	
	緩い	13	9.2	14	10.3	19	17.3	7	14.3	
	適切である	74	52.5	82	60.3	62	56.4	31	63.3	
	厳しい	15	10.6	12	8.8	9	8.2	2	4.1	
	非常に厳しい	1	0.7	2	1.5	3	2.7			
	分からない	29	20.6	22	16.2	14	12.7	7	14.3	
	〔無回答〕			1	0.7			1	2.0	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部								
		1部×学年								
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
今後の授業の開講形態に対する希望	可能な限り対面授業を望む	38	27.0	34	25.0	29	26.4	9	18.4	
	可能な限り遠隔授業を望む	41	29.1	45	33.1	38	34.5	11	22.4	
	対面と遠隔の併用を望む	42	29.8	43	31.6	35	31.8	23	46.9	
	とくに希望はない	11	7.8	10	7.4	7	6.4	5	10.2	
	分からない	7	5.0	3	2.2	1	0.9			
	〔無回答〕	2	1.4	1	0.7			1	2.0	
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
今年の2月時点でのアルバイト実施状況	していた	24	17.0	106	77.9	95	86.4	38	77.6	
	していなかった	116	82.3	30	22.1	14	12.7	11	22.4	
	〔無回答〕	1	0.7			1	0.9			
		24	100.0	106	100.0	95	100.0	38	100.0	
そのアルバイトの継続状況	継続している	16	66.7	80	75.5	73	76.8	28	73.7	
	やめた	5	20.8	20	18.9	15	15.8	6	15.8	
	継続しているものもあれば、やめたものもある	2	8.3	5	4.7	7	7.4	4	10.5	
	〔無回答〕	1	4.2	1	0.9					
			24	100.0	106	100.0	95	100.0	38	100.0
2020年3月から現在までのアルバイトの「量」に関する経験【複数回答可】	①とくにない	○なし	10	41.7	74	69.8	65	68.4	26	68.4
	○あり	13	54.2	31	29.2	28	29.5	12	31.6	
	〔無回答〕	1	4.2	1	0.9	2	2.1			
	②勤務シフト・労働時間が減った	○なし	16	66.7	58	54.7	46	48.4	20	52.6
	○あり	7	29.2	47	44.3	47	49.5	18	47.4	
	〔無回答〕	1	4.2	1	0.9	2	2.1			
	③勤務シフト・労働時間がゼロになった	○なし	21	87.5	85	80.2	74	77.9	32	84.2
	○あり	2	8.3	20	18.9	19	20.0	6	15.8	
	〔無回答〕	1	4.2	1	0.9	2	2.1			
	④バイト先を解雇された	○なし	23	95.8	104	98.1	90	94.7	35	92.1
	○あり			1	0.9	3	3.2	3	7.9	
	〔無回答〕	1	4.2	1	0.9	2	2.1			
	⑤バイト先が休業した	○なし	21	87.5	67	63.2	66	69.5	27	71.1
	○あり	2	8.3	38	35.8	27	28.4	11	28.9	
	〔無回答〕	1	4.2	1	0.9	2	2.1			
	⑥バイト先が閉店した	○なし	23	95.8	101	95.3	88	92.6	32	84.2
	○あり			4	3.8	5	5.3	6	15.8	
	〔無回答〕	1	4.2	1	0.9	2	2.1			
	⑦コロナ感染予防のためにバイトをやめた	○なし	22	91.7	102	96.2	88	92.6	37	97.4
	○あり	1	4.2	3	2.8	5	5.3	1	2.6	
	〔無回答〕	1	4.2	1	0.9	2	2.1			
	⑧労働条件や人間関係を理由にバイトをやめた	○なし	22	91.7	101	95.3	90	94.7	37	97.4
○あり	1	4.2	4	3.8	3	3.2	1	2.6		
〔無回答〕	1	4.2	1	0.9	2	2.1				
⑨その他の自己都合でバイトをやめた	○なし	22	91.7	98	92.5	87	91.6	35	92.1	
○あり	1	4.2	7	6.6	6	6.3	3	7.9		
〔無回答〕	1	4.2	1	0.9	2	2.1				
⑩バイトのかけもちを始めた	○なし	22	91.7	93	87.7	84	88.4	36	94.7	
○あり	1	4.2	12	11.3	9	9.5	2	5.3		
〔無回答〕	1	4.2	1	0.9	2	2.1				
⑪その他	○なし	22	91.7	101	95.3	92	96.8	36	94.7	
○あり	1	4.2	4	3.8	1	1.1	2	5.3		
〔無回答〕	1	4.2	1	0.9	2	2.1				
		8	100.0	55	100.0	56	100.0	21	100.0	
コロナ禍で勤務シフト・労働時間が減る以前の一週間の労働時間数（勤務シフト・労働時間が「減った」「ゼロになった」者限定）	5時間未満			3	5.5	5	8.9			
	5～10時間未満			4	7.3	3	5.4	4	19.0	
	10～15時間未満			9	16.4	9	16.1	3	14.3	
	15～20時間未満	3	37.5	17	30.9	15	26.8	8	38.1	
	20～25時間未満	1	12.5	12	21.8	8	14.3	3	14.3	
	25～30時間未満	1	12.5	5	9.1	5	8.9	1	4.8	
	30～35時間未満			3	5.5	5	8.9	2	9.5	
	35時間以上	1	12.5	2	3.6	4	7.1			
	〔無回答〕	2	25.0			2	3.6			
	(再掲) 15時間未満			29.1		30.4		33.3		
			8	100.0	55	100.0	56	100.0	21	100.0
勤務シフト・労働時間数が最も減った状況(同上)	ゼロになった	3	37.5	24	43.6	23	41.1	13	61.9	
	1～5時間未満			7	12.7	8	14.3	1	4.8	
	5～10時間未満	1	12.5	12	21.8	10	17.9	5	23.8	
	10～15時間未満	2	25.0	8	14.5	10	17.9	2	9.5	
	15～20時間未満			2	3.6	2	3.6			
	20～25時間未満					1	1.8			
	25～30時間未満									
	30～35時間未満			1	1.8					
	35時間以上			1	1.8	1	1.8			
	〔無回答〕	2	25.0			1	1.8			
	(再掲) 15時間未満		75.0	92.7		91.1		100.0		

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部								
		1部×学年								
		8	100.0	55	100.0	56	100.0	21	100.0	
勤務シフト・労働時間が減ったことに対する休業手当の支給状況（同上）	全ての月に支給された			25	45.5	16	28.6	2	9.5	
	支給された月もあれば支給されなかった月もある	3	37.5	8	14.5	12	21.4	4	19.0	
	全く支給されなかった	3	37.5	20	36.4	27	48.2	14	66.7	
	分からない			2	3.6			1	4.8	
	〔無回答〕	2	25.0			1	1.8			
		3	100.0	33	100.0	28	100.0	6	100.0	
休業手当の支給割合（休業手当が支給された者限定）	全額・ほぼ全額が支給された			7	21.2	4	14.3	2	33.3	
	7.8割が支給された			7	21.2	8	28.6	2	33.3	
	5.6割が支給された			8	24.2	11	39.3	1	16.7	
	3.4割が支給された	1	33.3	6	18.2	1	3.6	1	16.7	
	1.2割が支給された	2	66.7	5	15.2	4	14.3			
		8	100.0	55	100.0	56	100.0	21	100.0	
勤務シフト・労働時間が減ったりなくなったことで困った経験・状況の有無【複数回答可】	①収入は減ったが、とくに困りはしなかった	○なし	5	62.5	32	58.2	36	64.3	14	66.7
	○あり	1	12.5	21	38.2	17	30.4	7	33.3	
	〔無回答〕	2	25.0	2	3.6	3	5.4			
	②遊興費や趣味に使えるお金が減って困った	○なし	3	37.5	28	50.9	25	44.6	9	42.9
	○あり	3	37.5	25	45.5	28	50.0	12	57.1	
	〔無回答〕	2	25.0	2	3.6	3	5.4			
	③生活に必要なお金が減って困った	○なし	3	37.5	44	80.0	34	60.7	14	66.7
	○あり	3	37.5	9	16.4	19	33.9	7	33.3	
	〔無回答〕	2	25.0	2	3.6	3	5.4			
	④教科書代や通学に必要なお金が減って困った	○なし	5	62.5	44	80.0	41	73.2	17	81.0
	○あり	1	12.5	9	16.4	12	21.4	4	19.0	
	〔無回答〕	2	25.0	2	3.6	3	5.4			
	⑤授業料の支払いが困難になり困った	○なし	5	62.5	48	87.3	49	87.5	18	85.7
	○あり	1	12.5	5	9.1	4	7.1	3	14.3	
	〔無回答〕	2	25.0	2	3.6	3	5.4			
	⑥その他	○なし	6	75.0	52	94.5	52	92.9	21	100.0
	○あり			1	1.8	1	1.8			
	〔無回答〕	2	25.0	2	3.6	3	5.4			
			141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0
	現在のアルバイト実施状況【複数回答可】	①固定的なアルバイトを1つのみしている	○なし	60	42.6	53	39.0	37	33.6	19
○あり		74	52.5	81	59.6	70	63.6	28	57.1	
〔無回答〕		7	5.0	2	1.5	3	2.7	2	4.1	
②固定的なアルバイトをかけもちでしている		○なし	130	92.2	115	84.6	93	84.5	41	83.7
○あり		4	2.8	19	14.0	14	12.7	6	12.2	
〔無回答〕		7	5.0	2	1.5	3	2.7	2	4.1	
③単発的なアルバイトをしている		○なし	128	90.8	123	90.4	100	90.9	44	89.8
○あり		6	4.3	11	8.1	7	6.4	3	6.1	
〔無回答〕		7	5.0	2	1.5	3	2.7	2	4.1	
④アルバイトをしているが、追加・かけもちのバイト探している		○なし	129	91.5	126	92.6	99	90.0	44	89.8
○あり		5	3.5	8	5.9	8	7.3	3	6.1	
〔無回答〕		7	5.0	2	1.5	3	2.7	2	4.1	
⑤アルバイトをしていないが、探している	○なし	104	73.8	112	82.4	99	90.0	43	87.8	
○あり	30	21.3	22	16.2	8	7.3	4	8.2		
〔無回答〕	7	5.0	2	1.5	3	2.7	2	4.1		
⑥アルバイトをしておらず、さがしてもいない	○なし	114	80.9	130	95.6	97	88.2	41	83.7	
○あり	20	14.2	4	2.9	10	9.1	6	12.2		
〔無回答〕	7	5.0	2	1.5	3	2.7	2	4.1		
		84	100.0	108	100.0	89	100.0	37	100.0	
現在のアルバイトの勤続期間	働き始めたばかり	12	14.3	4	3.7	1	1.1	3	8.1	
	1.2か月	19	22.6	2	1.9	4	4.5	2	5.4	
	3～6か月未満	22	26.2	12	11.1	3	3.4	3	8.1	
	6か月～1年未満	21	25.0	15	13.9	7	7.9	1	2.7	
	1～2年未満	2	2.4	66	61.1	25	28.1	7	18.9	
	2～3年未満	3	3.6	2	1.9	32	36.0	15	40.5	
	3年以上	2	2.4	3	2.8	12	13.5	6	16.2	
	〔無回答〕	3	3.6	4	3.7	5	5.6			

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部							
		1部×学年							
		77	100.0	108	100.0	88	100.0	36	100.0
先月（2020年9月）の1週間の労働時間数	5時間未満	6	7.8	10	9.3	10	11.4	6	16.7
	5～10時間未満	5	6.5	12	11.1	8	9.1	2	5.6
	10～15時間未満	29	37.7	18	16.7	27	30.7	9	25.0
	15～20時間未満	19	24.7	34	31.5	20	22.7	5	13.9
	20～25時間未満	11	14.3	16	14.8	4	4.5	7	19.4
	25～30時間未満	1	1.3	8	7.4	4	4.5	4	11.1
	30～35時間未満	2	2.6			6	6.8	1	2.8
	35時間以上	2	2.6	5	4.6	7	8.0	2	5.6
	〔無回答〕	2	2.6	5	4.6	2	2.3		
(再掲) 15時間以上		45.5		58.3		46.6		52.8	
		77	100.0	108	100.0	88	100.0	36	100.0
先月（2020年9月）の1か月の給料	1万円未満	2	2.6	4	3.7	7	8.0	5	13.9
	1万円台	3	3.9	2	1.9	1	1.1	1	2.8
	2万円台	7	9.1	5	4.6	6	6.8	2	5.6
	3万円台	7	9.1	4	3.7	5	5.7	1	2.8
	4万円台	9	11.7	14	13.0	14	15.9	1	2.8
	5万円台	8	10.4	14	13.0	11	12.5	9	25.0
	6万円台	12	15.6	13	12.0	11	12.5	5	13.9
	7万円台	10	13.0	22	20.4	8	9.1	1	2.8
	8万円台	3	3.9	10	9.3	10	11.4	2	5.6
	9万円台	5	6.5	2	1.9	4	4.5	1	2.8
	10万円台	5	6.5	5	4.6	5	5.7	3	8.3
	11,12万円台			4	3.7	2	2.3	4	11.1
	13,14万円台			3	2.8	1	1.1	1	2.8
	15万円以上	1	1.3	2	1.9	1	1.1		
〔無回答〕	5	6.5	4	3.7	2	2.3			
(再掲) 8万円以上		18.2		24.1		26.1		30.6	
		84	100.0	108	100.0	89	100.0	37	100.0
アルバイト代①趣味娯楽・交際費・飲の使い道【複食代数回答可】	○なし	6	7.1	10	9.3	12	13.5	4	10.8
	○あり	76	90.5	96	88.9	76	85.4	33	89.2
	〔無回答〕	2	2.4	2	1.9	1	1.1		
②部活やサークル代	○なし	63	75.0	83	76.9	70	78.7	32	86.5
	○あり	19	22.6	23	21.3	18	20.2	5	13.5
	〔無回答〕	2	2.4	2	1.9	1	1.1		
③授業料	○なし	70	83.3	80	74.1	72	80.9	29	78.4
	○あり	12	14.3	26	24.1	16	18.0	8	21.6
	〔無回答〕	2	2.4	2	1.9	1	1.1		
④教材費・書籍代	○なし	64	76.2	70	64.8	54	60.7	27	73.0
	○あり	18	21.4	36	33.3	34	38.2	10	27.0
	〔無回答〕	2	2.4	2	1.9	1	1.1		
⑤通学費	○なし	59	70.2	55	50.9	50	56.2	28	75.7
	○あり	23	27.4	51	47.2	38	42.7	9	24.3
	〔無回答〕	2	2.4	2	1.9	1	1.1		
⑥生活費	○なし	62	73.8	67	62.0	55	61.8	17	45.9
	○あり	20	23.8	39	36.1	33	37.1	20	54.1
	〔無回答〕	2	2.4	2	1.9	1	1.1		
⑦就職活動費用	○なし	80	95.2	93	86.1	55	61.8	26	70.3
	○あり	2	2.4	13	12.0	33	37.1	11	29.7
	〔無回答〕	2	2.4	2	1.9	1	1.1		
⑧資格取得費用	○なし	77	91.7	81	75.0	63	70.8	32	86.5
	○あり	5	6.0	25	23.1	25	28.1	5	13.5
	〔無回答〕	2	2.4	2	1.9	1	1.1		
⑨自動車学校	○なし	71	84.5	92	85.2	76	85.4	35	94.6
	○あり	11	13.1	14	13.0	12	13.5	2	5.4
	〔無回答〕	2	2.4	2	1.9	1	1.1		
⑩貯金	○なし	23	27.4	39	36.1	26	29.2	11	29.7
	○あり	59	70.2	67	62.0	62	69.7	26	70.3
	〔無回答〕	2	2.4	2	1.9	1	1.1		
⑪その他	○なし	81	96.4	106	98.1	87	97.8	36	97.3
	○あり	1	1.2			1	1.1	1	2.7
	〔無回答〕	2	2.4	2	1.9	1	1.1		
		84	100.0	108	100.0	89	100.0	37	100.0
アルバイトをする理由（二区分）	遊び・趣味等に使うお金を稼ぐため	28	33.3	26	24.1	19	21.3	8	21.6
	どちらかといえば遊び・趣味等に使うお金を稼ぐため	23	27.4	36	33.3	28	31.5	13	35.1
	どちらかといえば学費・生活費等を稼ぐため	8	9.5	12	11.1	16	18.0	5	13.5
	学費・生活費等を稼ぐため	7	8.3	10	9.3	10	11.2	5	13.5
	どちらも半々	16	19.0	20	18.5	15	16.9	6	16.2
	〔無回答〕	2	2.4	4	3.7	1	1.1		
(再掲) 学費・生活費等+半々		36.9		38.9		46.1		43.2	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部								
		1部×学年								
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
学費負担・学費の原資【複数回答可】	①親の収入	○なし	10	7.1	19	14.0	23	20.9	12	24.5
		○あり	131	92.9	117	86.0	87	79.1	37	75.5
	②祖父母の収入	○なし	133	94.3	128	94.1	107	97.3	47	95.9
		○あり	8	5.7	8	5.9	3	2.7	2	4.1
	③自分自身のアルバイト収入	○なし	132	93.6	108	79.4	90	81.8	39	79.6
		○あり	9	6.4	28	20.6	20	18.2	10	20.4
	④奨学金	○なし	71	50.4	78	57.4	60	54.5	29	59.2
		○あり	70	49.6	58	42.6	50	45.5	20	40.8
	⑤その他	○なし	140	99.3	135	99.3	108	98.2	48	98.0
		○あり	1	0.7	1	0.7	2	1.8	1	2.0
主な学費負担者・学費の原資	親の収入	141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
	祖父母の収入	105	74.5	96	70.6	73	66.4	34	69.4	
	自分自身のアルバイト収入	4	2.8	4	2.9	1	0.9	2	4.1	
	奨学金	31	22.0	29	21.3	34	30.9	11	22.4	
	その他	1	0.7	2	1.5	1	0.9	1	2.0	
高等教育の修学支援新制度の利用状況	利用していない	141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
	利用している（区分は、第Ⅰ区分・住民税非課税世帯）	102	72.3	123	90.4	86	78.2	42	85.7	
	利用している（区分は、第Ⅱ区分）	10	7.1	5	3.7	8	7.3	5	10.2	
	利用している（区分は、第Ⅲ区分）	9	6.4	2	1.5	8	7.3	1	2.0	
	利用している（区分は、分らない）	1	0.7			3	2.7	1	2.0	
	利用している（区分は、分らない）【無回答】	17	12.1	5	3.7	5	4.5			
	（再掲）利用している計	2	1.4	1	0.7					
		26.2		8.8		21.8		14.3		
給付型奨学金の利用状況【複数回答可】	①とくに給付は受けていない	○なし	141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0
		○あり	37	26.2	21	15.4	30	27.3	11	22.4
		【無回答】	104	73.8	112	82.4	79	71.8	38	77.6
	②北海学園奨学金	○なし			3	2.2	1	0.9		
		○あり	129	91.5	123	90.4	100	90.9	47	95.9
		【無回答】	12	8.5	10	7.4	9	8.2	2	4.1
	③自治体の奨学金	○なし			3	2.2	1	0.9		
		○あり	139	98.6	131	96.3	109	99.1	48	98.0
		【無回答】	2	1.4	2	1.5			1	2.0
	④民間団体の奨学金	○なし			3	2.2	1	0.9		
		○あり	141	100.0	133	97.8	109	99.1	49	100.0
		【無回答】								
	⑤日本学生支援機構の「旧来型」の給付型奨学金（修学支援新制度移行）	○なし			3	2.2	1	0.9		
		○あり	124	87.9	127	93.4	102	92.7	45	91.8
	【無回答】	17	12.1	6	4.4	7	6.4	4	8.2	
⑥修学支援新制度の給付型奨学金	○なし			3	2.2	1	0.9			
	○あり	130	92.2	128	94.1	95	86.4	44	89.8	
	【無回答】	11	7.8	5	3.7	14	12.7	5	10.2	
⑦その他	○なし			3	2.2	1	0.9			
	○あり	141	100.0	133	97.8	109	99.1	49	100.0	
	【無回答】			3	2.2	1	0.9			
日本学生支援機構による貸与型奨学金の利用状況	利用していない	141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
	利用している（第一種のみを利用している）	75	53.2	78	57.4	60	54.5	29	59.2	
	利用している（第二種のみを利用している）	18	12.8	20	14.7	17	15.5	7	14.3	
	利用している（第一種と第二種を併用している）	23	16.3	17	12.5	18	16.4	13	26.5	
	利用しているが、内容が分からない	12	8.5	10	7.4	13	11.8			
	【無回答】	11	7.8	11	8.1	2	1.8			
	2	1.4								

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部							
		1部×学年							
		30	100.0	30	100.0	30	100.0	7	100.0
第一種奨学金の利用月額（第一種奨学金利用者に限定）	2万円	3	10.0	2	6.7	2	6.7		
	3万円	3	10.0	3	10.0	3	10.0		
	4万円	5	16.7	3	10.0	2	6.7		
	5万円	6	20.0	6	20.0	7	23.3	4	57.1
	5.4万円	4	13.3	6	20.0	5	16.7	2	28.6
	6.4万円	2	6.7	5	16.7	4	13.3	1	14.3
	金額は分からない 【無回答】	7	23.3	3	10.0	6	20.0		
第二種奨学金の利用月額（第二種奨学金利用者に限定）	2万円			1	3.7	2	6.5		
	3万円	8	21.6	1	3.7	4	12.9	2	14.3
	4万円	2	5.4	6	22.2				
	5万円	8	21.6	4	14.8	4	12.9	3	21.4
	6万円	3	8.1	3	11.1	1	3.2		
	7万円	2	5.4	1	3.7	1	3.2		
	8万円	2	5.4	5	18.5	3	9.7	3	21.4
	9万円	1	2.7	1	3.7	2	6.5		
	10万円	3	8.1	1	3.7	7	22.6	4	28.6
	11万円	1	2.7					1	7.1
	12万円	2	5.4	2	7.4	2	6.5	1	7.1
	金額は分からない 【無回答】	5	13.5			4	12.9		
	第一種奨学金と第二種奨学金の合計	2万円台	1	2.2	2	4.7	3	7.7	
3万円台		8	17.4	4	9.3	3	7.7	2	9.5
4万円台		4	8.7	6	14.0	1	2.6		
5万円台		12	26.1	11	25.6	11	28.2	9	42.9
6万円台		6	13.0	5	11.6	1	2.6	1	4.8
7万円台		2	4.3			1	2.6		
8万円台		4	8.7	4	9.3	5	12.8	3	14.3
9万円台		2	4.3	1	2.3	1	2.6		
10万円台		2	4.3	5	11.6	8	20.5	4	19.0
11,12万円台 それ以上		3	6.5	5	11.6	5	12.8	2	9.5
			(再掲) 8万円以上	28.3	34.9	48.7	42.9		
就職・進路に対する不安の有無	非常にある	72	51.1	84	61.8	76	69.1	15	30.6
	ある	60	42.6	43	31.6	31	28.2	13	26.5
	あまりない	6	4.3	6	4.4	1	0.9	14	28.6
	全くない	1	0.7	1	0.7	1	0.9	7	14.3
	分からない 【無回答】	2	1.4	1	0.7	1	0.9		
就職活動で困ったことやハラスメント的な対応の経験の有無（4年生に限定）【複数回答可】	①とくにない	○なし							
		○あり							
		【無回答】							
	②説明会がキャンセルになった	○なし							
		○あり							
		【無回答】							
	③面接がキャンセルになった	○なし							
		○あり							
		【無回答】							
	④希望する就職先の採用が減った	○なし							
		○あり							
	【無回答】								
⑤遠隔対応の勝手が分からずに苦労した	○なし								
	○あり								
	【無回答】								
⑥内定が取り消された	○なし								
	○あり								
	【無回答】								
⑦内定がまだとれていない	○なし								
	○あり								
	【無回答】								
⑧性的な質問や嫌がらせをされた（セクハラ）	○なし								
	○あり								
	【無回答】								
⑨内定と引き替えに就職活動をやめるよう言われた（オウハラ）	○なし								
	○あり								
	【無回答】								
⑩無用に高圧的な発言をされたり態度をとられた（パワハラ）	○なし								
	○あり								
	【無回答】								
⑪その他	○なし								
	○あり								
	【無回答】								

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部										
		1部×学年										
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0			
コロナ禍における生活費用の増減	大きく増えた	5	3.5	4	2.9	5	4.5					
	増えた	35	24.8	38	27.9	31	28.2	13	26.5			
	とくに変わらない	83	58.9	73	53.7	55	50.0	25	51.0			
	減った	13	9.2	15	11.0	17	15.5	10	20.4			
	大きく減った	2	1.4	4	2.9	2	1.8	1	2.0			
	〔無回答〕	3	2.1	2	1.5							
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0			
経済的な状況①とくにない や心身の状況 【複数回答 可】	○なし	122	86.5	114	83.8	79	71.8	30	61.2			
	○あり	18	12.8	21	15.4	31	28.2	19	38.8			
	〔無回答〕	1	0.7	1	0.7							
	②学費の支払いが困難に なっている	○なし	135	95.7	119	87.5	107	97.3	42	85.7		
	○あり	5	3.5	16	11.8	3	2.7	7	14.3			
	〔無回答〕	1	0.7	1	0.7							
	③生活費を稼ぐのに大変 である	○なし	128	90.8	117	86.0	96	87.3	39	79.6		
	○あり	12	8.5	18	13.2	14	12.7	10	20.4			
	〔無回答〕	1	0.7	1	0.7							
	④大学で友人ができない	○なし	49	34.8	102	75.0	100	90.9	46	93.9		
	○あり	91	64.5	33	24.3	10	9.1	3	6.1			
	〔無回答〕	1	0.7	1	0.7							
	⑤サークル活動や部活動 に入り損ねた	○なし	86	61.0	127	93.4	108	98.2	49	100.0		
	○あり	54	38.3	8	5.9	2	1.8					
	〔無回答〕	1	0.7	1	0.7							
	⑥サークル活動や部活動 が制約を受けており不満	○なし	118	83.7	107	78.7	86	78.2	46	93.9		
	○あり	22	15.6	28	20.6	24	21.8	3	6.1			
	〔無回答〕	1	0.7	1	0.7							
	⑦目標を見失った	○なし	115	81.6	114	83.8	93	84.5	45	91.8		
	○あり	25	17.7	21	15.4	17	15.5	4	8.2			
	〔無回答〕	1	0.7	1	0.7							
	⑧気がわからない	○なし	83	58.9	84	61.8	64	58.2	43	87.8		
	○あり	57	40.4	51	37.5	46	41.8	6	12.2			
	〔無回答〕	1	0.7	1	0.7							
⑨体調がすぐれない	○なし	122	86.5	118	86.8	94	85.5	44	89.8			
○あり	18	12.8	17	12.5	16	14.5	5	10.2				
〔無回答〕	1	0.7	1	0.7								
⑩生活リズムが乱れてい る	○なし	73	51.8	66	48.5	70	63.6	38	77.6			
○あり	67	47.5	69	50.7	40	36.4	11	22.4				
〔無回答〕	1	0.7	1	0.7								
⑪大学生活がつまらない	○なし	89	63.1	87	64.0	83	75.5	44	89.8			
○あり	51	36.2	48	35.3	27	24.5	5	10.2				
〔無回答〕	1	0.7	1	0.7								
⑫その他	○なし	138	97.9	135	99.3	109	99.1	48	98.0			
○あり	2	1.4			1	0.9	1	2.0				
〔無回答〕	1	0.7	1	0.7								
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0			
休学や退学を考えたり検討することの 有無	とくにない	111	78.7	113	83.1	97	88.2	46	93.9			
	漠然とながらも考えることがある	24	17.0	18	13.2	10	9.1					
	真剣に検討している	4	2.8			2	1.8	1	2.0			
	その他	1	0.7	2	1.5	1	0.9	2	4.1			
	〔無回答〕	1	0.7	3	2.2							
	(再掲) 漠然と+真剣に		19.9		13.2		10.9		2.0			
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0			
親など学費負担者の就労収入の変化	コロナの影響で仕事・収入が減った	29	20.6	29	21.3	25	22.7	10	20.4			
	コロナの影響ではないが、仕事・収入 が減った	6	4.3	8	5.9	10	9.1	5	10.2			
	今はまだ影響はないが、これから仕 事・収入が減るおそれがある	24	17.0	17	12.5	9	8.2	9	18.4			
	コロナの影響はとくにない	78	55.3	78	57.4	64	58.2	24	49.0			
	その他	4	2.8	2	1.5	2	1.8					
	〔無回答〕			2	1.5			1	2.0			
(再掲) 減った計		24.8		27.2		31.8		30.6				
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0			
あなたの現在の経済的な暮らしの状況	大変ゆとりがある	10	7.1	11	8.1	2	1.8	4	8.2			
	ややゆとりがある	21	14.9	24	17.6	15	13.6	9	18.4			
	普通	84	59.6	64	47.1	64	58.2	22	44.9			
	やや苦しい	19	13.5	30	22.1	20	18.2	13	26.5			
	大変苦しい	7	5.0	6	4.4	9	8.2	1	2.0			
	〔無回答〕			1	0.7							
	(再掲) 苦しい計		18.4		26.5		26.4		28.6			

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		所属の部								
		1部×学年								
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
奨学金やアルバイト収入がなかった場合、学費負担者からの支出だけで修学は可能か	十分に可能である	68	48.2	70	51.5	50	45.5	29	59.2	
	修学は不自由になる	36	25.5	29	21.3	24	21.8	7	14.3	
	修学の継続は困難になる	35	24.8	35	25.7	35	31.8	13	26.5	
	〔無回答〕	2	1.4	2	1.5	1	0.9			
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
遠隔授業が中心であったの に対して授業料負担が例年通りであったことへの評価 【複数回答可】	①非常に納得ができない	○なし	85	60.3	64	47.1	59	53.6	29	59.2
	○あり	56	39.7	71	52.2	51	46.4	19	38.8	
	〔無回答〕			1	0.7			1	2.0	
	②納得ができない	○なし	95	67.4	86	63.2	72	65.5	34	69.4
	○あり	46	32.6	49	36.0	38	34.5	14	28.6	
	〔無回答〕			1	0.7			1	2.0	
	③仕方がない	○なし	103	73.0	115	84.6	86	78.2	33	67.3
	○あり	38	27.0	20	14.7	24	21.8	15	30.6	
	〔無回答〕			1	0.7			1	2.0	
	④分からない	○なし	134	95.0	128	94.1	106	96.4	45	91.8
	○あり	7	5.0	7	5.1	4	3.6	3	6.1	
	〔無回答〕			1	0.7			1	2.0	
	⑤その他	○なし	137	97.2	132	97.1	104	94.5	46	93.9
	○あり	4	2.8	3	2.2	6	5.5	2	4.1	
	〔無回答〕			1	0.7			1	2.0	
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
学費の減免を国に求める学生たちの動きに対する評価	強く賛同する	62	44.0	81	59.6	52	47.3	20	40.8	
	賛同する	55	39.0	43	31.6	37	33.6	23	46.9	
	あまり賛同しない	3	2.1	3	2.2	10	9.1	3	6.1	
	まったく賛同しない	3	2.1			1	0.9			
	分からない	17	12.1	8	5.9	10	9.1	3	6.1	
	〔無回答〕	1	0.7	1	0.7					
		83.0	91.2	80.9	87.8					
		141	100.0	136	100.0	110	100.0	49	100.0	
学費のことなどを勉強する機会が学内で設けられた場合の参加の意向	参加する	15	10.6	21	15.4	15	13.6	4	8.2	
	おそらく参加する	47	33.3	59	43.4	32	29.1	18	36.7	
	おそらく参加しない	41	29.1	33	24.3	35	31.8	14	28.6	
	参加しない	11	7.8	8	5.9	12	10.9	4	8.2	
	分からない	27	19.1	14	10.3	14	12.7	9	18.4	
	〔無回答〕			1	0.7	2	1.8			
		44.0	58.8	42.7	44.9					

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		×学年別							
		2部×学年							
		1年		2年		3年		4年	
		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
所属の部	1部								
	2部	53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
学年	1年生	53	100.0						
	2年生			55	100.0				
	3年生					42	100.0		
	4年生							23	100.0
所属学部		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
	経済学部	18	34.0	14	25.5	19	45.2	8	34.8
	経営学部	8	15.1	19	34.5	5	11.9	4	17.4
	法学部	20	37.7	12	21.8	6	14.3	9	39.1
	人文学部	6	11.3	10	18.2	12	28.6	2	8.7
	工学部	1	1.9						
	〔無回答〕								
性別		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
	男性	26	49.1	34	61.8	24	57.1	12	52.2
	女性	27	50.9	20	36.4	18	42.9	11	47.8
	〔無回答〕			1	1.8				
住まい		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
	実家・親元	35	66.0	30	54.5	25	59.5	10	43.5
	「実家・親元」以外	18	34.0	25	45.5	17	40.5	13	56.5
	〔無回答〕								
今年の前期の履修コマ数		37	100.0	44	100.0	36	100.0	16	100.0
	5コマ以下	4	10.8			1	2.8	10	62.5
	6～8コマ			1	2.3	1	2.8	1	6.3
	9,10コマ			4	9.1	4	11.1	1	6.3
	11,12コマ	17	45.9	21	47.7	20	55.6	2	12.5
	13,14コマ	8	21.6	8	18.2	4	11.1		
	15,16コマ			2	4.5				
それ以上	8	21.6	8	18.2	6	16.7	2	12.5	
	〔無回答〕								
そのうち対面で開講された授業・ゼミ等のコマ数（6月22日以降）		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
	1コマ	23	43.4	20	36.4	11	26.2	13	56.5
	2コマ	10	18.9	5	9.1	13	31.0	3	13.0
	3コマ	7	13.2	10	18.2	5	11.9	3	13.0
	4コマ	5	9.4	2	3.6	2	4.8	1	4.3
	5コマ	3	5.7	2	3.6	4	9.5		
	それ以上	4	7.5	6	10.9	4	9.5	1	4.3
	〔無回答〕	1	1.9	10	18.2	3	7.1	2	8.7
	〔無回答〕								
対面再開「以 前（6月22日 より前）」で 経験した授業 の開講形態 【複数回答 可】	①ライブ・リアルタイム配信型	6	11.3	14	25.5	15	35.7	15	65.2
	○あり	47	88.7	41	74.5	27	64.3	8	34.8
		〔無回答〕							
	②オンデマンド配信型（録画した授業動画の配信）	2	3.8	3	5.5	6	14.3	5	21.7
	○あり	51	96.2	52	94.5	36	85.7	18	78.3
		〔無回答〕							
	③動画はなく音声付きのテキスト教材配信型	13	24.5	8	14.5	14	33.3	16	69.6
	○あり	40	75.5	47	85.5	28	66.7	7	30.4
		〔無回答〕							
	④動画はなく音声もないテキスト教材配信型	8	15.1	6	10.9	5	11.9	12	52.2
	○あり	45	84.9	49	89.1	37	88.1	11	47.8
		〔無回答〕							
⑤遠隔授業は受講していない	53	100.0	55	100.0	42	100.0	22	95.7	
○あり							1	4.3	
	〔無回答〕								
⑥その他	53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0	
○あり									
	〔無回答〕								
そのうち最多の開講形態		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
	ライブ・リアルタイム配信型	3	5.7					4	17.4
	オンデマンド配信型（録画した授業動画の配信）	36	67.9	26	47.3	14	33.3	12	52.2
	動画はなく音声付きのテキスト教材配信型			12	21.8	7	16.7	1	4.3
	動画はなく音声もないテキスト教材配信型	13	24.5	16	29.1	21	50.0	5	21.7
	遠隔授業は受講していない			1	1.8			1	4.3
	〔無回答〕	1	1.9						

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

	×学年別									
					2部×学年					
	53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0		
対面再開「以 後（6月22日 以後）」で終 験した授業の 開講形態【複 数回答可】	①ライブ・リアルタイム 配信型	○なし	30	56.6	19	34.5	22	52.4	17	73.9
		○あり	23	43.4	36	65.5	20	47.6	6	26.1
		〔無回答〕								
	②オンデマンド配信型 （録画した授業動画の配 信）	○なし	2	3.8	3	5.5	7	16.7	7	30.4
		○あり	51	96.2	52	94.5	35	83.3	16	69.6
		〔無回答〕								
③動画はなく音声付きの テキスト教材配信型	○なし	13	24.5	10	18.2	11	26.2	15	65.2	
	○あり	40	75.5	45	81.8	31	73.8	8	34.8	
	〔無回答〕									
④動画はなく音声もない テキスト教材配信型	○なし	10	18.9	10	18.2	4	9.5	12	52.2	
	○あり	43	81.1	45	81.8	38	90.5	11	47.8	
	〔無回答〕									
⑤遠隔授業は受講してい ない	○なし	53	100.0	54	98.2	42	100.0	20	87.0	
	○あり			1	1.8			3	13.0	
	〔無回答〕									
⑥その他	○なし	53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0	
	○あり									
	〔無回答〕									
そのうち最多の開講形態	ライブ・リアルタイム配信型	1	1.9					2	8.7	
	オンデマンド配信型（録画した授業動 画の配信）	39	73.6	32	58.2	15	35.7	11	47.8	
	動画はなく音声付きのテキスト教材配 信型	1	1.9	9	16.4	8	19.0	1	4.3	
	動画はなく音声もないテキスト教材配 信型	12	22.6	13	23.6	19	45.2	6	26.1	
	遠隔授業は受講していない			1	1.8			3	13.0	
	〔無回答〕									
授業や課題に要した時間の長さ（最も 長く時間を要した日の時間数）	全くしていない			1	1.8			4	17.4	
	1時間未満			3	5.5	4	9.5	3	13.0	
	1,2時間	3	5.7	6	10.9	6	14.3	4	17.4	
	2,3時間	7	13.2	10	18.2	6	14.3	6	26.1	
	3,4時間	11	20.8	13	23.6	6	14.3	1	4.3	
	4,5時間	7	13.2	8	14.5	10	23.8	1	4.3	
	5,6時間	10	18.9	5	9.1	3	7.1			
	6,7時間	3	5.7	5	9.1	1	2.4	2	8.7	
	7,8時間	2	3.8	2	3.6	3	7.1			
	8,9時間	2	3.8	1	1.8					
	9,10時間	5	9.4			1	2.4			
	それ以上	3	5.7	1	1.8	2	4.8	1	4.3	
	〔無回答〕							1	4.3	
	(再掲) 「5,6時間」以上		47.2		25.5		23.8		13.0	
	授業や課題に要した時間の長さ（最も よくあるパターンの時間数）	全くしていない	1	1.9	3	5.5			5	21.7
1時間未満		6	11.3	13	23.6	13	31.0	9	39.1	
1,2時間		19	35.8	16	29.1	16	38.1	6	26.1	
2,3時間		15	28.3	13	23.6	8	19.0	1	4.3	
3,4時間		5	9.4	5	9.1	3	7.1	1	4.3	
4,5時間		4	7.5	1	1.8	1	2.4	1	4.3	
5,6時間				2	3.6	1	2.4			
6,7時間		1	1.9	1	1.8					
7,8時間										
8,9時間										
9,10時間		1	1.9							
それ以上										
〔無回答〕		1	1.9	1	1.8					
(再掲) 「5,6時間」以上			3.8		5.5		2.4			
前期に受講した授業のうちの単位取得 割合		全て取得できた	33	62.3	23	41.8	18	42.9	9	39.1
	9割程度	10	18.9	17	30.9	8	19.0	6	26.1	
	7,8割程度	5	9.4	8	14.5	7	16.7	3	13.0	
	5,6割程度	1	1.9	5	9.1			2	8.7	
	それ以下	4	7.5	2	3.6	9	21.4	2	8.7	
	〔無回答〕							1	4.3	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		×学年別							
		2部×学年							
		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
前期授業での課題が出された授業の量・数（6月22日以降）	全て・ほぼ全ての授業で出された	35	66.0	28	50.9	24	57.1	9	39.1
	多くの授業で出された	17	32.1	24	43.6	14	33.3	12	52.2
	多くの授業で出されなかった	1	1.9	2	3.6	4	9.5	1	4.3
	全て・ほぼ全ての授業で出されなかった			1	1.8			1	4.3
	〔無回答〕								
同じく、各授業での課題が出された頻度（最もよくあったパターン）	毎回・ほぼ毎回出された	42	79.2	46	83.6	35	83.3	14	60.9
	2,3回に一度	9	17.0	5	9.1	6	14.3	4	17.4
	4,5回に一度	2	3.8	2	3.6	1	2.4	4	17.4
	5~10回に一度			1	1.8				
	それ以上の頻度で一度			1	1.8				
	課題は出されなかった							1	4.3
		〔無回答〕							
同じく、各授業の課題の締め切り・期日（最もよくあったパターン）	当日締め切り	1	1.9					1	4.3
	3日以内			7	12.7			1	4.3
	一週間以内	50	94.3	48	87.3	42	100.0	20	87.0
	一か月以内	2	3.8						
	学期内								
		〔無回答〕							1
一つ一つの授業の課題の量に対する評価	非常に多かった	11	20.8	9	16.4	19	45.2	4	17.4
	少し多かった	28	52.8	31	56.4	18	42.9	7	30.4
	ちょうど良かった	13	24.5	14	25.5	5	11.9	9	39.1
	少し少なかった	1	1.9					1	4.3
	非常に少なかった							1	4.3
		〔無回答〕			1	1.8			1
授業全体の課題の量に対する評価	非常に多かった	21	39.6	22	40.0	28	66.7	5	21.7
	少し多かった	25	47.2	24	43.6	8	19.0	6	26.1
	ちょうど良かった	6	11.3	7	12.7	6	14.3	9	39.1
	少し少なかった								
	非常に少なかった	1	1.9					1	4.3
		〔無回答〕			2	3.6			2
以下、2020年10月現在のこと		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
遠隔授業を受講している媒体【複数回答可】	パソコン	1	1.9	8	14.5	11	26.2	11	47.8
	タブレット端末	52	98.1	47	85.5	31	73.8	12	52.2
		〔無回答〕							
スマホ	○なし	50	94.3	47	85.5	35	83.3	18	78.3
	○あり	3	5.7	8	14.5	7	16.7	5	21.7
		〔無回答〕							
遠隔授業は受講していない	○なし	27	50.9	26	47.3	19	45.2	12	52.2
	○あり	26	49.1	29	52.7	23	54.8	11	47.8
		〔無回答〕							
その他	○なし	53	100.0	53	96.4	40	95.2	16	69.6
	○あり			2	3.6	2	4.8	7	30.4
		〔無回答〕							
スマホの通信環境面での支障の有無（スマホを使っていると回答した者限定）	全く問題ない	15	57.7	13	44.8	8	34.8	3	27.3
	ときどき問題が生じる	10	38.5	13	44.8	9	39.1	5	45.5
	よく問題が生じる	1	3.8	3	10.3	4	17.4	1	9.1
	常に問題が生じている					2	8.7	2	18.2
		（再掲）よく+常に		3.8		10.3		26.1	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		×学年別							
		2部×学年							
		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
パソコンやパソコン周辺機器の所有状況	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	31	58.5	45	81.8	34	81.0	19	82.6
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	22	41.5	5	9.1	3	7.1	1	4.3
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕			3	5.5	2	4.8		
タブレット端末	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	19	35.8	13	23.6	13	31.0	9	39.1
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	1	1.9	2	3.6	2	4.8	3	13.0
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	1	1.9	2	3.6				
プリンター	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	25	47.2	32	58.2	23	54.8	7	30.4
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	7	13.2	6	10.9	4	9.5	4	17.4
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	27	50.9	33	60.0	21	50.0	13	56.5
ウェブカメラ	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	16	30.2	7	12.7	2	4.8		
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）			2	3.6	2	4.8		
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	7	13.2	8	14.5	16	38.1	6	26.1
ウェブマイク	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	3	5.7	5	9.1	1	2.4	4	17.4
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	11	20.8	13	23.6	8	19.0	5	21.7
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	6	11.3			3	7.1	1	4.3
イヤホン・ヘッドホン	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた			1	1.8	2	4.8		
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	29	54.7	33	60.0	27	64.3	12	52.2
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	7	13.2	8	14.5	2	4.8	5	21.7
メモリなどデータ保存機器	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	11	20.8	13	23.6	10	23.8	5	21.7
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	5	9.4	2	3.6	2	4.8	1	4.3
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	28	52.8	32	58.2	26	61.9	11	47.8
通信環境の整備状況	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	9	17.0	8	14.5	2	4.8	6	26.1
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	36	67.9	42	76.4	36	85.7	17	73.9
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	10	18.9	4	7.3	1	2.4	1	4.3
現在	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた			3	5.5				
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	3	5.7	2	3.6	3	7.1	2	8.7
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	4	7.5	4	7.3	2	4.8	3	13.0
遠隔授業が開始されたとき	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	27	50.9	37	67.3	30	71.4	12	52.2
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	12	22.6	1	1.8	1	2.4	2	8.7
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	2	3.8	3	5.5	1	2.4		
現在	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有していた	7	13.2	8	14.5	8	19.0	5	21.7
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入した（入学や新学期にあわせた購入も含む）	5	9.4	6	10.9	2	4.8	4	17.4
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
遠隔授業が開始されたとき	自宅wifi・有線もモバイルwifiもあり	1	1.9	2	3.6				
	自宅wifi・有線のみあり	43	81.1	49	89.1	38	90.5	18	78.3
	モバイルwifiのみあり	6	11.3	2	3.6	3	7.1	3	13.0
現在	自宅wifi・有線もモバイルwifiもあり	3	5.7	2	3.6	1	2.4	2	8.7
	自宅wifi・有線のみあり	3	5.7	2	3.6	1	2.4		
	モバイルwifiのみあり	44	83.0	50	90.9	39	92.9	16	69.6
現在	モバイルwifiのみあり	4	7.5	2	3.6	1	2.4	3	13.0
	〔無回答〕	2	3.8	1	1.8	1	2.4	4	17.4

単位：人、%

		×学年別							
		2部×学年							
		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
北海学園大学から支給された支援金「5万円」の用途（最もお金を費やしたものの）	パソコンやパソコン周辺機器	21	39.6	11	20.0	3	7.1	2	8.7
	通信環境整備	6	11.3	3	5.5	2	4.8		
	学費	9	17.0	12	21.8	18	42.9	7	30.4
	生活費	6	11.3	13	23.6	11	26.2	6	26.1
	部活・サークル費用								
	就活費用					1	2.4	3	13.0
	貯金	8	15.1	12	21.8	4	9.5	3	13.0
	趣味・遊興費			3	5.5	3	7.1	2	8.7
	その他	2	3.8	1	1.8				
		〔無回答〕	1	1.9					
遠隔授業に関する①とくにないあなたの不満や悩み、困っていること【複数回答可】	①とくにない	53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
	○なし	50	94.3	53	96.4	39	92.9	16	69.6
	○あり	2	3.8	2	3.6	3	7.1	7	30.4
	〔無回答〕	1	1.9						
	②授業内容が十分に理解できない	31	58.5	28	50.9	25	59.5	21	91.3
	○なし	21	39.6	27	49.1	17	40.5	2	8.7
	○あり	1	1.9						
	〔無回答〕								
	③教員とのコミュニケーションがとりにくい	38	71.7	40	72.7	35	83.3	20	87.0
	○なし	14	26.4	15	27.3	7	16.7	3	13.0
	○あり	1	1.9						
	〔無回答〕								
	④評価方法や単位取得に対して不安がある	22	41.5	23	41.8	22	52.4	18	78.3
	○なし	30	56.6	32	58.2	20	47.6	5	21.7
	○あり	1	1.9						
	〔無回答〕								
	⑤遠隔授業のシステムやLMS・アプリの使い方がよく分からない	45	84.9	48	87.3	38	90.5	22	95.7
	○なし	7	13.2	7	12.7	4	9.5	1	4.3
	○あり	1	1.9						
	〔無回答〕								
⑥課題が多い	17	32.1	13	23.6	14	33.3	16	69.6	
○なし	35	66.0	42	76.4	28	66.7	7	30.4	
○あり	1	1.9							
〔無回答〕									
⑦友達・受講者同士での交流ができない	21	39.6	26	47.3	31	73.8	16	69.6	
○なし	31	58.5	29	52.7	11	26.2	7	30.4	
○あり	1	1.9							
〔無回答〕									
⑧生活リズムが狂う	37	69.8	40	72.7	31	73.8	20	87.0	
○なし	15	28.3	15	27.3	11	26.2	3	13.0	
○あり	1	1.9							
〔無回答〕									
⑨身体的・精神的疲労がたまる	32	60.4	29	52.7	27	64.3	22	95.7	
○なし	20	37.7	26	47.3	15	35.7	1	4.3	
○あり	1	1.9							
〔無回答〕									
⑩遠隔授業を受けるのに適した媒体（パソコンなど）を持っていない	52	98.1	54	98.2	37	88.1	23	100.0	
○なし			1	1.8	5	11.9			
○あり	1	1.9							
〔無回答〕									
⑪パソコンや、プリンターなど周辺機器の購入費用の負担が大きい	43	81.1	47	85.5	39	92.9	23	100.0	
○なし	9	17.0	8	14.5	3	7.1			
○あり	1	1.9							
〔無回答〕									
⑫遠隔授業を受講する際の媒体（パソコンなど）の性能が低い	44	83.0	45	81.8	39	92.9	22	95.7	
○なし	8	15.1	10	18.2	3	7.1	1	4.3	
○あり	1	1.9							
〔無回答〕									
⑬印刷費用の負担が大きい	37	69.8	38	69.1	31	73.8	21	91.3	
○なし	15	28.3	17	30.9	11	26.2	2	8.7	
○あり	1	1.9							
〔無回答〕									
⑭通信環境が整っていない、通信環境がよくない	49	92.5	49	89.1	38	90.5	22	95.7	
○なし	3	5.7	6	10.9	4	9.5	1	4.3	
○あり	1	1.9							
〔無回答〕									
⑮通信費用の負担が大きい	49	92.5	53	96.4	36	85.7	22	95.7	
○なし	3	5.7	2	3.6	6	14.3	1	4.3	
○あり	1	1.9							
〔無回答〕									
⑯受講環境がよくない（集中ができない、周囲がうるさい、周囲に聞か	43	81.1	44	80.0	33	78.6	22	95.7	
○なし	9	17.0	11	20.0	9	21.4	1	4.3	
○あり	1	1.9							
〔無回答〕									
⑰その他	50	94.3	50	90.9	40	95.2	23	100.0	
○なし	2	3.8	5	9.1	2	4.8			
○あり	1	1.9							
〔無回答〕									

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		×学年別								
		2部×学年								
		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0	
コロナ感染への不安や大学のコロナ対応へのあなたの考え【複数回答可】	①授業・教室内での感染不安がある	○なし	28	52.8	22	40.0	17	40.5	10	43.5
		○あり	22	41.5	28	50.9	22	52.4	11	47.8
		〔無回答〕	3	5.7	5	9.1	3	7.1	2	8.7
	②大学構内での感染不安がある	○なし	21	39.6	14	25.5	16	38.1	10	43.5
		○あり	29	54.7	36	65.5	23	54.8	11	47.8
		〔無回答〕	3	5.7	5	9.1	3	7.1	2	8.7
	③通学の際に感染する不安がある	○なし	23	43.4	26	47.3	21	50.0	10	43.5
	○あり	27	50.9	24	43.6	18	42.9	11	47.8	
	〔無回答〕	3	5.7	5	9.1	3	7.1	2	8.7	
④大学の感染対策は不十分だと思う	○なし	35	66.0	43	78.2	30	71.4	17	73.9	
	○あり	15	28.3	7	12.7	9	21.4	4	17.4	
	〔無回答〕	3	5.7	5	9.1	3	7.1	2	8.7	
⑤大学から提供される情報に問題がある（情報内容が明確でない、関連情報がない）	○なし	35	66.0	36	65.5	19	45.2	15	65.2	
	○あり	15	28.3	14	25.5	20	47.6	6	26.1	
	〔無回答〕	3	5.7	5	9.1	3	7.1	2	8.7	
⑥コロナ感染の不安などを大学に訴える機会がない・少ない	○なし	37	69.8	41	74.5	31	73.8	18	78.3	
	○あり	13	24.5	9	16.4	8	19.0	3	13.0	
	〔無回答〕	3	5.7	5	9.1	3	7.1	2	8.7	
⑦その他	○なし	42	79.2	48	87.3	34	81.0	19	82.6	
	○あり	8	15.1	2	3.6	5	11.9	2	8.7	
	〔無回答〕	3	5.7	5	9.1	3	7.1	2	8.7	
遠隔授業と対面授業に対する総合的な評価	遠隔授業が良かった		9	17.0	15	27.3	7	16.7	3	13.0
	どちらかといえば遠隔授業が良かった		15	28.3	8	14.5	9	21.4	5	21.7
	どちらかといえば対面授業が良かった		5	9.4	14	25.5	9	21.4	2	8.7
	対面授業が良かった		6	11.3	7	12.7	8	19.0	3	13.0
	どちらの授業にも良い面があった		18	34.0	11	20.0	9	21.4	10	43.5
	〔無回答〕									
各項目における遠隔授業と対面授業の利点の比較	①授業内容の理解度	遠隔授業	8	15.1	7	12.7	2	4.8	2	8.7
		対面授業	26	49.1	33	60.0	28	66.7	8	34.8
		どちらにも利点がある	19	35.8	15	27.3	12	28.6	13	56.5
		〔無回答〕								
	②自分のペースで学べる	遠隔授業	46	86.8	45	81.8	32	76.2	18	78.3
		対面授業	2	3.8	5	9.1	5	11.9	1	4.3
		どちらにも利点がある	5	9.4	5	9.1	5	11.9	4	17.4
		〔無回答〕								
	③授業に集中できる	遠隔授業	10	18.9	15	27.3	9	21.4	6	26.1
		対面授業	32	60.4	33	60.0	27	64.3	11	47.8
		どちらにも利点がある	11	20.8	7	12.7	5	11.9	6	26.1
		〔無回答〕								
	④教員への質問、教員との交流	遠隔授業	1	1.9	8	14.5	2	4.8	3	13.0
		対面授業	41	77.4	39	70.9	27	64.3	16	69.6
	どちらにも利点がある	11	20.8	7	12.7	13	31.0	4	17.4	
	〔無回答〕			1	1.8					
⑤受講生や友人との交流	遠隔授業	2	3.8	6	10.9					
	対面授業	47	88.7	47	85.5	39	92.9	19	82.6	
	どちらにも利点がある	3	5.7	2	3.6	3	7.1	3	13.0	
	〔無回答〕	1	1.9					1	4.3	
⑥生活リズムを整えること	遠隔授業	8	15.1	11	20.0	5	11.9	4	17.4	
	対面授業	30	56.6	37	67.3	26	61.9	15	65.2	
	どちらにも利点がある	15	28.3	7	12.7	10	23.8	4	17.4	
	〔無回答〕					1	2.4			
⑦時間を有効に活用できること	遠隔授業	39	73.6	40	72.7	32	76.2	16	69.6	
	対面授業	2	3.8	13	23.6	7	16.7	1	4.3	
	どちらにも利点がある	12	22.6	2	3.6	3	7.1	6	26.1	
	〔無回答〕									
対面授業を大学が開始したことに対する評価【複数回答可】	適切だと思う		15	28.3	14	25.5	10	23.8	4	17.4
	やむを得ないと思う		15	28.3	17	30.9	14	33.3	12	52.2
	問題があると思う		12	22.6	12	21.8	10	23.8	3	13.0
	判断が難しい・分からない		11	20.8	12	21.8	8	19.0	4	17.4
		〔無回答〕								
対面授業の開講条件である「受講者数が収容定員の3分の1以下」に対する評価	非常に緩い		3	5.7	2	3.6			1	4.3
	緩い		12	22.6	7	12.7	4	9.5	3	13.0
	適切である		32	60.4	24	43.6	22	52.4	12	52.2
	厳しい		1	1.9	6	10.9	6	14.3	3	13.0
	非常に厳しい				1	1.8	2	4.8		
	分からない		5	9.4	15	27.3	8	19.0	4	17.4
	〔無回答〕									

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		×学年別							
		2部×学年				2部×学年			
		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
今後の授業の開講形態に対する希望	可能な限り対面授業を望む	14	26.4	15	27.3	13	31.0	5	21.7
	可能な限り遠隔授業を望む	19	35.8	22	40.0	13	31.0	5	21.7
	対面と遠隔の併用を望む	15	28.3	11	20.0	12	28.6	7	30.4
	とくに希望はない	2	3.8	6	10.9	1	2.4	6	26.1
	分からない 〔無回答〕	3	5.7	1	1.8	3	7.1		
今年の2月時点でのアルバイト実施状況	していた	53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
	していなかった	17	32.1	48	87.3	36	85.7	18	78.3
	〔無回答〕	36	67.9	6	10.9	6	14.3	5	21.7
そのアルバイトの継続状況	継続している	17	100.0	48	100.0	36	100.0	18	100.0
	やめた	8	47.1	36	75.0	26	72.2	14	77.8
	継続しているものもあれば、やめたものもある	7	41.2	11	22.9	9	25.0	4	22.2
	〔無回答〕	2	11.8	1	2.1	1	2.8		
2020年3月から現在までのアルバイトの「量」に関する経験【複数回答可】	①とくにない	17	100.0	48	100.0	36	100.0	18	100.0
	○なし	14	82.4	36	75.0	18	50.0	12	66.7
	○あり	3	17.6	12	25.0	18	50.0	6	33.3
	〔無回答〕								
	②勤務シフト・労働時間が減った	12	70.6	20	41.7	22	61.1	9	50.0
	○なし	5	29.4	28	58.3	14	38.9	9	50.0
	○あり								
	〔無回答〕								
	③勤務シフト・労働時間がゼロになった	13	76.5	39	81.3	30	83.3	14	77.8
	○なし	4	23.5	9	18.8	6	16.7	4	22.2
	○あり								
	〔無回答〕								
	④バイト先を解雇された	17	100.0	45	93.8	34	94.4	18	100.0
	○なし			3	6.3	2	5.6		
	○あり								
	〔無回答〕								
	⑤バイト先が休業した	12	70.6	37	77.1	28	77.8	14	77.8
	○なし	5	29.4	11	22.9	8	22.2	4	22.2
	○あり								
	〔無回答〕								
	⑥バイト先が閉店した	16	94.1	45	93.8	36	100.0	18	100.0
○なし	1	5.9	3	6.3					
○あり									
〔無回答〕									
⑦コロナ感染予防のためにバイトをやめた	17	100.0	46	95.8	33	91.7	18	100.0	
○なし			2	4.2	3	8.3			
○あり									
〔無回答〕									
⑧労働条件や人間関係を理由にバイトをやめた	16	94.1	45	93.8	34	94.4	16	88.9	
○なし	1	5.9	3	6.3	2	5.6	2	11.1	
○あり									
〔無回答〕									
⑨その他の自己都合でバイトをやめた	12	70.6	47	97.9	34	94.4	17	94.4	
○なし	5	29.4	1	2.1	2	5.6	1	5.6	
○あり									
〔無回答〕									
⑩バイトのかけもちを始めた	14	82.4	45	93.8	34	94.4	17	94.4	
○なし	3	17.6	3	6.3	2	5.6	1	5.6	
○あり									
〔無回答〕									
⑪その他	15	88.2	45	93.8	36	100.0	18	100.0	
○なし	2	11.8	3	6.3					
○あり									
〔無回答〕									
コロナ禍で勤務シフト・労働時間が減る以前の一週間の労働時間数（勤務シフト・労働時間が「減った」「ゼロになった」者限定）	5時間未満	7	100.0	30	100.0	15	100.0	11	100.0
	5～10時間未満					1	6.7		
	10～15時間未満			3	10.0	1	6.7	2	18.2
	15～20時間未満	2	28.6	9	30.0	5	33.3	3	27.3
	20～25時間未満	2	28.6	7	23.3	3	20.0	3	27.3
	25～30時間未満	3	42.9	2	6.7	4	26.7	2	18.2
	30～35時間未満			3	10.0			1	9.1
	35時間以上			4	13.3	1	6.7		
	〔無回答〕			2	6.7				
	（再掲）15時間未満			10.0		13.3		18.2	
勤務シフト・労働時間数が最も減った状況（同上）	ゼロになった	7	100.0	30	100.0	15	100.0	11	100.0
	1～5時間未満	4	57.1	10	33.3	6	40.0	3	27.3
	5～10時間未満					1	6.7	4	36.4
	10～15時間未満	2	28.6	7	23.3	5	33.3	1	9.1
	15～20時間未満	1	14.3	8	26.7			3	27.3
	20～25時間未満			2	6.7	3	20.0		
	25～30時間未満			1	3.3				
	30～35時間未満			1	3.3				
	35時間以上								
	〔無回答〕			1	3.3				
	（再掲）15時間未満		100.0	83.3		80.0		100.0	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		×学年別							
		2部×学年							
		7	100.0	30	100.0	15	100.0	11	100.0
勤務シフト・労働時間が減ったことに対する休業手当の支給状況（同上）	全ての月に支給された	3	42.9	5	16.7	3	20.0	4	36.4
	支給された月もあれば支給されなかった月もある	2	28.6	7	23.3	3	20.0	2	18.2
	全く支給されなかった	2	28.6	16	53.3	9	60.0	5	45.5
	分からない 〔無回答〕			2	6.7				
休業手当の支給割合（休業手当が支給された者限定）	全額・ほぼ全額が支給された	5	100.0	12	100.0	6	100.0	6	100.0
	7.8割が支給された	1	20.0	2	16.7	2	33.3	4	66.7
	5.6割が支給された			2	16.7	2	33.3	1	16.7
	3.4割が支給された	3	60.0	7	58.3	1	16.7	1	16.7
	1.2割が支給された			1	8.3				
勤務シフト・労働時間が減ったりなくなったことで困った経験・状況の有無【複数回答可】	①収入は減ったが、とくに困りはしなかった	7	100.0	30	100.0	15	100.0	11	100.0
	○なし	4	57.1	26	86.7	15	100.0	10	90.9
	○あり	3	42.9	4	13.3			1	9.1
	〔無回答〕								
	②遊興費や趣味に使えるお金が減って困った	3	42.9	16	53.3	4	26.7	5	45.5
	○なし	4	57.1	14	46.7	11	73.3	6	54.5
	○あり								
	〔無回答〕								
	③生活に必要なお金が減って困った	4	57.1	14	46.7	3	20.0	3	27.3
	○なし	3	42.9	16	53.3	12	80.0	8	72.7
	○あり								
	〔無回答〕								
	④教科書代や通学に必要なお金が減って困った	4	57.1	22	73.3	10	66.7	6	54.5
	○なし	3	42.9	8	26.7	5	33.3	5	45.5
	○あり								
	〔無回答〕								
	⑤授業料の支払いが困難になり困った	7	100.0	26	86.7	13	86.7	7	63.6
	○なし			4	13.3	2	13.3	4	36.4
○あり									
〔無回答〕									
⑥その他	7	100.0	29	96.7	15	100.0	11	100.0	
○なし			1	3.3					
○あり									
〔無回答〕									
現在のアルバイト実施状況【複数回答可】	①固定的なアルバイトを1つのみしている	53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
	○なし	19	35.8	12	21.8	14	33.3	9	39.1
	○あり	33	62.3	43	78.2	28	66.7	14	60.9
	〔無回答〕	1	1.9						
	②固定的なアルバイトをかけもちでしている	46	86.8	54	98.2	39	92.9	21	91.3
	○なし	6	11.3	1	1.8	3	7.1	2	8.7
	○あり								
	〔無回答〕	1	1.9						
	③単発的なアルバイトをしている	48	90.6	51	92.7	39	92.9	21	91.3
	○なし	4	7.5	4	7.3	3	7.1	2	8.7
	○あり								
	〔無回答〕	1	1.9						
④アルバイトをしているが、追加・かけもちのバイト探している	49	92.5	47	85.5	41	97.6	22	95.7	
○なし	3	5.7	8	14.5	1	2.4	1	4.3	
○あり									
〔無回答〕	1	1.9							
⑤アルバイトをしていないが、探している	42	79.2	52	94.5	36	85.7	21	91.3	
○なし	10	18.9	3	5.5	6	14.3	2	8.7	
○あり									
〔無回答〕	1	1.9							
⑥アルバイトをしておらず、さがしてもいない	51	96.2	53	96.4	39	92.9	20	87.0	
○なし	1	1.9	2	3.6	3	7.1	3	13.0	
○あり									
〔無回答〕	1	1.9							
現在のアルバイトの勤続期間	働き始めたばかり	41	100.0	50	100.0	33	100.0	18	100.0
	1.2か月	2	4.9	1	2.0	2	6.1	2	11.1
	3～6か月未満	14	34.1	3	6.0	4	12.1		
	6か月～1年未満	9	22.0	6	12.0			2	11.1
	1～2年未満	14	34.1	6	12.0	2	6.1		
	2～3年未満	1	2.4	27	54.0	5	15.2	3	16.7
	3年以上	1	2.4	1	2.0	13	39.4	8	44.4
	〔無回答〕			3	6.0	5	15.2	2	11.1
				3	6.0	2	6.1	1	5.6

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人，%

		×学年別							
		2部×学年							
		40	100.0	49	100.0	32	100.0	18	100.0
先月（2020年9月）の1週間の労働時間数	5時間未満	1	2.5	2	4.1	1	3.1	1	5.6
	5～10時間未満	6	15.0	3	6.1	1	3.1	4	22.2
	10～15時間未満	3	7.5	13	26.5	8	25.0	1	5.6
	15～20時間未満	14	35.0	13	26.5	7	21.9	3	16.7
	20～25時間未満	8	20.0	7	14.3	8	25.0	3	16.7
	25～30時間未満	3	7.5	5	10.2	3	9.4	1	5.6
	30～35時間未満	5	12.5	2	4.1			2	11.1
	35時間以上			3	6.1	4	12.5	1	5.6
	〔無回答〕			1	2.0			2	11.1
	(再掲) 15時間以上			75.0		61.2		68.8	
		40	100.0	49	100.0	32	100.0	18	100.0
先月（2020年9月）の1か月の給料	1万円未満	5	12.5	2	4.1	2	6.3	1	5.6
	1万円台	1	2.5			1	3.1	1	5.6
	2万円台			3	6.1	2	6.3	1	5.6
	3万円台	4	10.0	2	4.1			3	16.7
	4万円台			4	8.2	2	6.3	1	5.6
	5万円台	5	12.5	13	26.5	3	9.4	1	5.6
	6万円台	5	12.5	4	8.2	7	21.9		
	7万円台	9	22.5	7	14.3	3	9.4	2	11.1
	8万円台	2	5.0	5	10.2	3	9.4	3	16.7
	9万円台	2	5.0	2	4.1	2	6.3	2	11.1
	10万円台	5	12.5	4	8.2	2	6.3		
	11,12万円台	2	5.0			2	6.3		
	13,14万円台					1	3.1		
	15万円以上			2	4.1	2	6.3	1	5.6
〔無回答〕			1	2.0			2	11.1	
(再掲) 8万円以上			27.5		26.5		37.5		33.3
		41	100.0	50	100.0	33	100.0	18	100.0
アルバイト代①趣味・交際費・飲の使い道【複数回答可】	○なし	7	17.1	6	12.0	9	27.3	2	11.1
	○あり	34	82.9	44	88.0	24	72.7	15	83.3
	〔無回答〕							1	5.6
②部活やサークル代	○なし	31	75.6	43	86.0	27	81.8	15	83.3
	○あり	10	24.4	7	14.0	6	18.2	2	11.1
	〔無回答〕							1	5.6
③授業料	○なし	23	56.1	39	78.0	20	60.6	11	61.1
	○あり	18	43.9	11	22.0	13	39.4	6	33.3
	〔無回答〕							1	5.6
④教材費・書籍代	○なし	23	56.1	29	58.0	22	66.7	12	66.7
	○あり	18	43.9	21	42.0	11	33.3	5	27.8
	〔無回答〕							1	5.6
⑤通学費	○なし	18	43.9	23	46.0	18	54.5	11	61.1
	○あり	23	56.1	27	54.0	15	45.5	6	33.3
	〔無回答〕							1	5.6
⑥生活費	○なし	25	61.0	13	26.0	12	36.4	7	38.9
	○あり	16	39.0	37	74.0	21	63.6	10	55.6
	〔無回答〕							1	5.6
⑦就職活動費用	○なし	38	92.7	46	92.0	22	66.7	12	66.7
	○あり	3	7.3	4	8.0	11	33.3	5	27.8
	〔無回答〕							1	5.6
⑧資格取得費用	○なし	29	70.7	45	90.0	28	84.8	15	83.3
	○あり	12	29.3	5	10.0	5	15.2	2	11.1
	〔無回答〕							1	5.6
⑨自動車学校	○なし	32	78.0	43	86.0	31	93.9	14	77.8
	○あり	9	22.0	7	14.0	2	6.1	3	16.7
	〔無回答〕							1	5.6
⑩貯金	○なし	10	24.4	17	34.0	14	42.4	3	16.7
	○あり	31	75.6	33	66.0	19	57.6	14	77.8
	〔無回答〕							1	5.6
⑪その他	○なし	40	97.6	50	100.0	33	100.0	17	94.4
	○あり	1	2.4						
	〔無回答〕							1	5.6
		41	100.0	50	100.0	33	100.0	18	100.0
アルバイトをする理由（二区分）	遊び・趣味等にお金を稼ぐため	5	12.2	6	12.0	4	12.1	3	16.7
	どちらかといえば遊び・趣味等にお金を稼ぐため	7	17.1	10	20.0	5	15.2	3	16.7
	どちらかといえば学費・生活費等を稼ぐため	12	29.3	12	24.0	7	21.2	3	16.7
	学費・生活費等を稼ぐため	6	14.6	7	14.0	7	21.2	4	22.2
	どちらも半々	11	26.8	15	30.0	10	30.3	4	22.2
	〔無回答〕							1	5.6
(再掲) 学費・生活費等+半々			70.7		68.0		72.7		61.1

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		×学年別								
						2部×学年				
		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0	
学費負担・学費の原資【複数回答可】	①親の収入	○なし	21	39.6	20	36.4	21	50.0	9	39.1
		○あり	32	60.4	35	63.6	21	50.0	14	60.9
	②祖父母の収入	○なし	50	94.3	53	96.4	42	100.0	20	87.0
		○あり	3	5.7	2	3.6			3	13.0
	③自分自身のアルバイト収入	○なし	39	73.6	44	80.0	27	64.3	16	69.6
		○あり	14	26.4	11	20.0	15	35.7	7	30.4
	④奨学金	○なし	21	39.6	30	54.5	15	35.7	12	52.2
		○あり	32	60.4	25	45.5	27	64.3	11	47.8
	⑤その他	○なし	51	96.2	55	100.0	42	100.0	22	95.7
		○あり	2	3.8					1	4.3
主な学費負担者・学費の原資	親の収入		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
	祖父母の収入		23	43.4	31	56.4	18	42.9	12	52.2
	自分自身のアルバイト収入		1	1.9					2	8.7
	奨学金		6	11.3	3	5.5	5	11.9	5	21.7
	その他		21	39.6	20	36.4	18	42.9	2	8.7
			2	3.8	1	1.8	1	2.4	2	8.7
高等教育の修学支援新制度の利用状況	利用していない		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
	利用している（区分は、第Ⅰ区分・住民税非課税世帯）		37	69.8	44	80.0	32	76.2	15	65.2
	利用している（区分は、第Ⅱ区分）		6	11.3	4	7.3	7	16.7	2	8.7
	利用している（区分は、第Ⅲ区分）		4	7.5	1	1.8	1	2.4	3	13.0
	利用している（区分は、分らない）		1	1.9	1	1.8	1	2.4		
	利用している（区分は、分らない）【無回答】		5	9.4	4	7.3	1	2.4	3	13.0
	（再掲）利用している計			30.2		18.2		23.8		34.8
給付型奨学金の利用状況【複数回答可】	①とくに給付は受けていない	○なし	53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
		○あり	18	34.0	10	18.2	13	31.0	10	43.5
		【無回答】	33	62.3	44	80.0	28	66.7	13	56.5
	②北海学園奨学金	○なし	2	3.8	1	1.8	1	2.4		
		○あり	47	88.7	49	89.1	40	95.2	21	91.3
		【無回答】	2	3.8	1	1.8	1	2.4	2	8.7
	③自治体の奨学金	○なし	4	7.5	5	9.1	1	2.4		
		○あり	51	96.2	54	98.2	40	95.2	23	100.0
		【無回答】	2	3.8	1	1.8	1	2.4		
	④民間団体の奨学金	○なし	2	3.8	1	1.8	1	2.4		
		○あり	50	94.3	54	98.2	40	95.2	23	100.0
		【無回答】	1	1.9			1	2.4		
	⑤日本学生支援機構の「旧来型」の給付型奨学金（修学支援新制度移行）	○なし	2	3.8	1	1.8	1	2.4		
		○あり	43	81.1	50	90.9	39	92.9	17	73.9
		【無回答】	8	15.1	4	7.3	2	4.8	6	26.1
	⑥修学支援新制度の給付型奨学金	○なし	2	3.8	1	1.8	1	2.4		
		○あり	44	83.0	52	94.5	33	78.6	20	87.0
	【無回答】	7	13.2	2	3.6	8	19.0	3	13.0	
⑦その他	○なし	2	3.8	1	1.8	1	2.4			
	○あり	51	96.2	54	98.2	41	97.6	23	100.0	
	【無回答】	2	3.8	1	1.8	1	2.4			
日本学生支援機構による貸与型奨学金の利用状況	利用していない		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
	利用している（第一種のみを利用している）		26	49.1	24	43.6	21	50.0	11	47.8
	利用している（第二種のみを利用している）		9	17.0	16	29.1	7	16.7	7	30.4
	利用している（第一種と第二種を併用している）		10	18.9	9	16.4	12	28.6	5	21.7
	利用しているが、内容が分からない		5	9.4	2	3.6	1	2.4		
	【無回答】		2	3.8	4	7.3	1	2.4		

単位：人，%

		×学年別							
		14				18			
		100.0		100.0		100.0		100.0	
		2部×学年							
		14		18		8		7	
		100.0		100.0		100.0		100.0	
第一種奨学金の利用月額（第一種奨学金利用者に限定）	2万円	1	7.1	2	11.1				
	3万円	5	35.7	3	16.7	1	12.5	2	28.6
	4万円					3	37.5		
	5万円	1	7.1	6	33.3	1	12.5	3	42.9
	5.4万円	1	7.1	1	5.6			1	14.3
	6.4万円	4	28.6	5	27.8	2	25.0	1	14.3
	金額は分からない 【無回答】	1	7.1	1	5.6	1	12.5		
		1	7.1						
第二種奨学金の利用月額（第二種奨学金利用者に限定）	2万円	1	6.7	2	18.2				
	3万円			2	18.2	4	30.8	1	20.0
	4万円	3	20.0						
	5万円	1	6.7	1	9.1	4	30.8	2	40.0
	6万円	1	6.7	1	9.1				
	7万円	1	6.7	2	18.2				
	8万円					4	30.8	1	20.0
	9万円								
	10万円	3	20.0	2	18.2				
	11万円								
	12万円	3	20.0			1	7.7	1	20.0
	金額は分からない 【無回答】	1	6.7	1	9.1				
		1	6.7						
第一種奨学金と第二種奨学金の合計	2万円台	2	9.1	3	11.5				
	3万円台	5	22.7	5	19.2	5	26.3	3	25.0
	4万円台	3	13.6			3	15.8		
	5万円台	2	9.1	7	26.9	5	26.3	6	50.0
	6万円台	2	9.1	6	23.1	1	5.3	1	8.3
	7万円台	1	4.5	3	11.5				
	8万円台					4	21.1	1	8.3
	9万円台								
	10万円台	3	13.6	2	7.7				
	11、12万円台 それ以上	2	9.1					1	8.3
					1	5.3			
	(再掲) 8万円以上		31.8		7.7		26.3		16.7
就職・進路に対する不安の有無	非常にある	24	45.3	34	61.8	30	71.4	11	47.8
	ある	20	37.7	21	38.2	9	21.4	5	21.7
	あまりない	4	7.5					4	17.4
	全くない	1	1.9			2	4.8	3	13.0
	分からない	4	7.5			1	2.4		
	【無回答】								
就職活動で困ったことやハラスメント的な対応の経験の有無（4年生に限定）【複数回答可】	①とくにない								
		○なし							
		○あり							
		【無回答】							
	②説明会がキャンセルになった								
		○なし							
		○あり							
		【無回答】							
	③面接がキャンセルになった								
		○なし							
		○あり							
	【無回答】								
④希望する就職先の採用が減った									
	○なし								
	○あり								
	【無回答】								
⑤遠隔対応の勝手が分からずに苦労した									
	○なし								
	○あり								
	【無回答】								
⑥内定が取り消された									
	○なし								
	○あり								
	【無回答】								
⑦内定がまだとれていない									
	○なし								
	○あり								
	【無回答】								
⑧性的な質問や嫌がらせをされた（セクハラ）									
	○なし								
	○あり								
	【無回答】								
⑨内定と引き替えに就職活動をやめるよう言われた（オワハラ）									
	○なし								
	○あり								
	【無回答】								
⑩無用に高圧的な発言をされたり態度をとられた（パワハラ）									
	○なし								
	○あり								
	【無回答】								
⑪その他									
	○なし								
	○あり								
	【無回答】								

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		×学年別							
		2部×学年							
		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
コロナ禍における生活費用の増減	大きく増えた	3	5.7	5	9.1	1	2.4	1	4.3
	増えた	10	18.9	13	23.6	8	19.0	5	21.7
	とくに変わらない	31	58.5	29	52.7	22	52.4	13	56.5
	減った	9	17.0	6	10.9	9	21.4	4	17.4
	大きく減った			2	3.6	2	4.8		
	【無回答】								
		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
経済的な状況①とくにない や心身の状況 【複数回答 可】	○なし	46	86.8	40	72.7	30	71.4	19	82.6
	○あり	7	13.2	12	21.8	12	28.6	4	17.4
				3	5.5				
	②学費の支払いが困難に なっている	49	92.5	49	89.1	37	88.1	18	78.3
	○なし	4	7.5	3	5.5	5	11.9	5	21.7
				3	5.5				
	③生活費を稼ぐのに大変 である	41	77.4	39	70.9	29	69.0	16	69.6
	○なし	12	22.6	13	23.6	13	31.0	7	30.4
				3	5.5				
	④大学で友人ができない	22	41.5	37	67.3	36	85.7	20	87.0
	○なし	31	58.5	15	27.3	6	14.3	3	13.0
				3	5.5				
⑤サークル活動や部活動 に入り損ねた	31	58.5	49	89.1	41	97.6	23	100.0	
○なし	22	41.5	3	5.5	1	2.4			
			3	5.5					
⑥サークル活動や部活動 が制約を受けており不満	47	88.7	44	80.0	33	78.6	20	87.0	
○なし	6	11.3	8	14.5	9	21.4	3	13.0	
			3	5.5					
⑦目標を見失った	39	73.6	42	76.4	34	81.0	18	78.3	
○なし	14	26.4	10	18.2	8	19.0	5	21.7	
			3	5.5					
⑧気がわかない	35	66.0	28	50.9	21	50.0	11	47.8	
○なし	18	34.0	24	43.6	21	50.0	12	52.2	
			3	5.5					
⑨体調がすぐれない	44	83.0	37	67.3	31	73.8	18	78.3	
○なし	9	17.0	15	27.3	11	26.2	5	21.7	
			3	5.5					
⑩生活リズムが乱れてい る	33	62.3	30	54.5	27	64.3	13	56.5	
○なし	20	37.7	22	40.0	15	35.7	10	43.5	
			3	5.5					
⑪大学生活がつまらない	31	58.5	29	52.7	26	61.9	17	73.9	
○なし	22	41.5	23	41.8	16	38.1	6	26.1	
			3	5.5					
⑫その他	52	98.1	52	94.5	42	100.0	22	95.7	
	○なし	1	1.9				1	4.3	
				3	5.5				
		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
休学や退学を考えたり検討することの 有無	とくにない	41	77.4	41	74.5	31	73.8	16	69.6
	漠然とながらも考えることがある	10	18.9	9	16.4	8	19.0	6	26.1
	真剣に検討している			4	7.3	3	7.1		
	その他	1	1.9	1	1.8				
		【無回答】	1	1.9				1	4.3
	(再掲) 漠然と+真剣に		18.9		23.6		26.2		26.1
		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
親など学費負担者の就労収入の変化	コロナの影響で仕事・収入が減った	7	13.2	14	25.5	10	23.8	8	34.8
	コロナの影響ではないが、仕事・収入 が減った	2	3.8	3	5.5	1	2.4	1	4.3
	今はまだ影響はないが、これから仕 事・収入が減るおそれがある	5	9.4	4	7.3	8	19.0	2	8.7
	コロナの影響はとくにない	35	66.0	26	47.3	21	50.0	11	47.8
	その他	4	7.5	3	5.5	2	4.8		
	【無回答】			5	9.1		1	4.3	
	(再掲) 減った計		17.0		30.9		26.2		39.1
		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0
あなたの現在の経済的な暮らしの状況	大変ゆとりがある	2	3.8	3	5.5	1	2.4	1	4.3
	ややゆとりがある	4	7.5	7	12.7	7	16.7	3	13.0
	普通	23	43.4	22	40.0	17	40.5	9	39.1
	やや苦しい	23	43.4	19	34.5	12	28.6	8	34.8
	大変苦しい	1	1.9	4	7.3	5	11.9	2	8.7
		【無回答】							
	(再掲) 苦しい計		45.3		41.8		40.5		43.5

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		×学年別								
						2部×学年				
		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0	
奨学金やアルバイト収入がなかった場合、学費負担者からの支出だけで修学は可能か	十分に可能である	18	34.0	16	29.1	11	26.2	8	34.8	
	修学は不自由になる	14	26.4	20	36.4	10	23.8	4	17.4	
	修学の継続は困難になる	21	39.6	18	32.7	21	50.0	11	47.8	
	〔無回答〕			1	1.8					
		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0	
遠隔授業が中心であったの に対して授業料負担が例年通りであったことへの評価 【複数回答可】	①非常に納得ができない	○なし	39	73.6	35	63.6	27	64.3	19	82.6
		○あり	14	26.4	20	36.4	15	35.7	3	13.0
		〔無回答〕							1	4.3
	②納得ができない	○なし	32	60.4	32	58.2	31	73.8	12	52.2
		○あり	21	39.6	23	41.8	11	26.2	10	43.5
		〔無回答〕							1	4.3
	③仕方がない	○なし	32	60.4	38	69.1	31	73.8	13	56.5
		○あり	21	39.6	17	30.9	11	26.2	9	39.1
		〔無回答〕							1	4.3
	④分からない	○なし	45	84.9	55	100.0	40	95.2	20	87.0
		○あり	8	15.1			2	4.8	2	8.7
		〔無回答〕							1	4.3
⑤その他	○なし	52	98.1	54	98.2	38	90.5	21	91.3	
	○あり	1	1.9	1	1.8	4	9.5	1	4.3	
	〔無回答〕							1	4.3	
		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0	
学費の減免を国に求める学生たちの動きに対する評価	強く賛同する	15	28.3	22	40.0	21	50.0	8	34.8	
	賛同する	28	52.8	24	43.6	10	23.8	13	56.5	
	あまり賛同しない	2	3.8	3	5.5	4	9.5	1	4.3	
	まったく賛同しない			1	1.8	1	2.4			
	分からない	8	15.1	5	9.1	6	14.3	1	4.3	
	〔無回答〕									
(再掲) 賛同する計			81.1		83.6		73.8		91.3	
		53	100.0	55	100.0	42	100.0	23	100.0	
学費のことなどを勉強する機会が学内で設けられた場合の参加の意向	参加する	6	11.3	9	16.4	7	16.7	4	17.4	
	おそらく参加する	23	43.4	22	40.0	13	31.0	9	39.1	
	おそらく参加しない	10	18.9	13	23.6	8	19.0	6	26.1	
	参加しない	6	11.3	4	7.3	7	16.7	2	8.7	
	分からない	8	15.1	7	12.7	7	16.7	2	8.7	
	〔無回答〕									
(再掲) 参加する計			54.7		56.4		47.6		56.5	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		現在の経済的な暮らし 「やや苦しい」「大変苦しい」		所属の部				
		1部	2部	1部	2部	1部	2部	
所属の部	1部	179	100.0	105	100.0	74	100.0	
	2部	105	58.7	105	100.0	74	100.0	
		74	41.3					
学年		179	100.0	105	100.0	74	100.0	
	1年生	50	27.9	26	24.8	24	32.4	
	2年生	59	33.0	36	34.3	23	31.1	
	3年生	46	25.7	29	27.6	17	23.0	
	4年生	24	13.4	14	13.3	10	13.5	
所属学部		179	100.0	105	100.0	74	100.0	
	経済学部	52	29.1	28	26.7	24	32.4	
	経営学部	32	17.9	18	17.1	14	18.9	
	法学部	45	25.1	21	20.0	24	32.4	
	人文学部	31	17.3	20	19.0	11	14.9	
	工学部	18	10.1	18	17.1			
	〔無回答〕	1	0.6			1	1.4	
性別		179	100.0	105	100.0	74	100.0	
	男性	104	58.1	61	58.1	43	58.1	
	女性	74	41.3	43	41.0	31	41.9	
	〔無回答〕	1	0.6	1	1.0			
住まい		179	100.0	105	100.0	74	100.0	
	実家・親元	110	61.5	67	63.8	43	58.1	
	「実家・親元」以外	69	38.5	38	36.2	31	41.9	
	〔無回答〕							
今年の前期の履修コマ数		149	100.0	91	100.0	58	100.0	
	5コマ以下	18	12.1	11	12.1	7	12.1	
	6～8コマ	8	5.4	6	6.6	2	3.4	
	9,10コマ	13	8.7	8	8.8	5	8.6	
	11,12コマ	48	32.2	24	26.4	24	41.4	
	13,14コマ	28	18.8	20	22.0	8	13.8	
	15,16コマ	10	6.7	10	11.0			
	それ以上	24	16.1	12	13.2	12	20.7	
そのうち対面で開講された授業・ゼミ等のコマ数（6月22日以降）		179	100.0	105	100.0	74	100.0	
	1コマ	62	34.6	30	28.6	32	43.2	
	2コマ	35	19.6	21	20.0	14	18.9	
	3コマ	27	15.1	16	15.2	11	14.9	
	4コマ	8	4.5	4	3.8	4	5.4	
	5コマ	7	3.9	6	5.7	1	1.4	
	それ以上	18	10.1	12	11.4	6	8.1	
	〔無回答〕	22	12.3	16	15.2	6	8.1	
対面再開「以 前（6月22日 より前）」で 経験した授業 の開講形態 【複数回答 可】	①ライブ・リアルタイム配信型	○なし	73	40.8	47	44.8	26	35.1
		○あり	106	59.2	58	55.2	48	64.9
		〔無回答〕						
	②オンデマンド配信型（録画した授業動画の配信）	○なし	19	10.6	13	12.4	6	8.1
		○あり	160	89.4	92	87.6	68	91.9
		〔無回答〕						
	③動画はなく音声付きのテキスト教材配信型	○なし	50	27.9	26	24.8	24	32.4
		○あり	129	72.1	79	75.2	50	67.6
		〔無回答〕						
	④動画はなく音声もないテキスト教材配信型	○なし	34	19.0	20	19.0	14	18.9
		○あり	145	81.0	85	81.0	60	81.1
		〔無回答〕						
	⑤遠隔授業は受講していない	○なし	176	98.3	102	97.1	74	100.0
		○あり	3	1.7	3	2.9		
		〔無回答〕						
	⑥その他	○なし	179	100.0	105	100.0	74	100.0
		○あり						
		〔無回答〕						
そのうち最多の開講形態		179	100.0	105	100.0	74	100.0	
	ライブ・リアルタイム配信型	4	2.2	1	1.0	3	4.1	
	オンデマンド配信型（録画した授業動画の配信）	87	48.6	48	45.7	39	52.7	
	動画はなく音声付きのテキスト教材配信型	14	7.8	8	7.6	6	8.1	
	動画はなく音声もないテキスト教材配信型	70	39.1	45	42.9	25	33.8	
	遠隔授業は受講していない	4	2.2	3	2.9	1	1.4	
	その他							
	〔無回答〕							

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

	現在の経済的な暮らし 「やや苦しい」「大変 苦しい」		所属の部					
	179	100.0	105	100.0	74	100.0		
対面再開「以 後（6月22日 以後）」で終 験した授業の 開講形態【複 数回答可】	①ライブ・リアルタイム 配信型	○なし ○あり 〔無回答〕	97 82	54.2 45.8	59 46	56.2 43.8	38 36	51.4 48.6
	②オンデマンド配信型 （録画した授業動画の配 信）	○なし ○あり 〔無回答〕	20 159	11.2 88.8	14 91	13.3 86.7	6 68	8.1 91.9
	③動画はなく音声付きの テキスト教材配信型	○なし ○あり 〔無回答〕	59 120	33.0 67.0	36 69	34.3 65.7	23 51	31.1 68.9
	④動画はなく音声もない テキスト教材配信型	○なし ○あり 〔無回答〕	42 137	23.5 76.5	23 82	21.9 78.1	19 55	25.7 74.3
	⑤遠隔授業は受講してい ない	○なし ○あり 〔無回答〕	174 5	97.2 2.8	101 4	96.2 3.8	73 1	98.6 1.4
	⑥その他	○なし ○あり 〔無回答〕	179	100.0	105	100.0	74	100.0
そのうち最多の開講形態	ライブ・リアルタイム配信型 オンデマンド配信型（録画した授業動 画の配信） 動画はなく音声付きのテキスト教材配 信型 動画はなく音声もないテキスト教材配 信型 遠隔授業は受講していない 〔無回答〕	179 2 102 17 51 5 2	100.0 1.1 57.0 9.5 28.5 2.8 1.1	105 1 55 11 32 4 2	100.0 1.0 52.4 10.5 30.5 3.8 1.9	74 1 47 6 19 1	100.0 1.4 63.5 8.1 25.7 1.4	
授業や課題に要した時間の長さ（最も 長く時間を要した日の時間数）	全くしていない 1時間未満 1.2時間 2.3時間 3.4時間 4.5時間 5.6時間 6.7時間 7.8時間 8.9時間 9.10時間 それ以上 〔無回答〕 (再掲)「5.6時間」以上	9 8 24 37 20 16 17 16 10 8 3 10 1	5.0 4.5 13.4 20.7 11.2 8.9 9.5 8.9 5.6 4.5 1.7 5.6 0.6	6 3 11 20 11 11 14 9 4 5 2 8 1	5.7 2.9 10.5 19.0 10.5 10.5 13.3 8.6 3.8 4.8 1.9 7.6 1.0	3 5 13 17 9 5 7 6 3 1 2 2	4.1 6.8 17.6 23.0 12.2 6.8 4.1 9.5 8.1 4.1 1.4 2.7	
授業や課題に要した時間の長さ（最も よくあるパターンの時間数）	全くしていない 1時間未満 1.2時間 2.3時間 3.4時間 4.5時間 5.6時間 6.7時間 7.8時間 8.9時間 9.10時間 それ以上 〔無回答〕 (再掲)「5.6時間」以上	11 45 56 30 16 9 5 2 1 2	6.1 25.1 31.3 16.8 8.9 5.0 2.8 1.1 0.6 1.1	7 23 31 20 11 6 3 1 2	6.7 21.9 29.5 19.0 10.5 5.7 2.9 1.0	4 22 25 10 5 3 2 1	5.4 29.7 33.8 13.5 6.8 4.1 2.7 1.4	
前期に受講した授業のうちの単位取得 割合	全て取得できた 9割程度 7.8割程度 5.6割程度 それ以下 〔無回答〕	86 39 24 9 18 3	48.0 21.8 13.4 5.0 10.1 1.7	56 23 11 5 7 3	53.3 21.9 10.5 4.8 6.7 2.9	30 16 13 4 11	40.5 21.6 17.6 5.4 14.9	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

	現在の経済的な暮らし 「やや苦しい」「大変 苦しい」 179 100.0	所属の部				
		1部 105 100.0	2部 74 100.0	3部 100.0	4部 100.0	
前期授業での課題が出された授業の 量・数（6月22日以降）	全て・ほぼ全ての授業で出された	111 62.0	62 59.0	49 66.2	66.2	
	多くの授業で出された	57 31.8	35 33.3	22 29.7	29.7	
	多くの授業で出されなかった	5 2.8	2 1.9	3 4.1	4.1	
	全て・ほぼ全ての授業で出されなかつた	5 2.8	5 4.8			
	〔無回答〕	1 0.6	1 1.0			
	179 100.0	105 100.0	74 100.0	100.0		
同じく、各授業での課題が出された頻 度（最もよくあったパターン）	毎回・ほぼ毎回出された	145 81.0	87 82.9	58 78.4	78.4	
	2,3回に一度	18 10.1	8 7.6	10 13.5	13.5	
	4,5回に一度	9 5.0	4 3.8	5 6.8	6.8	
	5~10回に一度					
	それ以上の頻度で一度	2 1.1	1 1.0	1 1.4	1.4	
	課題は出されなかった	4 2.2	4 3.8			
	〔無回答〕	1 0.6	1 1.0			
	179 100.0	105 100.0	74 100.0	100.0		
同じく、各授業の課題の締め切り・期 日（最もよくあったパターン）	当日締め切り	3 1.7	2 1.9	1 1.4	1.4	
	3日以内	12 6.7	6 5.7	6 8.1	8.1	
	一週間以内	155 86.6	90 85.7	65 87.8	87.8	
	一か月以内	4 2.2	2 1.9	2 2.7	2.7	
	学期内	1 0.6	1 1.0			
	〔無回答〕	4 2.2	4 3.8			
		179 100.0	105 100.0	74 100.0	100.0	
一つ一つの授業の課題の量に対する評 価	非常に多かった	51 28.5	30 28.6	21 28.4	28.4	
	少し多かった	79 44.1	46 43.8	33 44.6	44.6	
	ちょうど良かった	43 24.0	23 21.9	20 27.0	27.0	
	少し少なかった	2 1.1	2 1.9			
	非常に少なかった	1 0.6	1 1.0			
	〔無回答〕	3 1.7	3 2.9			
	179 100.0	105 100.0	74 100.0	100.0		
授業全体の課題の量に対する評価	非常に多かった	87 48.6	54 51.4	33 44.6	44.6	
	少し多かった	64 35.8	37 35.2	27 36.5	36.5	
	ちょうど良かった	23 12.8	9 8.6	14 18.9	18.9	
	少し少なかった	1 0.6	1 1.0			
	非常に少なかった	1 0.6	1 1.0			
	〔無回答〕	3 1.7	3 2.9			
	179 100.0	105 100.0	74 100.0	100.0		
以下、2020年10月現在のこと						
遠隔授業を受講している媒 体【複数回答 可】	パソコン	○なし	23 12.8	11 10.5	12 16.2	16.2
		○あり	155 86.6	93 88.6	62 83.8	83.8
		〔無回答〕	1 0.6	1 1.0		
	タブレット端末	○なし	166 92.7	98 93.3	68 91.9	91.9
		○あり	12 6.7	6 5.7	6 8.1	8.1
		〔無回答〕	1 0.6	1 1.0		
	スマホ	○なし	80 44.7	44 41.9	36 48.6	48.6
		○あり	98 54.7	60 57.1	38 51.4	51.4
		〔無回答〕	1 0.6	1 1.0		
	遠隔授業は受講していな い	○なし	171 95.5	101 96.2	70 94.6	94.6
	○あり	7 3.9	3 2.9	4 5.4	5.4	
	〔無回答〕	1 0.6	1 1.0			
その他	○なし	178 99.4	104 99.0	74 100.0	100.0	
	○あり					
	〔無回答〕	1 0.6	1 1.0			
	98 100.0	60 100.0	38 100.0	100.0		
スマホの通信環境面での支障の有無 （スマホを使っていると回答した者限 定）	全く問題ない	30 30.6	15 25.0	15 39.5	39.5	
	ときどき問題が生じる	50 51.0	39 65.0	11 28.9	28.9	
	よく問題が生じる	12 12.2	4 6.7	8 21.1	21.1	
	常に問題が生じている	6 6.1	2 3.3	4 10.5	10.5	
	（再掲）よく+常に		18.4	10.0	31.6	31.6

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		現在の経済的な暮らし 「やや苦しい」「大変 苦しい」		所属の部				
		179	100.0	1部		2部		
				105	100.0	74	100.0	
パソコンやパソコン 周辺機 器の所有状況	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有 していた	137	76.5	80	76.2	57	77.0	
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入し た（入学や新学期にあわせた購入も含 む）	34	19.0	23	21.9	11	14.9	
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	3 4 1	1.7 2.2 0.6	1 4 1	1.0 3.8 1.0	2 4 1	2.7 5.4 1.4	
タブレット端末	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有 していた	39	21.8	20	19.0	19	25.7	
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入し た（入学や新学期にあわせた購入も含 む）	4	2.2	3	2.9	1	1.4	
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	5 107 24	2.8 59.8 13.4	4 64 14	3.8 61.0 13.3	1 43 10	1.4 58.1 13.5	
プリンター	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有 していた	102	57.0	66	62.9	36	48.6	
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入し た（入学や新学期にあわせた購入も含 む）	22	12.3	11	10.5	11	14.9	
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	5 38 12	2.8 21.2 6.7	4 18 6	3.8 17.1 5.7	1 20 6	1.4 27.0 8.1	
ウェブカメラ	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有 していた	43	24.0	26	24.8	17	23.0	
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入し た（入学や新学期にあわせた購入も含 む）	12	6.7	8	7.6	4	5.4	
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	2 96 26	1.1 53.6 14.5	2 54 15	1.9 51.4 14.3	42 11	56.8 14.9	
ウェブマイク	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有 していた	46	25.7	26	24.8	20	27.0	
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入し た（入学や新学期にあわせた購入も含 む）	9	5.0	5	4.8	4	5.4	
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	4 94 26	2.2 52.5 14.5	4 56 14	3.8 53.3 13.3	38 12	51.4 16.2	
イヤホン・ヘッドホン	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有 していた	142	79.3	88	83.8	54	73.0	
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入し た（入学や新学期にあわせた購入も含 む）	9	5.0	2	1.9	7	9.5	
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	3 13 12	1.7 7.3 6.7	1 6 8	1.0 5.7 7.6	2 7 4	2.7 9.5 5.4	
メモリなどデータ保存機 器	コロナ禍・遠隔授業開始以前から所有 していた	109	60.9	69	65.7	40	54.1	
	コロナ禍・遠隔授業にあわせて購入し た（入学や新学期にあわせた購入も含 む）	20	11.2	10	9.5	10	13.5	
	所有しておらず、これから用意をする 所有しておらず、今後買う予定もない 〔無回答〕	9 24 17	5.0 13.4 9.5	6 11 9	5.7 10.5 8.6	3 13 8	4.1 17.6 10.8	
		179	100.0	105	100.0	74	100.0	
通信環境の整 備状況	遠隔授業が開始されたとき	自宅wifi・有線もモバイルwifiもあり	2	1.1	2	1.9		
	自宅wifi・有線のみあり	153	85.5	92	87.6	61	82.4	
	モバイルwifiのみあり	15	8.4	8	7.6	7	9.5	
現在	自宅wifi・有線もモバイルwifiもあり	9	5.0	3	2.9	6	8.1	
	自宅wifi・有線のみあり	7	3.9	5	4.8	2	2.7	
	自宅wifi・有線のみあり	156	87.2	92	87.6	64	86.5	
	モバイルwifiのみあり	10	5.6	6	5.7	4	5.4	
	〔無回答〕	6	3.4	2	1.9	4	5.4	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		現在の経済的な暮らし 「やや苦しい」「大変 苦しい」		所属の部				
		179	100.0	1部		2部		
				105	100.0	74	100.0	
北海学園大学から支給された支援金「5万円」の用途（最もお金を費やしたものの）	パソコンやパソコン周辺機器	31	17.3	19	18.1	12	16.2	
	通信環境整備	6	3.4	1	1.0	5	6.8	
	学費	61	34.1	37	35.2	24	32.4	
	生活費	42	23.5	25	23.8	17	23.0	
	部活・サークル費用							
	就活費用	1	0.6	1	1.0			
	貯金	20	11.2	9	8.6	11	14.9	
	趣味・遊興費	9	5.0	6	5.7	3	4.1	
	その他	8	4.5	6	5.7	2	2.7	
	〔無回答〕	1	0.6	1	1.0			
		179	100.0	105	100.0	74	100.0	
遠隔授業に関してのあなたの不満や悩み、困っていること【複数回答可】	①とくにない	○なし	166	92.7	98	93.3	68	91.9
	○あり	11	6.1	6	5.7	5	6.8	
	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4	
	②授業内容が十分に理解できない	○なし	98	54.7	53	50.5	45	60.8
	○あり	79	44.1	51	48.6	28	37.8	
	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4	
	③教員とのコミュニケーションがとりにくい	○なし	128	71.5	75	71.4	53	71.6
	○あり	49	27.4	29	27.6	20	27.0	
	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4	
	④評価方法や単位取得に対して不安がある	○なし	82	45.8	46	43.8	36	48.6
	○あり	95	53.1	58	55.2	37	50.0	
	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4	
	⑤遠隔授業のシステムやLMS・アプリの使い方がよく分からない	○なし	158	88.3	95	90.5	63	85.1
	○あり	19	10.6	9	8.6	10	13.5	
	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4	
	⑥課題が多い	○なし	53	29.6	29	27.6	24	32.4
	○あり	124	69.3	75	71.4	49	66.2	
	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4	
	⑦友達・受講者同士での交流ができない	○なし	94	52.5	56	53.3	38	51.4
	○あり	83	46.4	48	45.7	35	47.3	
	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4	
	⑧生活リズムが狂う	○なし	125	69.8	74	70.5	51	68.9
	○あり	52	29.1	30	28.6	22	29.7	
	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4	
	⑨身体的・精神的疲労がたまる	○なし	100	55.9	55	52.4	45	60.8
	○あり	77	43.0	49	46.7	28	37.8	
	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4	
	⑩遠隔授業を受けるのに適した媒体（パソコンなど）を持っていない	○なし	172	96.1	102	97.1	70	94.6
	○あり	5	2.8	2	1.9	3	4.1	
	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4	
	⑪パソコンや、プリンターなど周辺機器の購入費用の負担が大きい	○なし	146	81.6	84	80.0	62	83.8
	○あり	31	17.3	20	19.0	11	14.9	
	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4	
	⑫遠隔授業を受講する際の媒体（パソコンなど）の性能が低い	○なし	154	86.0	91	86.7	63	85.1
	○あり	23	12.8	13	12.4	10	13.5	
	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4	
	⑬印刷費用の負担が大きい	○なし	123	68.7	71	67.6	52	70.3
	○あり	54	30.2	33	31.4	21	28.4	
	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4	
	⑭通信環境が整っていない、通信環境がよくない	○なし	151	84.4	87	82.9	64	86.5
	○あり	26	14.5	17	16.2	9	12.2	
	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4	
	⑮通信費用の負担が大きい	○なし	150	83.8	87	82.9	63	85.1
	○あり	27	15.1	17	16.2	10	13.5	
	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4	
	⑯受講環境がよくない（集中ができない、周囲がうるさい、周囲に聞か	○なし	144	80.4	85	81.0	59	79.7
	○あり	33	18.4	19	18.1	14	18.9	
	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4	
	⑰その他	○なし	168	93.9	100	95.2	68	91.9
	○あり	9	5.0	4	3.8	5	6.8	
	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		現在の経済的な暮らし 「やや苦しい」「大変 苦しい」		所属の部						
		179	100.0	1部 105	100.0	2部 74	100.0			
コロナ感染への不安や大学のコロナ対応へのあなたの考え【複数回答可】	①授業・教室内での感染不安がある	○なし	73 40.8	45 42.9	28 37.8	○あり	92 51.4	54 51.4	38 51.4	
		○あり	14 7.8	6 5.7	8 10.8	〔無回答〕	14 7.8	6 5.7	8 10.8	
	②大学構内での感染不安がある	○なし	63 35.2	38 36.2	25 33.8	○あり	102 57.0	61 58.1	41 55.4	
		○あり	14 7.8	6 5.7	8 10.8	〔無回答〕	14 7.8	6 5.7	8 10.8	
	③通学の際に感染する不安がある	○なし	80 44.7	47 44.8	33 44.6	○あり	85 47.5	52 49.5	33 44.6	
		○あり	14 7.8	6 5.7	8 10.8	〔無回答〕	14 7.8	6 5.7	8 10.8	
	④大学の感染対策は不十分だと思う	○なし	119 66.5	72 68.6	47 63.5	○あり	46 25.7	27 25.7	19 25.7	
		○あり	14 7.8	6 5.7	8 10.8	〔無回答〕	14 7.8	6 5.7	8 10.8	
	⑤大学から提供される情報に問題がある（情報内容が明確でない、関連情報がない）	○なし	114 63.7	73 69.5	41 55.4	○あり	51 28.5	26 24.8	25 33.8	
		○あり	14 7.8	6 5.7	8 10.8	〔無回答〕	14 7.8	6 5.7	8 10.8	
	⑥コロナ感染の不安などを大学に訴える機会がない・少ない	○なし	116 64.8	69 65.7	47 63.5	○あり	49 27.4	30 28.6	19 25.7	
		○あり	14 7.8	6 5.7	8 10.8	〔無回答〕	14 7.8	6 5.7	8 10.8	
	⑦その他	○なし	154 86.0	95 90.5	59 79.7	○あり	11 6.1	4 3.8	7 9.5	
		〔無回答〕	14 7.8	6 5.7	8 10.8					
		179	100.0	105	100.0	74	100.0			
遠隔授業と対面授業に対する総合的な評価	遠隔授業が良かった	37	20.7	20	19.0	17	23.0			
	どちらかといえば遠隔授業が良かった	37	20.7	23	21.9	14	18.9			
	どちらかといえば対面授業が良かった	31	17.3	17	16.2	14	18.9			
	対面授業が良かった	21	11.7	10	9.5	11	14.9			
	どちらの授業にも良い面があった	51	28.5	33	31.4	18	24.3			
	〔無回答〕	2	1.1	2	1.9					
		179	100.0	105	100.0	74	100.0			
各項目における遠隔授業と対面授業の利点の比較	①授業内容の理解度	遠隔授業	19 10.6	9 8.6	10 13.5	対面授業	101 56.4	60 57.1	41 55.4	
		どちらにも利点がある	58 32.4	35 33.3	23 31.1	〔無回答〕	1 0.6	1 1.0		
	②自分のペースで学べる	遠隔授業	145 81.0	85 81.0	60 81.1	対面授業	13 7.3	6 5.7	7 9.5	
		どちらにも利点がある	20 11.2	13 12.4	7 9.5	〔無回答〕	1 0.6	1 1.0		
	③授業に集中できる	遠隔授業	45 25.1	26 24.8	19 25.7	対面授業	107 59.8	59 56.2	48 64.9	
		どちらにも利点がある	25 14.0	18 17.1	7 9.5	〔無回答〕	2 1.1	2 1.9		
	④教員への質問、教員との交流	遠隔授業	14 7.8	7 6.7	7 9.5	対面授業	132 73.7	79 75.2	53 71.6	
		どちらにも利点がある	32 17.9	18 17.1	14 18.9	〔無回答〕	1 0.6	1 1.0		
	⑤受講生や友人との交流	遠隔授業	6 3.4	3 2.9	3 4.1	対面授業	157 87.7	95 90.5	62 83.8	
		どちらにも利点がある	13 7.3	6 5.7	7 9.5	〔無回答〕	3 1.7	1 1.0		
	⑥生活リズムを整えること	遠隔授業	22 12.3	11 10.5	11 14.9	対面授業	118 65.9	69 65.7	49 66.2	
		どちらにも利点がある	37 20.7	24 22.9	13 17.6	〔無回答〕	2 1.1	1 1.0		
	⑦時間を有効に活用できること	遠隔授業	135 75.4	78 74.3	57 77.0	対面授業	15 8.4	10 9.5	5 6.8	
		どちらにも利点がある	27 15.1	15 14.3	12 16.2	〔無回答〕	2 1.1	2 1.9		
			179	100.0	105	100.0	74	100.0		
	対面授業を大学が開始したことに対する評価【複数回答可】	適切だと思う	47	26.3	29	27.6	18	24.3		
		やむを得ないと思う	58	32.4	37	35.2	21	28.4		
		問題があると思う	42	23.5	21	20.0	21	28.4		
		判断が難しい・分からない	31	17.3	17	16.2	14	18.9		
		〔無回答〕	1	0.6	1	1.0				
			179	100.0	105	100.0	74	100.0		
対面授業の開講条件である「受講者数が収容定員の3分の1以下」に対する評価	非常に緩い	7	3.9	5	4.8	2	2.7			
	緩い	28	15.6	17	16.2	11	14.9			
	適切である	87	48.6	51	48.6	36	48.6			
	厳しい	14	7.8	8	7.6	6	8.1			
	非常に厳しい	4	2.2	3	2.9	1	1.4			
	分からない	38	21.2	20	19.0	18	24.3			
	〔無回答〕	1	0.6	1	1.0					

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		現在の経済的な暮らし 「やや苦しい」「大変 苦しい」		所属の部				
		179	100.0	105	100.0	74	100.0	
今後の授業の開講形態に対する希望	可能な限り対面授業を望む	46	25.7	26	24.8	20	27.0	
	可能な限り遠隔授業を望む	63	35.2	34	32.4	29	39.2	
	対面と遠隔の併用を望む	53	29.6	35	33.3	18	24.3	
	とくに希望はない	9	5.0	5	4.8	4	5.4	
	分からない	7	3.9	4	3.8	3	4.1	
	〔無回答〕	1	0.6	1	1.0			
		179	100.0	105	100.0	74	100.0	
今年の2月時点でのアルバイト実施状況	していた	128	71.5	73	69.5	55	74.3	
	していなかった	51	28.5	32	30.5	19	25.7	
	〔無回答〕							
		128	71.5	73	100.0	55	100.0	
そのアルバイトの継続状況	継続している	91	50.8	57	78.1	34	61.8	
	やめた	32	17.9	13	17.8	19	34.5	
	継続しているものもあれば、やめたものもある	5	2.8	3	4.1	2	3.6	
	〔無回答〕							
			128	100.0	73	100.0	55	100.0
2020年3月から現在までのアルバイトの「量」に関する経験【複数回答可】	①とくにない	○なし	95	74.2	51	69.9	44	80.0
	○あり	33	25.8	22	30.1	11	20.0	
	〔無回答〕							
	②勤務シフト・労働時間が減った	○なし	60	46.9	36	49.3	24	43.6
	○あり	68	53.1	37	50.7	31	56.4	
	〔無回答〕							
	③勤務シフト・労働時間がゼロになった	○なし	100	78.1	59	80.8	41	74.5
	○あり	28	21.9	14	19.2	14	25.5	
	〔無回答〕							
	④バイト先を解雇された	○なし	122	95.3	70	95.9	52	94.5
	○あり	6	4.7	3	4.1	3	5.5	
	〔無回答〕							
	⑤バイト先が休業した	○なし	86	67.2	46	63.0	40	72.7
	○あり	42	32.8	27	37.0	15	27.3	
	〔無回答〕							
	⑥バイト先が閉店した	○なし	118	92.2	65	89.0	53	96.4
	○あり	10	7.8	8	11.0	2	3.6	
	〔無回答〕							
	⑦コロナ感染予防のためにバイトをやめた	○なし	123	96.1	71	97.3	52	94.5
	○あり	5	3.9	2	2.7	3	5.5	
	〔無回答〕							
	⑧労働条件や人間関係を理由にバイトをやめた	○なし	122	95.3	70	95.9	52	94.5
○あり	6	4.7	3	4.1	3	5.5		
〔無回答〕								
⑨その他の自己都合でバイトをやめた	○なし	116	90.6	67	91.8	49	89.1	
○あり	12	9.4	6	8.2	6	10.9		
〔無回答〕								
⑩バイトのかけもちを始めた	○なし	114	89.1	64	87.7	50	90.9	
○あり	14	10.9	9	12.3	5	9.1		
〔無回答〕								
⑪その他	○なし	126	98.4	72	98.6	54	98.2	
○あり	2	1.6	1	1.4	1	1.8		
〔無回答〕								
		80	100.0	43	100.0	37	100.0	
コロナ禍で勤務シフト・労働時間が減る以前の一週間の労働時間数（勤務シフト・労働時間が「減った」「ゼロになった」者限定）	5時間未満	1	1.3	1	2.3			
	5～10時間未満	2	2.5	2	4.7			
	10～15時間未満	7	8.8	5	11.6	2	5.4	
	15～20時間未満	27	33.8	16	37.2	11	29.7	
	20～25時間未満	17	21.3	8	18.6	9	24.3	
	25～30時間未満	10	12.5	3	7.0	7	18.9	
	30～35時間未満	8	10.0	4	9.3	4	10.8	
	35時間以上	7	8.8	4	9.3	3	8.1	
	〔無回答〕	1	1.3			1	2.7	
	(再掲) 15時間未満		12.5		18.6		5.4	
			80	100.0	43	100.0	37	100.0
勤務シフト・労働時間数が最も減った状況(同上)	ゼロになった	36	45.0	23	53.5	13	35.1	
	1～5時間未満	6	7.5	2	4.7	4	10.8	
	5～10時間未満	14	17.5	6	14.0	8	21.6	
	10～15時間未満	16	20.0	8	18.6	8	21.6	
	15～20時間未満	5	6.3	1	2.3	4	10.8	
	20～25時間未満	1	1.3	1	2.3			
	25～30時間未満							
	30～35時間未満							
	35時間以上	2	2.5	2	4.7			
	〔無回答〕							
	(再掲) 15時間未満		90.0		90.7		89.2	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

	現在の経済的な暮らし 「やや苦しい」「大変 苦しい」		所属の部			
	80	100.0	1部		2部	
勤務シフト・労働時間が減ったこと に対する休業手当の支給状況（同上）	全ての月に支給された	17 21.3	10	23.3	7	18.9
	支給された月もあれば支給されな かった月もある	16 20.0	7	16.3	9	24.3
	全く支給されなかった	46 57.5	26	60.5	20	54.1
	分からない 〔無回答〕	1 1.3			1	2.7
休業手当の支給割合（休業手当が支給 された者限定）	全額・ほぼ全額が支給された	33 100.0	17	100.0	16	100.0
	7.8割が支給された	7 21.2	2	11.8	5	31.3
	5.6割が支給された	3 9.1	1	5.9	2	12.5
	3.4割が支給された	15 45.5	8	47.1	7	43.8
	1.2割が支給された	1 3.0	1	5.9		
勤務シフト・①収入は減ったが、とく 労働時間がに困りはしなかった 減ったりなくな ったことで 困った経験・ 状況の有無 【複数回答 可】	①収入は減ったが、とくに困りはしなかった	80 100.0	43	100.0	37	100.0
	○なし	75 93.8	39	90.7	36	97.3
	○あり	5 6.3	4	9.3	1	2.7
	〔無回答〕					
	②遊興費や趣味に使える お金が減って困った	33 41.3	18	41.9	15	40.5
	○なし	47 58.8	25	58.1	22	59.5
	○あり					
	〔無回答〕					
	③生活に必要なお金が 減って困った	27 33.8	17	39.5	10	27.0
	○なし	53 66.3	26	60.5	27	73.0
	○あり					
	〔無回答〕					
	④教科書代や通学に必要な お金が減って困った	45 56.3	26	60.5	19	51.4
○なし	35 43.8	17	39.5	18	48.6	
○あり						
〔無回答〕						
⑤授業料の支払いが困難 になり困った	58 72.5	31	72.1	27	73.0	
○なし	22 27.5	12	27.9	10	27.0	
○あり						
〔無回答〕						
⑥その他	80 100.0	43	100.0	37	100.0	
○なし						
○あり						
〔無回答〕						
現在のアルバ①固定的なアルバイトを イト実施状況 1つのみしている 【複数回答 可】	①固定的なアルバイトを 1つのみしている	179 100.0	105	100.0	74	100.0
	○なし	67 37.4	42	40.0	25	33.8
	○あり	110 61.5	61	58.1	49	66.2
	〔無回答〕	2 1.1	2	1.9		
	②固定的なアルバイトを かけもちでしている	158 88.3	92	87.6	66	89.2
	○なし	19 10.6	11	10.5	8	10.8
	○あり	2 1.1	2	1.9		
	〔無回答〕					
	③単発的なアルバイトを している	162 90.5	94	89.5	68	91.9
	○なし	15 8.4	9	8.6	6	8.1
	○あり	2 1.1	2	1.9		
	〔無回答〕					
④アルバイトをしている が、追加・かけもちのバ イト探している	158 88.3	91	86.7	67	90.5	
○なし	19 10.6	12	11.4	7	9.5	
○あり	2 1.1	2	1.9			
〔無回答〕						
⑤アルバイトをしていな いが、探している	150 83.8	82	78.1	68	91.9	
○なし	27 15.1	21	20.0	6	8.1	
○あり	2 1.1	2	1.9			
〔無回答〕						
⑥アルバイトをしておら ず、さがしてもいない	172 96.1	101	96.2	71	95.9	
○なし	5 2.8	2	1.9	3	4.1	
○あり	2 1.1	2	1.9			
〔無回答〕						
現在のアルバイトの勤続期間	働き始めたばかり	145 100.0	80	100.0	65	100.0
	1.2か月	9 6.2	6	7.5	3	4.6
	3～6か月未満	17 11.7	5	6.3	12	18.5
	6か月～1年未満	13 9.0	4	5.0	9	13.8
	1～2年未満	22 15.2	12	15.0	10	15.4
	2～3年未満	39 26.9	26	32.5	13	20.0
	3年以上	25 17.2	15	18.8	10	15.4
	〔無回答〕	11 7.6	7	8.8	4	6.2
〔無回答〕	9 6.2	5	6.3	4	6.2	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

	現在の経済的な暮らし 「やや苦しい」「大変 苦しい」		所属の部			
	142	100.0	78	100.0	64	100.0
先月（2020年9月）の1週間の労働時間数	5時間未満	12 8.5	9	11.5	3	4.7
	5～10時間未満	19 13.4	11	14.1	8	12.5
	10～15時間未満	26 18.3	14	17.9	12	18.8
	15～20時間未満	26 18.3	16	20.5	10	15.6
	20～25時間未満	27 19.0	12	15.4	15	23.4
	25～30時間未満	15 10.6	9	11.5	6	9.4
	30～35時間未満	6 4.2	2	2.6	4	6.3
	35時間以上	9 6.3	4	5.1	5	7.8
	〔無回答〕	2 1.4	1	1.3	1	1.6
	(再掲) 15時間以上			58.5		62.5
先月（2020年9月）の1か月の給料	1万円未満	11 7.7	6	7.7	5	7.8
	1万円台	1 0.7			1	1.6
	2万円台	11 7.7	7	9.0	4	6.3
	3万円台	9 6.3	3	3.8	6	9.4
	4万円台	17 12.0	13	16.7	4	6.3
	5万円台	19 13.4	10	12.8	9	14.1
	6万円台	15 10.6	8	10.3	7	10.9
	7万円台	16 11.3	10	12.8	6	9.4
	8万円台	11 7.7	5	6.4	6	9.4
	9万円台	5 3.5	1	1.3	4	6.3
	10万円台	12 8.5	7	9.0	5	7.8
	11,12万円台	7 4.9	4	5.1	3	4.7
	13,14万円台	2 1.4	2	2.6		
	15万円以上	4 2.8	1	1.3	3	4.7
	〔無回答〕	2 1.4	1	1.3	1	1.6
	(再掲) 8万円以上			28.9		32.8
アルバイト代①趣味娯楽・交際費・飲 の使い道【複食代 数回答可】	○なし	27 18.6	9	11.3	18	27.7
	○あり	117 80.7	70	87.5	47	72.3
	〔無回答〕	1 0.7	1	1.3		
②部活やサークル代	○なし	114 78.6	62	77.5	52	80.0
	○あり	30 20.7	17	21.3	13	20.0
	〔無回答〕	1 0.7	1	1.3		
③授業料	○なし	80 55.2	47	58.8	33	50.8
	○あり	64 44.1	32	40.0	32	49.2
	〔無回答〕	1 0.7	1	1.3		
④教材費・書籍代	○なし	75 51.7	44	55.0	31	47.7
	○あり	69 47.6	35	43.8	34	52.3
	〔無回答〕	1 0.7	1	1.3		
⑤通学費	○なし	58 40.0	36	45.0	22	33.8
	○あり	86 59.3	43	53.8	43	66.2
	〔無回答〕	1 0.7	1	1.3		
⑥生活費	○なし	62 42.8	38	47.5	24	36.9
	○あり	82 56.6	41	51.3	41	63.1
	〔無回答〕	1 0.7	1	1.3		
⑦就職活動費用	○なし	117 80.7	61	76.3	56	86.2
	○あり	27 18.6	18	22.5	9	13.8
	〔無回答〕	1 0.7	1	1.3		
⑧資格取得費用	○なし	112 77.2	61	76.3	51	78.5
	○あり	32 22.1	18	22.5	14	21.5
	〔無回答〕	1 0.7	1	1.3		
⑨自動車学校	○なし	121 83.4	67	83.8	54	83.1
	○あり	23 15.9	12	15.0	11	16.9
	〔無回答〕	1 0.7	1	1.3		
⑩貯金	○なし	49 33.8	30	37.5	19	29.2
	○あり	95 65.5	49	61.3	46	70.8
	〔無回答〕	1 0.7	1	1.3		
⑪その他	○なし	143 98.6	79	98.8	64	98.5
	○あり	1 0.7			1	1.5
	〔無回答〕	1 0.7	1	1.3		
アルバイトをする理由（二区分）	遊び・趣味等にお金を稼ぐため	12 8.3	9	11.3	3	4.6
	どちらかといえば遊び・趣味等にお金を稼ぐため	21 14.5	18	22.5	3	4.6
	どちらかといえば学費・生活費等を稼ぐため	39 26.9	20	25.0	19	29.2
	学費・生活費等を稼ぐため	36 24.8	18	22.5	18	27.7
	どちらも半々	36 24.8	14	17.5	22	33.8
	〔無回答〕	1 0.7	1	1.3		
	(再掲) 学費・生活費等+半々			76.6		90.8

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		現在の経済的な暮らし 「やや苦しい」「大変 苦しい」		所属の部				
		179	100.0	105	100.0	74	100.0	
学費負担・学費の原資【複数回答可】	①親の収入	○なし	70	39.1	35	33.3	35	47.3
		○あり	109	60.9	70	66.7	39	52.7
	②祖父母の収入	○なし	173	96.6	100	95.2	73	98.6
		○あり	6	3.4	5	4.8	1	1.4
	③自分自身のアルバイト収入	○なし	116	64.8	75	71.4	41	55.4
		○あり	63	35.2	30	28.6	33	44.6
	④奨学金	○なし	57	31.8	32	30.5	25	33.8
		○あり	122	68.2	73	69.5	49	66.2
	⑤その他	○なし	175	97.8	104	99.0	71	95.9
		○あり	4	2.2	1	1.0	3	4.1
主な学費負担者・学費の原資		179	100.0	105	100.0	74	100.0	
	親の収入	81	45.3	53	50.5	28	37.8	
	祖父母の収入	2	1.1	2	1.9			
	自分自身のアルバイト収入	16	8.9	3	2.9	13	17.6	
	奨学金	74	41.3	46	43.8	28	37.8	
	その他	6	3.4	1	1.0	5	6.8	
高等教育の修学支援新制度の利用状況		179	100.0	105	100.0	74	100.0	
	利用していない	129	72.1	75	71.4	54	73.0	
	利用している（区分は、第Ⅰ区分・住民税非課税世帯）	20	11.2	13	12.4	7	9.5	
	利用している（区分は、第Ⅱ区分）	11	6.1	6	5.7	5	6.8	
	利用している（区分は、第Ⅲ区分）	5	2.8	3	2.9	2	2.7	
	利用している（区分は、分からない）	13	7.3	8	7.6	5	6.8	
	【無回答】	1	0.6			1	1.4	
	（再掲）利用している計		27.4		28.6		25.7	
給付型奨学金の利用状況【複数回答可】		179	100.0	105	100.0	74	100.0	
①とくに給付は受けていない	○なし	64	35.8	41	39.0	23	31.1	
	○あり	112	62.6	63	60.0	49	66.2	
	【無回答】	3	1.7	1	1.0	2	2.7	
②北海学園奨学金	○なし	159	88.8	91	86.7	68	91.9	
	○あり	17	9.5	13	12.4	4	5.4	
	【無回答】	3	1.7	1	1.0	2	2.7	
③自治体の奨学金	○なし	174	97.2	102	97.1	72	97.3	
	○あり	2	1.1	2	1.9			
	【無回答】	3	1.7	1	1.0	2	2.7	
④民間団体の奨学金	○なし	175	97.8	104	99.0	71	95.9	
	○あり	1	0.6			1	1.4	
	【無回答】	3	1.7	1	1.0	2	2.7	
⑤日本学生支援機構の「旧来型」の給付型奨学金（修学支援新制度移行）	○なし	152	84.9	91	86.7	61	82.4	
	○あり	24	13.4	13	12.4	11	14.9	
	【無回答】	3	1.7	1	1.0	2	2.7	
⑥修学支援新制度の給付型奨学金	○なし	151	84.4	87	82.9	64	86.5	
	○あり	25	14.0	17	16.2	8	10.8	
	【無回答】	3	1.7	1	1.0	2	2.7	
⑦その他	○なし	176	98.3	104	99.0	72	97.3	
	○あり							
	【無回答】	3	1.7	1	1.0	2	2.7	
日本学生支援機構による貸与型奨学金の利用状況		179	100.0	105	100.0	74	100.0	
	利用していない	64	35.8	35	33.3	29	39.2	
	利用している（第一種のみを利用している）	42	23.5	21	20.0	21	28.4	
	利用している（第二種のみを利用している）	47	26.3	29	27.6	18	24.3	
	利用している（第一種と第二種を併用している）	17	9.5	13	12.4	4	5.4	
	利用しているが、内容が分からない	8	4.5	7	6.7	1	1.4	
	【無回答】	1	0.6			1	1.4	

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

	現在の経済的な暮らし 「やや苦しい」「大変 苦しい」 59 100.0	所属の部			
		1部 34 100.0	2部 25 100.0	3部 11 100.0	4部 9 100.0
第一種奨学金の利用月額（第一種奨学金利用者に限定）					
2万円	5 8.5	2 5.9	3 12.0		
3万円	5 8.5	1 2.9	4 16.0		
4万円	5 8.5	4 11.8	1 4.0		
5万円	19 32.2	11 32.4	8 32.0		
5.4万円	8 13.6	7 20.6	1 4.0		
6.4万円	12 20.3	5 14.7	7 28.0		
金額は分からない	3 5.1	2 5.9	1 4.0		
〔無回答〕	2 3.4	2 5.9			
第二種奨学金の利用月額（第二種奨学金利用者に限定）	66 100.0	44 100.0	22 100.0		
2万円	3 4.5	2 4.5	1 4.5		
3万円	7 10.6	3 6.8	4 18.2		
4万円	5 7.6	3 6.8	2 9.1		
5万円	10 15.2	8 18.2	2 9.1		
6万円	5 7.6	4 9.1	1 4.5		
7万円	4 6.1	3 6.8	1 4.5		
8万円	7 10.6	4 9.1	3 13.6		
9万円					
10万円	11 16.7	8 18.2	3 13.6		
11万円					
12万円	7 10.6	3 6.8	4 18.2		
金額は分からない	5 7.6	4 9.1	1 4.5		
〔無回答〕	2 3.0	2 4.5			
第一種奨学金と第二種奨学金の合計	101 100.0	59 100.0	42 100.0		
2万円台	6 5.9	3 5.1	3 7.1		
3万円台	11 10.9	3 5.1	8 19.0		
4万円台	6 5.9	3 5.1	3 7.1		
5万円台	30 29.7	20 33.9	10 23.8		
6万円台	11 10.9	5 8.5	6 14.3		
7万円台	4 4.0	2 3.4	2 4.8		
8万円台	8 7.9	5 8.5	3 7.1		
9万円台	1 1.0	1 1.7			
10万円台	15 14.9	12 20.3	3 7.1		
11,12万円台	7 6.9	5 8.5	2 4.8		
それ以上	2 2.0		2 4.8		
(再掲) 8万円以上	32.7	39.0	23.8		
就職・進路に対する不安の有無	179 100.0	105 100.0	74 100.0		
非常にある	120 67.0	72 68.6	48 64.9		
ある	45 25.1	24 22.9	21 28.4		
あまりない	8 4.5	5 4.8	3 4.1		
全くない	4 2.2	3 2.9	1 1.4		
分からない	2 1.1	1 1.0	1 1.4		
〔無回答〕					
就職活動で困ったことやハラスメントの経験の有無(4年生に限定)【複数回答可】	24 100.0	14 100.0	10 100.0		
①とくにない	○なし 18 75.0	○なし 11 78.6	○なし 7 70.0		
	○あり 5 20.8	○あり 3 21.4	○あり 2 20.0		
	〔無回答〕 1 4.2	〔無回答〕 1 10.0	〔無回答〕 1 10.0		
②説明会がキャンセルになった	○なし 8 33.3	○なし 3 21.4	○なし 5 50.0		
	○あり 15 62.5	○あり 11 78.6	○あり 4 40.0		
	〔無回答〕 1 4.2	〔無回答〕 1 10.0	〔無回答〕 1 10.0		
③面接がキャンセルになった	○なし 16 66.7	○なし 9 64.3	○なし 7 70.0		
	○あり 7 29.2	○あり 5 35.7	○あり 2 20.0		
	〔無回答〕 1 4.2	〔無回答〕 1 10.0	〔無回答〕 1 10.0		
④希望する就職先の採用が減った	○なし 13 54.2	○なし 9 64.3	○なし 4 40.0		
	○あり 10 41.7	○あり 5 35.7	○あり 5 50.0		
	〔無回答〕 1 4.2	〔無回答〕 1 10.0	〔無回答〕 1 10.0		
⑤遠隔対応の勝手が分からずに苦労した	○なし 20 83.3	○なし 12 85.7	○なし 8 80.0		
	○あり 3 12.5	○あり 2 14.3	○あり 1 10.0		
	〔無回答〕 1 4.2	〔無回答〕 1 10.0	〔無回答〕 1 10.0		
⑥内定が取り消された	○なし 23 95.8	○なし 14 100.0	○なし 9 90.0		
	○あり	○あり	○あり		
	〔無回答〕 1 4.2	〔無回答〕 1 10.0	〔無回答〕 1 10.0		
⑦内定がまだとれていない	○なし 16 66.7	○なし 12 85.7	○なし 4 40.0		
	○あり 7 29.2	○あり 2 14.3	○あり 5 50.0		
	〔無回答〕 1 4.2	〔無回答〕 1 10.0	〔無回答〕 1 10.0		
⑧性的な質問や嫌がらせをされた(セクハラ)	○なし 23 95.8	○なし 14 100.0	○なし 9 90.0		
	○あり	○あり	○あり		
	〔無回答〕 1 4.2	〔無回答〕 1 10.0	〔無回答〕 1 10.0		
⑨内定と引き替えに就職活動をやめるよう言われた(オウハラ)	○なし 22 91.7	○なし 14 100.0	○なし 8 80.0		
	○あり 1 4.2	○あり 1 10.0	○あり 1 10.0		
	〔無回答〕 1 4.2	〔無回答〕 1 10.0	〔無回答〕 1 10.0		
⑩無用に高圧的な発言をされたり態度をとられた(パワハラ)	○なし 22 91.7	○なし 14 100.0	○なし 8 80.0		
	○あり 1 4.2	○あり 1 10.0	○あり 1 10.0		
	〔無回答〕 1 4.2	〔無回答〕 1 10.0	〔無回答〕 1 10.0		
⑪その他	○なし 22 91.7	○なし 13 92.9	○なし 9 90.0		
	○あり 1 4.2	○あり 1 7.1	○あり 1 10.0		
	〔無回答〕 1 4.2	〔無回答〕 1 10.0	〔無回答〕 1 10.0		

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

		現在の経済的な暮らし 「やや苦しい」「大変 苦しい」		所属の部						
				1部			2部			
		179	100.0	105	100.0	74	100.0			
コロナ禍における生活費用の増減	大きく増えた	13	7.3	4	3.8	9	12.2			
	増えた	54	30.2	37	35.2	17	23.0			
	とくに変わらない	83	46.4	48	45.7	35	47.3			
	減った	22	12.3	11	10.5	11	14.9			
	大きく減った	6	3.4	4	3.8	2	2.7			
	〔無回答〕	1	0.6	1	1.0					
		179	100.0	105	100.0	74	100.0			
経済的な状況①とくにない や心身の状況 【複数回答 可】	○なし	160	89.4	95	90.5	65	87.8			
	○あり	18	10.1	10	9.5	8	10.8			
	〔無回答〕	1	0.6			1	1.4			
	②学費の支払いが困難に なっている	○なし	136	76.0	79	75.2	57	77.0		
	○あり	42	23.5	26	24.8	16	21.6			
	〔無回答〕	1	0.6			1	1.4			
	③生活費を稼ぐのに大変 である	○なし	106	59.2	67	63.8	39	52.7		
	○あり	72	40.2	38	36.2	34	45.9			
	〔無回答〕	1	0.6			1	1.4			
	④大学で友人ができない	○なし	113	63.1	68	64.8	45	60.8		
	○あり	65	36.3	37	35.2	28	37.8			
	〔無回答〕	1	0.6			1	1.4			
	⑤サークル活動や部活動 に入り損ねた	○なし	152	84.9	91	86.7	61	82.4		
	○あり	26	14.5	14	13.3	12	16.2			
	〔無回答〕	1	0.6			1	1.4			
	⑥サークル活動や部活動 が制約を受けており不満	○なし	145	81.0	85	81.0	60	81.1		
	○あり	33	18.4	20	19.0	13	17.6			
	〔無回答〕	1	0.6			1	1.4			
	⑦目標を見失った	○なし	144	80.4	88	83.8	56	75.7		
	○あり	34	19.0	17	16.2	17	23.0			
	〔無回答〕	1	0.6			1	1.4			
	⑧気力がわかない	○なし	97	54.2	64	61.0	33	44.6		
	○あり	81	45.3	41	39.0	40	54.1			
	〔無回答〕	1	0.6			1	1.4			
⑨体調がすぐれない	○なし	135	75.4	85	81.0	50	67.6			
○あり	43	24.0	20	19.0	23	31.1				
〔無回答〕	1	0.6			1	1.4				
⑩生活リズムが乱れてい る	○なし	94	52.5	53	50.5	41	55.4			
○あり	84	46.9	52	49.5	32	43.2				
〔無回答〕	1	0.6			1	1.4				
⑪大学生活がつまらない	○なし	114	63.7	72	68.6	42	56.8			
○あり	64	35.8	33	31.4	31	41.9				
〔無回答〕	1	0.6			1	1.4				
⑫その他	○なし	175	97.8	104	99.0	71	95.9			
○あり	3	1.7	1	1.0	2	2.7				
〔無回答〕	1	0.6			1	1.4				
		179	100.0	105	100.0	74	100.0			
休学や退学を考えたり検討することの 有無	とくにない	122	68.2	75	71.4	47	63.5			
	漠然とながらも考えることがある	45	25.1	24	22.9	21	28.4			
	真剣に検討している	6	3.4	2	1.9	4	5.4			
	その他	6	3.4	4	3.8	2	2.7			
	〔無回答〕									
(再掲) 漠然と+真剣に			28.5		24.8		33.8			
		179	100.0	105	100.0	74	100.0			
親など学費負担者の就労収入の変化	コロナの影響で仕事・収入が減った	63	35.2	39	37.1	24	32.4			
	コロナの影響ではないが、仕事・収入 が減った	18	10.1	15	14.3	3	4.1			
	今はまだ影響はないが、これから仕 事・収入が減るおそれがある	30	16.8	17	16.2	13	17.6			
	コロナの影響はとくにない	63	35.2	34	32.4	29	39.2			
	その他	3	1.7			3	4.1			
	〔無回答〕	2	1.1			2	2.7			
(再掲) 減った計			45.3		51.4		36.5			
		179	100.0	105	100.0	74	100.0			
あなたの現在の経済的な暮らしの状況	大変ゆとりがある									
	ややゆとりがある									
	普通									
	やや苦しい	144	80.4	82	78.1	62	83.8			
	大変苦しい	35	19.6	23	21.9	12	16.2			
〔無回答〕										
(再掲) 苦しい計			100.0		100.0		100.0			

北海学園大学学生アルバイト白書2020調査結果一覧表

単位：人、%

	現在の経済的な暮らし 「やや苦しい」「大変 苦しい」 179 100.0	所属の部														
		1部		2部												
奨学金やアルバイト収入がなかった場合、学費負担者からの支出だけで修学は可能か	十分に可能である	24	13.4	18	17.1	6	8.1									
	修学は不自由になる	53	29.6	27	25.7	26	35.1									
	修学の継続は困難になる	100	55.9	59	56.2	41	55.4									
	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4									
		179	100.0	105	100.0	74	100.0									
遠隔授業が中心であったの に対して授業料負担が例年通りであったことへの評価 【複数回答可】	①非常に納得ができない	○なし	84	46.9	○あり	93	52.0	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4		
	②納得ができない	○なし	121	67.6	○あり	56	31.3	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4		
		○あり	56	31.3	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4					
	③仕方がない	○なし	144	80.4	○あり	33	18.4	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4		
		○あり	33	18.4	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4					
		〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4								
	④分からない	○なし	170	95.0	○あり	7	3.9	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4		
		○あり	7	3.9	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4					
		〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4								
	⑤その他	○なし	172	96.1	○あり	5	2.8	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4		
		○あり	5	2.8	〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4					
		〔無回答〕	2	1.1	1	1.0	1	1.4								
		179	100.0	105	100.0	74	100.0									
	学費の減免を国に求める学生たちの動きに対する評価	強く賛同する	103	57.5	賛同する	64	35.8	あまり賛同しない	3	1.7	まったく賛同しない	1	0.6	分からない	8	4.5
		賛同する	64	35.8	あまり賛同しない	3	1.7	まったく賛同しない	1	0.6	分からない	8	4.5	〔無回答〕		
あまり賛同しない		3	1.7	まったく賛同しない	1	0.6	分からない	8	4.5	〔無回答〕						
まったく賛同しない		1	0.6	分からない	8	4.5	〔無回答〕									
分からない		8	4.5	〔無回答〕												
〔無回答〕																
		93.3		94.3		91.9										
	179	100.0	105	100.0	74	100.0										
学費のことなどを勉強する機会が学内で設けられた場合の参加の意向	参加する	36	20.1	おそらく参加する	76	42.5	おそらく参加しない	34	19.0	参加しない	5	2.8	分からない	28	15.6	
	おそらく参加する	76	42.5	おそらく参加しない	34	19.0	参加しない	5	2.8	分からない	28	15.6	〔無回答〕			
	おそらく参加しない	34	19.0	参加しない	5	2.8	分からない	28	15.6	〔無回答〕						
	参加しない	5	2.8	分からない	28	15.6	〔無回答〕									
	分からない	28	15.6	〔無回答〕												
	〔無回答〕															
		62.6		64.8		59.5										

編集後記

コロナ禍で実施が危ぶまれた調査であったが、なんとか実施することができた。繰り返し述べてきたとおり、ウェブを使って行った調査であることから、とくにパソコンの所有状況や通信環境の整備状況の結果が学生全体を代表しているかどうかは疑問が残る。とはいえ、学生が直面している様々な問題や彼らの思いなどを一定程度明らかにできたと評価している。

10月末に約1週間の期間で実施した調査の後は、調査結果の読み解き、原稿の執筆、だめ出し（添削）、書き直し、検討といった作業を、学生との間で行ってきた。キャッチボールのような感覚と言えはよいが、こちらからは、かなりの速球を矢継ぎ早に投げつけていたかもしれない。調査や論文執筆の作法を一人一人に時間をかけて行いたいと思うのだが、なかなかそれもかなわない。以上のことを反省している。

1部と2部をあわせると40人弱に及ぶ人数で書き上げたこの『白書』が、問題状況の改善に貢献できたら望外の喜びである。調査のための調査で終わらせるわけにはいかない——その思いが例年以上に我々の間で意識されたと思う。できることから始めていくつもりである。

（1部生）

上原愛花、大志田里咲、大谷真司、小川佳那子、奥山翔、木下潤一、熊谷勇人、酒井泰佑、坂下来偉、佐野宏太、庄子健太、白谷鷹基、杉永波暉、武田和聖、中野公平、成田卓哉、藤本将行、藤原勇哉、松原美紅、山田琉偉、渡邊祐介

（2部生）

大久保圭、大坂響、河井色葉、菅野織瑛、榊原桃乃、坂田十勝、佐藤純哉、島田禎旦、白畑達也、谷川侑弥、畑智貴、廣田翼佐、前田大喜、村田圭哉、山内溪斗、山口諒

北海学園大学
学生アルバイト白書
2020

2020年12月発行

発行：川村雅則ゼミナール

TEL 011-841-1161(内2744)

e-mail:masanori@econ.hokkai-s-u.ac.jp